

資料編(Web版) 取り組みの進捗状況

※ 平成25年度実施状況
 ○…事業・取り組み内容が23年度と同様
 △…変更
 ×…未実施・廃止
 ◎…新規
 完了…完了

※ 傾向
 △…取り組みやその結果の状況が、経年で改善傾向
 □…横ばい
 ▽…改善されていないもの

※ 今後の予定
 ○…継続するもの
 ×…継続しないもの
 未定…未定
 完了…完了

1 安心して暮らせる生活環境が保たれ、健やかに暮らせるまち

1. 大気環境

(1)大気監視体制の充実

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|---------------|--|---|------------|-----------------------------------|---|----|-------|
| 一般環境大気測定、自動車排出ガス測定およびダイオキシン・ベンゼン等の有害大気汚染物質の測定により、地域の実状に応じた監視網を形成し、データ結果を公表していきます。 | 1 | 環境保全課 | 大気汚染常時測定 | 猫実一般環境大気測定局(市)と美浜自動車排出ガス測定局(県)の2地点において一般環境大気と自動車排出ガスの常時監視を行う。 | 猫実一般環境大気測定局：一般環境大気の常時測定(二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、一酸化炭素、光化学オキシダント、炭化水素、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン) 美浜自動車排出ガス測定局：自動車排出ガスの常時測定(一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質) | ○ | | 一般環境大気測定(猫実一般環境大気測定局) ※環境基準が設定されている項目 平成19年度 9項目 平成20年度 9項目 平成21年度 9項目 平成22年度 9項目 平成23年度 9項目 自動車排出ガス測定(美浜自動車排出ガス測定局) 平成19年度 4項目 平成20年度 4項目 平成21年度 4項目 平成22年度 4項目 平成23年度 4項目 | □ | ○ |
| | | | 自動車大気汚染等測定 | 市内の主要幹線道路にて大気状況を把握および監視する。 | 未実施 | × | 低い数値で安定しており、他市で測定を行っていない。(平成23年度) | 自動車排出ガス測定 平成19年度 10地点 平成20年度 10地点 平成21年度 10地点 平成22年度 10地点 平成23年度 8地点 | □ | × |
| | | | 微小粒子状物質曝露影響調査 | 平成13年度より、環境省より浦安市が調査の委託を受け、3歳児とその保護者を対象に大気中に浮遊している微小な粒子状物質の健康への影響を探るために、調査を実施。 | | 完了 | 調査期間満了のため(平成18年度) | 微小粒子状物質曝露影響調査 平成13年度より調査実施 平成18年度 調査期間満了 | | 完了 |
| | | | 「浦安市の環境」の作成 | 大気データをまとめた「浦安市の環境」を作成し、大気汚染防止等に関する啓発を行う。 | | 完了 | 調査期間満了のため(平成18年度) | 発行部数 平成18年度 年次報告書と統一 | | 完了 |
| | | | ダイオキシン類測定 | 市内1地点で年4回、一般環境大気中のダイオキシン類濃度の把握および監視を行う。 | 市内1地点、年4回、一般環境大気中のダイオキシン類濃度の測定を行った。 | ○ | | ダイオキシン類濃度測定 平成19年度 4地点 平成20年度 4地点 平成21年度 4地点 平成22年度 4地点 平成23年度 4地点 | □ | ○ |
| | | | アスベスト測定 | 市内2地点で年2回、一般環境大気中のアスベスト濃度の把握および監視を行う。 | 市内2地点、年2回、一般環境大気中のアスベスト濃度の測定を行った。 | △ | | アスベスト濃度測定 平成19年度 4地点(年2回) 平成20年度 4地点(年2回) 平成21年度 4地点(年2回) 平成22年度 4地点(年2回) 平成23年度 4地点(年2回) | □ | ○ |
| 監視データの整理および解析の迅速化に努めるとともに、監視設備の充実に努めます。 | 2 | 環境保全課 | 大気汚染常時測定 | 猫実一般環境大気測定局(市)と美浜自動車排出ガス測定局(県)の2地点において一般環境大気と自動車排出ガスの常時監視を行う。 | 猫実一般環境大気測定局：一般環境大気の常時測定(二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、一酸化炭素、光化学オキシダント、炭化水素、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン) 美浜自動車排出ガス測定局：自動車排出ガスの常時測定(一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質) | ○ | | 一般環境大気測定(猫実一般環境大気測定局) ※環境基準が設定されている項目 平成19年度 9項目 平成20年度 9項目 平成21年度 9項目 平成22年度 9項目 平成23年度 9項目 自動車排出ガス測定(美浜自動車排出ガス測定局) 平成19年度 4項目 平成20年度 4項目 平成21年度 4項目 平成22年度 4項目 平成23年度 4項目 | □ | ○ |
| | | | 自動車大気汚染等測定 | 市内の主要幹線道路にて大気状況を把握および監視する。 | 未実施 | × | 低い数値で安定しており、他市で測定を行っていないため。 | 自動車排出ガス測定 平成19年度 10地点 平成20年度 10地点 平成21年度 10地点 平成22年度 10地点 平成23年度 8地点 | □ | × |
| | | | 微小粒子状物質曝露影響調査 | 平成13年度より、環境省より浦安市が調査の委託を受け、3歳児とその保護者を対象に大気中に浮遊している微小な粒子状物質の健康への影響を探るために、調査を実施。 | | 完了 | 調査期間満了のため(平成18年度) | 微小粒子状物質曝露影響調査 平成13年度より調査実施 平成18年度 調査期間満了 | | 完了 |
| | | | ダイオキシン類測定 | 市内1地点で年4回、一般環境大気中のダイオキシン類濃度の把握および監視を行う。 | 市内1地点、年4回、一般環境大気中のダイオキシン類濃度の測定を行った。 | ○ | | ダイオキシン類濃度測定 平成19年度 4地点 平成20年度 4地点 平成21年度 4地点 平成22年度 4地点 平成23年度 4地点 | □ | ○ |
| | | | アスベスト測定 | 市内2地点で年2回、一般環境大気中のアスベスト濃度の把握および監視を行う。 | 市内2地点、年2回、一般環境大気中のアスベスト濃度の測定を行った。 | ○ | | アスベスト濃度測定 平成19年度 4地点(年2回) 平成20年度 4地点(年2回) 平成21年度 4地点(年2回) 平成22年度 4地点(年2回) 平成23年度 4地点(年2回) | □ | ○ |

(2)自動車排出ガス対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|------------|---------------|---|------------|------------|--|----|-------|
| 市の低公害車の導入を促進するとともに、市民・事業者への低公害車の導入、普及促進を図ります。 | 3 | 環境保全課 | 低公害車導入推進事業 | 低公害車の導入を推進する。 | 低公害車保有台数 64台 低公害車新規導入台数 ハイブリット 1台 ガソリン/LPG 4台 | ○ | | 低公害車保有台数 平成19年度 31台 平成20年度 32台 平成21年度 32台 平成22年度 36台 平成23年度 63台 | △ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 | |
|---|-----------|--------------|--|--|--|------------|--|--|----|-------|----|
| 自動車から排出される窒素酸化物および粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)、「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例(千葉県ディーゼル条例)」等に基づき、粒子状物質の排出を抑制するための措置を市が率先して講じるとともに、市民・事業者・滞在者等への周知徹底を図ります。 | 4 | 健康増進課 | 自動車の使用の抑制と自転車利用の促進 | 公用車使用に伴う燃料使用量前年度比0.5%削減を環境目標として、保健師が訪問事業をする際に極力自転車を使用する際に極力自転車を使用するように努める。 | 公用車使用に伴う燃料使用量前年度比0.5%削減を環境目標として、保健師が訪問事業をする際に極力自転車を使用する際に極力自転車を使用するように努めた結果、平成24年度燃料の使用量は791.92t、前年度比較では2.2%増となった。 | ○ | | 公用車使用に伴う燃料使用量 平成19年度 649.76t:前年度比較 △47.6% 平成20年度 656.21t:前年度比較 1.0% 平成21年度 593.49t:前年度比較 △10.5% 平成22年度 786.63t:前年度比較 24.6% 平成23年度 774.38t:前年度比較 △1.6% | ▽ | ○ | |
| | 5 | 環境保全課 | アイドリングストップ啓発 | 市民・事業者・滞在者に大気汚染防止キャンペーン等のイベントを利用して、アイドリングストップの周知・啓発を行う。 | 11月から1月の間に、浦安駅前および新浦安駅前にて、アイドリングストップ等のエコドライブの啓発グッズを配布した。 | ○ | | 平成19年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成20年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成21年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成22年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 平成23年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 | □ | ○ | |
| | | | 事業者への周知・啓発 | 事業者に対し、大気汚染防止のための冬季対策(アイドリングストップ等のエコドライブ、自家用車による通勤の自粛等)の実施協力をお願い、啓発用ポスターの送付等を行う。 | 協力依頼件数 24事業者 1団体 | ○ | | 協力依頼件数 事業者 団体 平成19年度 23 1 平成20年度 56 1 平成21年度 24 1 平成22年度 24 1 平成23年度 25 1 | □ | ○ | |
| | 6 | 消防本部総務課 | 「浦安市の環境」の作成 | 大気データをもとめた「浦安市の環境」を作成し、大気汚染防止等に関する啓発を行う。 | | 完了 | 調査期間満了のため(平成18年度) | 発行部数 平成18年度 年次報告書と統一 | | | 完了 |
| | | | 自転車の貸し出し | 平成15年度より、公用車の排出ガス削減を推進するため、リサイクル自転車を活用して、職員の業務での使用に係る貸し出しを集中管理する。 | 自転車貸し出し件数 264件 | ○ | | 自転車貸し出し件数 平成19年度 324件 平成20年度 460件 平成21年度 475件 平成22年度 861件 平成23年度 197件 | ▽ | ○ | |
| | 7 | セブンスターアイス | 排出ガス対策推進 | 排気ガスは、人体だけではなく周辺環境にも様々な影響を与え、酸性雨や光化学スモッグを引き起こす原因のひとつであることから、消防庁舎の車庫内に排気ガス排出システムを導入。 | 消防庁舎車庫内に16基設置し活用している。 | ○ | | 平成19年度 消防庁舎新庁舎完成時より実施(平成20年2月25日開庁) 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ | |
| アイドリングストップ | | | 月～土までの週6日を3台のリフトワゴン車(合計走行約40km/日)で送迎しており、利用者が高齢者という事情から冷房暖房は必須事項ではあるが、可能な範囲でアイドリングストップに心掛ける。 | 夏季、冬季は空調停止が厳しい状態であるが、中間期は積極的に実施した。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ | | |
| 8 | セブンスターアイス | アイドリングストップ | 月～土までの週6日を3台のリフトワゴン車(合計走行約40km/日)で送迎しており、利用者が高齢者という事情から冷房暖房は必須事項ではあるが、可能な範囲でアイドリングストップに心掛ける。 | 夏季、冬季は空調停止が厳しい状態であるが、中間期は積極的に実施した。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ | | |
| | | アイドリングストップ | 月～土までの週6日を3台のリフトワゴン車(合計走行約40km/日)で送迎しており、利用者が高齢者という事情から冷房暖房は必須事項ではあるが、可能な範囲でアイドリングストップに心掛ける。 | 夏季、冬季は空調停止が厳しい状態であるが、中間期は積極的に実施した。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ | | |
| 9 | セブンスターアイス | アイドリングストップ | 月～土までの週6日を3台のリフトワゴン車(合計走行約40km/日)で送迎しており、利用者が高齢者という事情から冷房暖房は必須事項ではあるが、可能な範囲でアイドリングストップに心掛ける。 | 夏季、冬季は空調停止が厳しい状態であるが、中間期は積極的に実施した。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ | | |
| | | 10 | 環境保全課 | 市民・事業者・滞在者に大気汚染防止キャンペーン等のイベントを利用して、アイドリングストップの周知・啓発を行う。 | 11月から1月の間に、浦安駅前および新浦安駅前にて、アイドリングストップ等のエコドライブの啓発グッズを配布した。 | ○ | | 平成19年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成20年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成21年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成22年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 平成23年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 | □ | ○ | |
| 11 | 環境保全課 | 事業者への周知・啓発 | 事業者に対し、大気汚染防止のための冬季対策(アイドリングストップ等のエコドライブ、自家用車による通勤の自粛等)の実施協力をお願い、啓発用ポスターの送付等を行う。 | 協力依頼件数 24事業者 1団体 | ○ | | 協力依頼件数 事業者 団体 平成19年度 23 1 平成20年度 56 1 平成21年度 24 1 平成22年度 24 1 平成23年度 25 1 | □ | ○ | | |
| | | アイドリングストップ啓発 | 市民・事業者・滞在者に大気汚染防止キャンペーン等のイベントを利用して、アイドリングストップの周知・啓発を行う。 | 11月から1月の間に、浦安駅前および新浦安駅前にて、アイドリングストップ等のエコドライブの啓発グッズを配布した。 | ○ | | 平成19年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成20年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成21年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成22年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 平成23年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 | □ | ○ | | |
| 道路や公共交通網の整備の促進等により、交通渋滞の解消を図ります。 | 12 | 都市政策課 | 公共交通機関整備促進事業 | <路線バス> 公共交通機関としての路線バスの利用を促進するとともに、バス利用者の利便性の向上を図るため、バス事業者が実施する事業に係る費用の一部を補助する。 <鉄道> 鉄道の利便性の向上を図るため、「千葉県JR線線路化等促進期成同盟」を通じて要望を提出する。 | <路線バス> 復旧・復興事業を優先するため、平成23年度より実施していない。 <鉄道> 東京線、武蔵野線の輸送力の増強、さらなる強風対策の推進、安全対策等、利便性の向上のための要望を行った。 | ○ | | 低床バス 上屋 新路線 1C JRへの 補助 補助 補助 補助 要望 平成19年度 10台 2路線 87台 平成20年度 9台 8路線 1台 平成21年度 3台 3台 平成22年度 6台 3台 平成23年度 1台 1台 | □ | ○ | |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|--------------------|---------------------------------|------------------------|------------|------------|--|----|-------|
| 小規模焼却炉を有する事業所に対する指導の充実を図ります。 | 21 | 環境保全課 | 苦情対応(燃焼行為) | 苦情対応の際に、大気の排出基準について、法令に基づき指導する。 | 公害苦情件数(焼却炉における燃焼行為) 0件 | ○ | | 公害苦情件数(焼却炉における燃焼行為) 平成19年度 2件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 3件 平成23年度 0件 | △ | ○ |
| 農薬物の野外での焼却など屋外での燃焼行為の規制に関する周知徹底を図るとともに、法令に基づいた指導の徹底を図ります。 | 22 | 環境保全課 | 苦情対応(農薬物の屋外での燃焼行為) | 苦情対応の際に、大気の排出基準について、法令に基づき指導する。 | 公害苦情件数(屋外での燃焼行為) 2件 | ○ | | 公害苦情件数(燃焼行為) 平成19年度 3件 平成20年度 4件 平成21年度 5件 平成22年度 1件 平成23年度 2件 | □ | ○ |

2. 水環境

(1)水質監視体制の充実

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---------------------------------------|------|-------|---------------|---|---|------------|------------|--|----|-------|
| 市内4河川における水質測定を定期的に実施し、データ結果を公表していきます。 | 23 | 環境保全課 | 河川水質測定 | 市内4河川における水質測定を定期的に実施する。 | 市内5地点 年4回測定 3地点…7項目(大腸菌群未実施) 2地点…6項目(水素イオン濃度、浮遊物質量、生物化学的酸素要求量、溶存酸素量、全窒素、全りん、大腸菌群) | ○ | | 河川水質測定 地点 測定項目 測定 平成19年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成20年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成21年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成22年度 市内7地点 7項目 毎月1回 平成23年度 市内5地点 7項目 毎月1回 ※うち2地点は大腸菌群を除く6項目について測定を実施 | □ | ○ |
| 監視データの整理および解析の迅速化に努めます。 | 24 | 環境保全課 | 河川水質測定 | 市内4河川における水質測定を定期的に実施する。 | 市内5地点 年4回測定 3地点…7項目(大腸菌群未実施) 2地点…6項目(水素イオン濃度、浮遊物質量、生物化学的酸素要求量、溶存酸素量、全窒素、全りん、大腸菌群) | ○ | | 河川水質測定 地点 測定項目 測定 平成19年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成20年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成21年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成22年度 市内7地点 7項目 毎月1回 平成23年度 市内5地点 7項目 毎月1回 ※うち2地点は大腸菌群を除く6項目について測定を実施 | □ | ○ |
| 地下水の水質測定を実施し、データの把握に努めます。 | 25 | 環境保全課 | 地下水汚染防止対策水質調査 | 地下水の汚染を防止するため、公共用水域および地下水の水質汚濁の状況を監視測定する。 | 未実施 | × | | 地下水汚染防止対策水質調査 測定項目 測定 平成19年度 猫美、当代島地区 27項目 年1回 日の出地区 52項目 年1回 平成20年度 猫美地区(2カ所) 26項目 年1回 平成21年度 猫美地区(2カ所) 26項目 年1回 平成22年度 未実施 平成23年度 未実施 | □ | 未定 |

(2)生活排水・事業所排水対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|--------------------------------|--|---|------------|-------------|---|----|-------|
| 公共下水道の整備については、未整備区域の整備に努め、供用区域の拡大を図ります。 | 26 | 下水道課 | 公共下水道整備 | 公共用水域の水質の保全と生活環境の改善を図るため、下水道の未整備区域の面整備を推進する。 | 下水道の整備箇所(災害復旧により一時休止) 面積普及率 93.3% 人口普及率 99.7% | × | 災害復旧により一時休止 | 公共下水道整備 面積普及率 人口普及率 平成19年度 89.8% 98.8% 平成20年度 92.9% 99.1% 平成21年度 93.0% 99.3% 平成22年度 93.1% 99.6% 平成23年度 93.3% 99.8% | △ | ○ |
| | 27 | ごみゼロ課 | 浄化槽管理指導事業 | 浄化槽の適正な維持・管理のため、年1回以上清掃を依頼する。 | 設置数 単独浄化槽 1,252基 合併浄化槽 113基 | ○ | | 浄化槽設置数 単独浄化槽 合併浄化槽 平成19年度 1,758基 90基 平成20年度 1,698基 93基 平成21年度 1,506基 101基 平成22年度 1,402基 103基 平成23年度 1,255基 106基 | □ | ○ |
| 事業所等における有害物質や油等の流出を未然に防止するため、排水対策に関する普及・啓発を推進します。 | 28 | 環境保全課 | 苦情対応(生活排水) | 苦情対応の際に、排水基準について、法令に基づき指導する。 | 苦情件数 0件 | ○ | | 苦情件数(生活排水) 平成19年度 3件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| | 29 | 下水道課 | 特定事業場の水質監視 | 特定事業場から排水される下水の水質が基準値に適合するよう、水質の検査および監視を行う。 | 届出特定事業場排水の測定 33事業場 年4回以下 | ○ | | 水質調査実施事業場数 平成19年度 32カ所 平成20年度 34カ所 平成21年度 34カ所 平成22年度 31カ所 平成23年度 32カ所 | △ | ○ |
| 「水質汚濁防止法」に基づき、事業所等に対する排水基準の遵守の徹底・指導を県と協力して努めます。 | 30 | 環境保全課 | 苦情対応(生活排水) | 苦情対応の際に、排水基準について、法令に基づき指導する。 | 苦情件数 0件 | ○ | | 苦情件数(生活排水) 平成19年度 3件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| 下水道法に基づき、事業場等に対する排水基準の遵守の徹底・指導を県と協力して努めます。 | 31 | 下水道課 | 特定事業場から排水される下水の水質について、適時調査を行う。 | 特定事業場から排水される下水の水質が基準値に適合するよう、水質の検査および監視を行う。 | 届出特定事業場排水の測定 33事業場 年4回以下 | ○ | | 水質調査実施事業場数 平成19年度 32カ所 平成20年度 34カ所 平成21年度 34カ所 平成22年度 31カ所 平成23年度 32カ所 | △ | ○ |

(3)河川の水質改善対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---------------------------------------|------|-------|--------------------------|---|--|------------|-----------------------|---|----|-------|
| 県が行う河川の浚渫等に市が協力し、悪臭防止対策や河川の水質改善に努めます。 | 32 | 道路整備課 | 河川環境対策事業(堀江川浄化取水ポンプ維持管理) | 堀江川沈砂池および河川部分の汚泥浚渫等を県と市が共同で行い、臭気軽減に努める。 | 水質浄化のため設置した堀江川浄化ポンプの正常な運転を保持するための維持管理を行った。 | ○ | | 平成19年度 堀江川沈砂池浚渫工事(県施工) 平成20年度 堀江川浚渫工事(県施工) 平成21年度 堀江川浚渫工事(県施工) 平成22年度 堀江川浚渫工事(県施工) 平成23年度 堀江川浄化ポンプの維持管理 | □ | ○ |
| 堀江川における水生植物の設置により、河川の水質改善に努めます。 | 33 | 環境保全課 | 水辺の緑化推進事業 | 堀江川に水生植物を設置して、維持・管理を行い、河川の水質管理に努める。 | 植栽の設置 | × | 植栽の土台である単管パイプが劣化したため。 | 平成19年度 植栽の管理 平成20年度 植栽の管理および一部分撤去 平成21年度 植栽の管理および一部分撤去 平成22年度 植栽の管理および一部分撤去 平成23年度 植栽の管理および一部分撤去 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--------------------------|------|---------|-------------------|--|--|------------|------------|--|----|-------|
| 川をきれいにする市民の活動への支援を推進します。 | 34 | 協働推進課 | 市民活動補助金 | ボランティア活動、特定非営利活動など不特定かつ多数のものを利益増進に寄与することを目的とした市民が行う活動を目的としない自由な社会貢献活動を促進するため、市民活動団体が実施する活動に対して、その自主性を尊重し浦安市市民活動補助金を交付する。 ・自立促進事業補助金(はじめての一步) ・会員確保を目的とした団体活動の開催など、団体の自立を促進するのに効果的な事業に補助金を交付する。 ・活性化事業補助金(ステップアップ) 1年以上活動している団体が主体性を持ち、団体の活動を発展させるのに効果的な、公益性の高い事業に補助金を交付する。 | 河川の水质改善対策に該当する事業への交付状況：1団体(ステップアップ) | ○ | | 河川の水质改善対策に該当する事業への交付状況 ○自立促進事業補助金(はじめての一步) 平成19年度 該当なし 平成20年度 該当なし 平成21年度 該当なし 平成22年度 該当なし 平成23年度 該当なし ○活性化事業補助金(ステップアップ) 平成19年度 該当なし 平成20年度 該当なし 平成21年度 1団体 平成22年度 1団体 平成23年度 1団体 | □ | ○ |
| 川をきれいにする市民の活動への支援を推進します。 | 35 | 環境保全課 | 川をきれいにする市民の活動への支援 | 江戸川の水质環境を保全するために、江戸川流域自治体と住民が連携しながら、江戸川の水质改善に努める。 | 江戸川を守る会参加。(江戸川水質調査、視察研修会開催、機関紙発行、河川美化推進員会議等) | ○ | | 平成18年度 江戸川を守る会参加 平成20年度 江戸川を守る会参加 平成21年度 江戸川を守る会参加 平成22年度 江戸川を守る会参加 平成23年度 江戸川を守る会参加 | □ | ○ |

3. その他生活環境

(1)騒音・振動防止対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|-------------------------|---|--|------------|------------------------|---|----|-------|
| 事業所等や建設作業の騒音・振動については、「騒音規制法」、「振動規制法」による規制に加え、「浦安市環境保全条例」により、地域の特性を考慮した規制を行います。 | 36 | 環境保全課 | 「浦安市環境保全条例」による規制 | 「騒音規制法」、「振動規制法」に加え、地域の実情を考慮した「浦安市環境保全条例」による規制を行う。環境保全条例規制項目例・深夜騒音・移動発生源 | 法令と条例に基づき、規制を行った。 | ○ | | 法令と条例に基づき、規制を行った。 | □ | ○ |
| 建設作業に伴う騒音・振動については、低騒音・低振動型の機械や工法の採用、防音対策、作業時間の制限などの指導に努めます。 | 37 | 環境保全課 | 建設作業に対する指導 | 建設作業に伴う騒音・振動については、「騒音規制法」、「振動規制法」により、特定建設作業届出書や特定施設届出書を提出してもらい、受理するとともに、事業者に対して、指導を行う。 | 特定建設作業届出受理数： 騒音法 153件 振動法 103件 市条例 311件 | ○ | | 受理数(特定建設作業)： 騒音法 市条例 平成19年度 74件 43件 188件 平成20年度 78件 45件 212件 平成21年度 78件 56件 277件 平成22年度 106件 62件 262件 平成23年度 279件 115件 381件 | □ | ○ |
| | | | 苦情対応(騒音・振動) | 苦情対応の際に、騒音・振動について、法令に基づき指導する。 | 苦情件数(騒音・振動) 騒音 49件 振動 6件 | ○ | | 苦情件数 騒音 振動 平成19年度 62件 5件 平成20年度 54件 5件 平成21年度 37件 5件 平成22年度 88件 4件 平成23年度 55件 20件 | □ | ○ |
| 自動車交通への依存を抑制したライフスタイルの形成を促進することにより、自動車交通量の抑制に努めます。 | 38 | 環境保全課 | アイドリングストップ啓発 | 市民・事業者・滞在者に大気汚染防止キャンペーン等のイベントを利用して、アイドリングストップの周知・啓発を行う。 | 11月から1月の間に、浦安駅前および新浦安駅前にて、アイドリングストップ等のエコドライブの啓発グッズを配布した。 | ○ | | 平成19年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成20年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成21年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成22年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 平成23年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 | □ | ○ |
| | | | 事業者への周知・啓発 | 事業者に対し、大気汚染防止のための冬季対策(アイドリングストップ等のエコドライブ、自家用車による通勤の自粛等)の実施協力をお願いし、啓発用ポスターの送付等を行う。 | 協力依頼件数 24事業者 1団体 | ○ | | 協力依頼件数 事業者 団体 平成19年度 23 1 平成20年度 56 1 平成21年度 24 1 平成22年度 24 1 平成23年度 25 1 | □ | ○ |
| | 39 | 都市政策課 | 公共交通機関整備促進事業 | <路線バス> 公共交通機関としての路線バスの利用を促進するとともに、バス利用者の利便性の向上を図るため、バス事業者が実施する事業に係る費用の一部を補助する。 | <路線バス> 復旧・復興事業を優先するため、平成23年度より実施していない。 | × | | 低床バス補助 上屋補助 新路線補助 1C補助 平成19年度 10台 2路線 87台 平成20年度 9台 2路線 87台 平成21年度 3台 2路線 3台 平成22年度 6台所 2路線 3台 平成23年度 6台所 2路線 3台 | □ | × |
| 主要な道路については、低騒音舗装の導入を推進します。 | 40 | 道路整備課 | 排水性舗装 | 幹線道路の車道部において、順次、排水性舗装を整備しており、走行の安全性の向上や低騒音効果も確認できているところである。また、歩道部については透水性舗装により、水資源を大地に還元している。 | なし | △ | | 排水性舗装 平成19年度 1,110m 8,825㎡ 平成20年度 259m 1,707㎡ 平成21年度 309m 1,938㎡ 平成22年度 160m 1,080㎡ 平成23年度 なし | □ | 未定 |
| 市内における暴走行為の防止策として、必要に応じてスピードを出せないような舗装等を行うとともに、交通管理者である警察に取締りの強化を要請していきます。 | 41 | 交通安全課 | 交通安全施設整備事業 | 市道における暴走行為が行われている箇所(道路幅等を設置し、危険走行が行い難い道路構造にする。 | 暴走行為は行われていないため、関連工事等は実施していない。 | × | 暴走行為は行われていないため(平成23年度) | 暴走行為は行われていないため、関連工事等は実施していない。 | □ | × |
| 県固定局での航空機騒音測定だけでなく、本市独自の実態調査を行い、その結果を公表していきます。 | 42 | 環境保全課 | 東京国際空港航空機騒音実態調査(夏季)(冬季) | 東京国際空港を離発着する航空機の騒音の影響を把握するため騒音実態調査を行う。 | ・航空機騒音調査(夏季) 市内3地点、泉測定局2地点および国測定局1地点 ・航空機騒音調査(冬季) 市内1地点、泉測定局1地点および国測定局1地点 | ○ | | 平成19年度 東京国際空港航空機騒音実態調査(夏季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 平成20年度 東京国際空港航空機騒音実態調査(夏季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 平成21年度 東京国際空港航空機騒音実態調査(夏季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 平成22年度 東京国際空港航空機騒音実態調査(夏季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(臨時) 平成23年度 東京国際空港航空機騒音実態調査(夏季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 東京国際空港航空機騒音実態調査(冬季) 航空機騒音の環境基準についてはこれまで超過していない | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------|--------------------------|--|--------------------------------|------------|-------------------------------------|--|----|-------|
| 国、県、他自治体の情報収集と近隣自治体との連携を図ります。 | 43 | 環境保全課 | 羽田再拡張に関する県・市町村連絡協議会 | ・羽田空港再拡張事業後の航空機騒音などの問題に対応するため県および関係25市町村で構成する協議会を設置する。 ・深夜早期時間帯の飛行経路について国と協議を行う。 ・協議会の下に、騒音監視技術検討ワーキンググループを設置し今後の監視体制等について検討を行う。 | ・県・市町村協議会 3回開催(6/4、11/9、12/21) | ○ | | 羽田再拡張に関する県・市町村連絡協議会(25市町村)平成16年7月29日設置 平成20年11月 ワーキンググループにて「羽田再拡張後の騒音監視の技術的な検討について」取りまとめを行った。 | □ | ○ |
| 航空機騒音により、生活環境が著しく損なわれる、または損なうおそれがあるとき、国などの関係機関への改善を要請します。 | 44 | 環境保全課 | 再拡張後の深夜早期時間帯の飛行ルートに関する協議 | 深夜早期時間帯の飛行ルートの決定は県および関係市町村の合意が前提であることを国に主張した。 | | 完了 | 平成22年10月21日にD滑走路が供用開始となったため(平成22年度) | 平成17年12月に環境影響評価準備書に対する市長意見を知事に提出した。 平成18年6月に環境影響評価に対する本市の見解と今後の取り組みを発表した。 平成19年1月に「東京国際空港の施設変更および指定した延長侵入表面の変更に関する公聴会」(羽田空港D滑走路の新設に伴う延長進入表面の指定)において、深夜早期時間帯の騒音軽減に努めるよう、本市の意見を公述した。 平成21年9月に羽田空港再拡張事業に伴う深夜早期時間帯の飛行ルート等について申し入れを行った結果、平成22年2月に騒音の影響を軽減する新たなルートが提示された。 | | 完了 |
| 航空機騒音により、生活環境が著しく損なわれる、または損なうおそれがあるとき、国などの関係機関への改善を要請します。 | 44 | 環境保全課 | 環境影響評価への対応市上空通過の低減対策 | 環境影響評価書の内容を検討した。 | | 完了 | 上空通過低減のため(平成19年度) | 平成16年度の調査結果に基づき申し入れ。 平成19年9月より本市上空の飛行を回避する新たな航法(RNAV)を導入した。 | | 完了 |
| 航空機騒音により、生活環境が著しく損なわれる、または損なうおそれがあるとき、国などの関係機関への改善を要請します。 | 44 | 環境保全課 | 国設航空機騒音測定局の設置 | 日の出地区に国設航空機騒音測定局の設置を求めた。 | | 完了 | 設置完了のため(平成19年度) | 平成19年8月に日の出基地公園に航空機騒音固定測定局が設置され、市に結果が報告された。 | | 完了 |
| 航空機騒音により、生活環境が著しく損なわれる、または損なうおそれがあるとき、国などの関係機関への改善を要請します。 | 44 | 環境保全課 | 羽田空港再拡張事業に係る騒音問題への対策 | 羽田空港再拡張事業実施後の騒音問題を未然に防止するため、現在の騒音問題に対応するため、航空機騒音・飛行高度コース実態調査を行い、問題の把握に努めるとともに、国に問題防止のための措置を要請する。 | | 完了 | 平成22年10月21日にD滑走路が供用開始となったため(平成22年度) | 平成20年度・国土交通大臣に第5滑走路新設等の動きについて市長が直接申し入れを行った。 平成21年度 ・9月14日市長が国土交通省へ深夜早期時間帯における航空機騒音の低減にむけ誠意ある対応を申し入れた。 ・10月16日市長は「羽田空港の国際ハブ空港化発言に関する要望書」の提出に同席し、辻国土交通副大臣に深夜早期時間帯の騒音問題への懸念と解決を要望した。 ・2月22日市長は羽田空港再拡張事業に伴う飛行ルートについての要望書を航空局長に提出した。 平成22年度 ・8月25日「東京国際空港の施設変更および指定した延長進入表面の変更に関する公聴会」(羽田空港C滑走路の延伸に関する公聴会)において、今後も騒音軽減について十分な対応を図るよう意見した。 | □ | 完了 |
| 拡声機・深夜営業等に伴う騒音に対して、啓発や指導に努めます。 | 45 | 環境保全課 | 苦情対応(拡声機・深夜営業) | 苦情対応の際に、拡声機・深夜営業の騒音について、法令と条例に基づき指導する。 | 苦情件数(拡声機・深夜営業) 4件 | ○ | | 苦情件数(拡声機・深夜営業) 平成19年度 9件 平成20年度 4件 平成21年度 6件 平成22年度 2件 平成23年度 5件 | □ | ○ |
| 市内主要幹線道路における自動車排ガス、騒音・振動および交通量を調査項目とする道路交通環境調査を実施し、現状を把握するとともに、データ結果を公表していきます。 | 46 | 環境保全課 | 主要幹線道路における騒音・振動調査 | 市内の主要幹線道路において、騒音・振動の調査を行う。 | 自動車騒音・振動の測定 8地点 年2回実施 | △ | | 測定地点 平成19年度 10地点 平成20年度 10地点 平成21年度 10地点 平成22年度 10地点 平成23年度 8地点 | □ | ○ |
| 監視データの整理および解析の迅速化に努めるとともに、監視設備の充実にも努めます。 | 47 | 環境保全課 | 主要幹線道路における騒音・振動調査 | 市内の主要幹線道路において、騒音・振動の調査を行う。 | 自動車騒音・振動の測定 8地点 年2回実施 | △ | | 測定地点 平成19年度 10地点 平成20年度 10地点 平成21年度 10地点 平成22年度 10地点 平成23年度 8地点 | □ | ○ |
| 自動車による騒音・振動の要請限度を超えるなど道路周辺の生活環境が著しく損なわれているとき、国・県などの道路管理者へ改善をお願いします。 | 48 | 環境保全課 | 道路管理者への要請 | 良好な生活環境を確保するため、道路管理者に、騒音・振動の低減について検討するようお願いする。 | 件数 3件 | ○ | | 件数 平成19年度 3件 平成20年度 3件 平成21年度 3件 平成22年度 3件 平成23年度 3件 | □ | ○ |

(2)地盤沈下・悪臭・土壌環境対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------|-------------|--|-------------------------------|------------|------------|---|----|-------|
| 「工業用水法」、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律(ビル用水法)」、「千葉県環境保全条例」、「浦安市環境保全条例」など関係法令等の遵守徹底を図ります。 | 49 | 環境保全課 | 地下水採取の規制・届出 | 環境保全条例に揚水施設の設置届出 | 届出件数 2件 | ○ | | 届出件数 平成19年度 0件 平成20年度 0件 平成21年度 4件 平成22年度 4件 平成23年度 2件 | □ | ○ |
| 温泉施設に係る環境保全協定の締結等により、揚湯量の抑制に努めます。 | 50 | 環境保全課 | 環境保全協定 | 温泉施設に係る環境保全協定の締結等により、揚湯量の抑制に努める。 | 環境保全協定締結件数 0件 | ○ | | 環境保全協定締結件数 平成19年度 0件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| 県が行う地盤沈下の監視測定(地盤沈下観測用の精密水準点の設置等)によるデータの把握を行い、県と連携してデータを公表していきます。 | 51 | 環境保全課 | 地盤沈下の監視測定 | 県が毎年1月1日を基準日として実施した精密水準測量(市内水準点数 17地点)の成果をもとに毎年1月に市内17地点で地盤沈下の把握監視測定を行い、公表されたその結果を基に、問い合わせに対応する。 | 地盤沈下測定地点 22地点 地盤沈下確認箇所 8地点 | ○ | | 地盤沈下測定地点 17地点 地盤沈下確認箇所 17地点 平成19年度 市内17地点 17地点 平成20年度 市内17地点 8地点 平成21年度 市内17地点 13地点 平成22年度 市内17地点 17地点 平成23年度 市内17地点 17地点 | □ | ○ |
| 事業者に対し、「悪臭防止法」等関係法令の周知および遵守の徹底を図ります。 | 52 | 環境保全課 | 苦情対応(悪臭) | 苦情対応の際に、悪臭について、法令等に基づき指導する。 | 苦情件数(悪臭) 15件 | ○ | | 苦情件数(悪臭) 平成19年度 26件 平成20年度 17件 平成21年度 17件 平成22年度 8件 平成23年度 9件 | △ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------|---------------|--|----------------------------|------------|-----------------------------------|--|----|-------|
| 悪臭が発生する恐れのある施設に対して、啓発・指導を行い、発生防止を図ります。 | 53 | 環境保全課 | 苦情対応(悪臭) | 苦情対応の際に、悪臭について、法令等に基づき指導する。 | 苦情件数(悪臭) 15件 | ○ | | 苦情件数(悪臭) 平成19年度 26件 平成20年度 17件 平成21年度 17件 平成22年度 8件 平成23年度 9件 | △ | ○ |
| 東京湾広域臭などに対しては、関係機関への指導を県に要請します。 | 54 | 環境保全課 | 苦情対応(広域臭) | 苦情対応の際に、東京湾広域臭臭について、千葉県や京葉ガスと連携し、原因を調査する。 | 発生件数(広域臭) 1件 | ○ | | 苦情件数(広域臭) 平成19年度 0件 平成20年度 2件 平成21年度 3件 平成22年度 2件 平成23年度 5件 | ▽ | ○ |
| 事業者に対し、「土壌汚染対策法」等関係法令の周知および遵守の徹底を図ります。 | 55 | 環境保全課 | 問い合わせ対応 | 本市における土壌汚染対策法の指定区域の有無などについて情報を提供する。 | ・法概要のパンフレットの配布 ・届出先等の案内 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| 土壌汚染については、県と連携しながら、情報の把握と指導を行います。 | 56 | 環境保全課 | 土壌汚染に関する情報の把握 | 土壌汚染対策法に準じた事業者の自主土壌調査に関する相談の受付や県と連携した対策を指導する。 | 0カ所 | ○ | | 平成19年度 0カ所 平成20年度 0カ所 平成21年度 0カ所 平成22年度 0カ所 平成23年度 0カ所 | □ | ○ |
| 土地への埋立て等の面積が3,000平方メートル未満の事業に対しては、「千葉県土砂等の埋立て等による土壌の汚染および災害の発生防止に関する条例(県土条例)」の対象となるため、市土砂条例の制定などにより、土壌汚染・土砂の崩落等の災害防止を図ります。 | 57 | 環境保全課 | 残土条例制定事業 | 土砂等の埋立てによる土壌汚染、砂塵の飛散および崩落などの災害の発生を未然に防止するため、残土条例を制定する。 | | × | 千葉県残土条例で対応できることが明らかになったため(平成18年度) | 平成18年度 千葉県が対応することとなり検討終了 | | × |

(3)多様化する生活環境問題への対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|----------|------------------------|--|--|------------|----------------------|--|----|-------|
| 中高層建築物等によるテレビ電波障害の未然防止のための指導を行います。 | 58 | 環境保全課 | テレビ電波障害対策 | 中高層建築物等を建築する際に、テレビ電波障害の事前予測調査や防止対策などを原因者に指導する。 | テレビ電波障害の防止に関する事前調査報告書等 受理数 14件 | ○ | | テレビ電波障害の防止に関する事前調査報告書等 受理数 平成19年度 32件 平成20年度 24件 平成21年度 20件 平成22年度 14件 平成23年度 10件 | □ | ○ |
| ビル風害および光害については、関係機関との協議をとおして、抑制に努めます。 | 59 | 環境保全課 | 光害対策 | 事業者に、サーチライト等の使用の抑制を要請する。 | 苦情件数 0件 | ○ | | 平成19年度 環境保全条例制定に向けた検討を行った。 平成20年度 環境保全条例制定に向けた検討を行った。 平成21年度 サーチライト等の使用に関して、市民の生活環境に配慮する努力義務を環境保全条例で規定した。 苦情件数 1件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| | | | ビル風害対策 | 事業者と住民との協議の円滑化を促す。 | 風害要請件数 0件 | ○ | | 風害要請件数 平成19年度 0件 平成20年度 0件 平成21年度 1件 平成22年度 1件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| | | | 風速計の貸し出し | 中高層建築物による風害対策の協議を円滑に進めるため、市内在住の方を対象に、簡易型風速・風向測定器の貸し出しを行う。 | 風速風向計の貸し出し件数 1件 | ○ | | 風速風向計の貸し出し件数 平成19年度 2件 平成20年度 1件 平成21年度 1件 平成22年度 1件 平成23年度 1件 | □ | ○ |
| | | | サーチライト等の使用規制に関する条例制定事業 | サーチライト等の光がもたらす市民の不安感や不快感などを解消し、平穏でより快適な生活環境を確保するため、「サーチライト等の使用規制に関する条例」の検討を行う。 | | × | 環境保全条例に加えるため(平成19年度) | 平成18年度 情報収集・課題整理 平成19年度 環境審議会の意見などから、別途調整中の環境保全条例の一条文に努力義務を加える方向で検討。 | | × |
| ビル風害および光害については、事業者との協議をとおして、抑制に努めます。 | 60 | 環境保全課 | 開発指導事業 | 一定規模以上の建築物の建築を行う場合、条例に基づく事前協議において、指導・助言を行う。 (ビル風害や光害について都市計画課では基準を設けていないが、過去に苦情等が寄せられた建物規模と同規模の建物の事前協議の申出があった場合には、代理者および設計者に対して、近隣紛争予防の観点から過去の経緯を説明し、風害や光害について考慮するよう指導を行っている) | 宅地開発事業等に関する条例に基づく協議において環境保全課を中心に、指導・助言を行った。 | ○ | | 平成16～17年度 指導要綱に基づく協議 平成18年度 (10月から条例)～ 条例に基づく協議において環境保全課を中心に、指導・助言を行った。 | □ | ○ |
| ヒートアイランド現象については、人工排熱・温室効果ガス排出の低減、地表面緑化、都市形態の改善等により対策を推進します。 | 61 | みどり公園課 | 公園建設事業 | 新町地区の新規公園整備により、緑地面積増加を図り、生活環境の向上を目的とする。 | 建設なし | × | | 平成19年度 日の出北公園 15,000㎡ 平成20年度 建設なし 平成21年度 日の出第4街区公園 2,552㎡ 平成22年度 建設なし 平成23年度 建設なし | □ | 未定 |
| | 62 | 関係課 | | 資料編(Web版) 27～28ページ 資源・エネルギー・地球環境問題 (3)ヒートアイランド対策の推進 参照 | | | | | | |
| 「浦安市空き缶等の取乱防止等に関する条例」に基づき、ポイ捨て禁止キャンペーン等の啓発活動を引き続き行います。 | 63 | 環境レンジャー課 | 空き缶等ポイ捨て防止対策事業 | 浦安市空き缶等の取乱防止等に関する条例に基づき、啓発活動を行う。 | ・駅前啓発キャンペーン 毎月第2火曜日に浦安駅、新浦安駅、舞浜駅の順に実施し、ボランティア団体や市内事業者等にも参加していただき、地域とのつながりを持った事業展開を行った。 ・その他 環境フェア・植木まつり・市民まつり等で実施 駅前階段等に路上啓発パネルや看板を設置した。また、タバコのポイ捨てと歩きタバコを防止するため、浦安駅および新浦安駅周辺に試行的に灰皿を設置している。 | ○ | | 啓発キャンペーンに関しては連年、環境フェア、植木まつり、市民まつり等で実施。随時、啓発看板の設置を行った。 | △ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|----------|---------------------------------|---|---|------------|------------|--|----|-------|
| 不法投棄防止パトロールを引き続き行います。 | 64 | 環境レンジャー課 | 不法投棄パトロール | 市全域でごみの不法投棄を防止するため、パトロール等を行う。 | 市民からの要望や不法投棄多発箇所に看板を設置 市内巡回パトロール 不法投棄件数 (一般廃棄物) 504件 | ○ | | 不法投棄件数 平成19年度 419件 平成20年度 393件 平成21年度 456件 平成22年度 369件 平成23年度 469件 | ▽ | ○ |
| 「浦安市空き地に係る雑草等の除去に関する条例」に基づき、民有地の雑草、枯草等の管理の指導を行います。 | 65 | 環境レンジャー課 | 雑草除去事業 | 浦安市空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づき、市内空き地の所有者に対し草刈り指導を行う。 ※平成17年7月より条例改正があり、市はそれまで受けていた委託業務を廃止。指導、業者紹介のみとなった。 草刈機の貸し出しを行う。 | 空き地の雑草除去指導件数 空き地：総空き地数 (平成25年3月末現在) 40筆 | ○ | | 市内の空き地の面積は年々減少傾向にある。そのため、平成17年度からは、業務の効率化や、受益者負担の適正化のため、市で受ける委託業務を廃止。 | △ | ○ |
| 狂犬病予防注射の実施および正しい飼育の指導を推進します。 | 66 | 環境レンジャー課 | 畜犬登録および狂犬病予防事業 | 狂犬病予防法(第4、5条)に基づく登録、狂犬病予防注射済票の交付等に関する事務を行う。 市民を対象としたしつけ方教室の実施。 | 登録数 (平成25年3月31日現在) 5,309頭 新規登録頭数 415頭 注射接種数 4,352頭 接種率 81.97% しつけ方教室参加数 48組 | ○ | | 畜犬登録 登録頭数 注射接種数 接種率 平成19年度 4,802頭 3,697頭 77.0% 平成20年度 5,123頭 3,994頭 78.0% 平成21年度 5,367頭 4,302頭 80.2% 平成22年度 5,560頭 4,316頭 77.6% 平成23年度 5,698頭 4,105頭 72.0% しつけ方教室参加数 平成19年度 52組 平成20年度 92組 平成21年度 83組 平成22年度 55組 平成23年度 63組 | □ | ○ |
| ねずみ、衛生害虫などの除去のための対策を推進します。 | 67 | 環境レンジャー課 | 害虫駆除事業 | 薬剤を窓口において配付し、各戸において薬剤の散布を行う。 | 薬剤配布状況 窓口配布用 142袋 殺鼠剤 107袋 | ○ | | 窓口薬剤配布状況 害虫駆除剤 殺鼠剤 平成19年度 146本 250袋 平成20年度 110本 184袋 平成21年度 191袋 163袋 平成22年度 96袋 120袋 平成23年度 76袋 120袋 ※害虫駆除剤については、平成21年度からチャップリン(1袋5錠) 平成16年度から平成20年度まではバイデスグリーン(100ml) | □ | ○ |
| ごみ散乱防護用ネットの貸し出しや被害防止対策の啓発等により、ガラス等による生活環境被害対策を推進します。 | 68 | ごみゼロ課 | ごみ散乱防護用ネットの貸し出し | ガラスや猫等によるごみの散乱を防止するために、「ごみ散乱防護用ネット」の貸し出しを行う。 | ごみ散乱防護用ネット貸し出し枚数 457枚 | ○ | | 貸し出し枚数 平成19年度 328枚 平成20年度 372枚 平成21年度 354枚 平成22年度 385枚 平成23年度 435枚 | △ | ○ |
| 自転車駐車場の整備や既存駐車場の有効活用を検討、また放置自転車の撤去や放置自転車の撤去を市民にお知らせし、放置自転車の削減に努めます。 | 69 | 交通安全課 | 放置自転車撤去 | 市内三駅周辺の放置整理区域の放置自転車の撤去 ・放置自転車クリーンキャンペーンの実施(10月～11月) ・自転車放置整理区域の変更 ・バリエード表示板の増設 ・商業施設における自転車駐車場の整備 駅周辺の商業施設との意見交換会の実施 | 市内三駅周辺の放置整理区域の放置自転車の撤去 ・放置自転車クリーンキャンペーンの実施(10月～11月) ・自転車放置整理区域の変更 ・バリエード表示板の増設 ・商業施設における自転車駐車場の整備 1日あたりの放置自転車数(午前9時) 浦安駅 39台 新浦安駅 4台 舞浜駅 4台 | ○ | | 市内三駅の1日あたりの放置自転車数(午前9時) 浦安駅 新浦安駅 舞浜駅 平成19年度 202台 573台 12台 平成20年度 204台 222台 11台 平成21年度 187台 114台 10台 平成22年度 145台 40台 10台 平成23年度 71台 15台 7台 | △ | ○ |
| 自転車を利用しやすい環境を整備を進めることにより、自転車利用の促進を図ります。(再掲) | 70 | 交通安全課 | 自転車駐車場整備 | 自転車駐車場の整備・既存施設の増設・有効活用 | | ○ | | 自転車駐車場整備状況 平成19年度 新浦安駅第7、舞浜駅第2の改修 平成20年度 - 平成21年度 浦安駅第3自転車駐車場増設工事完了 平成22年度 新浦安駅第2自転車駐車場増設工事完了 平成23年度 新浦安駅第3自転車駐車場復旧工事 新浦安駅第3自転車駐車場拡張工事 | △ | ○ |
| 農業については、「農業取締法」で、農業の品質の適切化と安全かつ適正な使用の確保を図ることが規定されていますが、市としても、農薬、殺虫剤などについての情報収集に努め、必要に応じて、適正な使用についての周知啓発を図ります。 | 71 | 環境保全課 | 農業の適正使用 | 農業等の使用に伴う周辺住民からの苦情に対して、法令等に基づき適切な対応を指導する。 | 苦情件数 0件 | ○ | | 苦情件数 平成19年度 2件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| 事業者に対し、「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律(PRR法)」等関係法令の遵守および周知の徹底を図るとともに、化学物質等に係る情報を収集し、それらの情報を基に、市民、事業者への適切な利用および指導を推進します。 | 72 | 環境保全課 | PRTRに基づく適正管理 PRTR法による届出情報の把握 | 市自らが、PRTR法に基づき、適正管理する。 市内事業所の情報の把握を行う。 | 市内届出事業所数 17件 | ○ | | 市内届出事業所数 平成19年度 17件 平成20年度 19件 平成21年度 18件 平成22年度 17件 平成23年度 17件 | □ | ○ |
| シックハウス症候群の原因物質のひとつであるホルムアルデヒドの濃度簡易測定器の貸し出しを行うなど、シックハウス対策の施策を推進します。 | 73 | 環境保全課 | ホルムアルデヒド簡易測定器の貸し出し | シックハウス症候群の原因物質のひとつであるホルムアルデヒドの濃度簡易測定器の貸し出しを行う。 | 貸し出し件数 1件 | ○ | | 貸し出し件数 平成19年度 3件 平成20年度 4件 平成21年度 5件 平成22年度 3件 平成23年度 0件 | □ | ○ |

2 水と緑や歴史・文化とふれあえる、潤いと安らぎのあるまち

1. 身近な水辺

(1) 海辺、河川を活かした水と緑の環境づくり

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|-------------|--|------------|------------|------------------------|---|----|-------|
| 関係機関と協議を行いながら、防災機能、親水性、自然環境に配慮した水際線の整備基本計画を策定し、水辺空間の活用に取り組みます。 | 74 | 企画政策課 | 水際線整備基本計画策定 | 浦安市の河川・海岸線とその周辺の緑地・公園の一体的な整備や水辺空間の市民利用のあり方について検討し、基本計画を策定する。 | | × | 水際線整備基本計画策定のため(平成21年度) | 平成20年度は新町区域の水際線を対象に課題を整理し、市としての基本的な考え方や望ましい整備について検討した。 平成21年度は、市内の河川・海岸線とその後背地(緑地等)を対象として、親水性や地域特性などを踏まえた浦安市の水際線の望ましい整備・活用のあり方(水際線整備構想)についてまとめた。 | □ | ○ |
| | 75 | みどり公園課 | 総合公園整備事業 | 早期開園を目指し、引き続き3期分の整備を行う。 | | 完了 | 公園整備が完了したため(平成19年度) | 平成14年度から公園整備に着手し、平成18年度に第1期部分の約5haを、平成19年度に第2期部分の約4.5haを開園した。 また、残る第3期部分の整備を平成19年度に完了した。 (平成20年7月15日に全面オープン) | | 完了 |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|---|--|--|------------|---------------------|--|----|-------|
| 海岸部の特性を踏まえ、公園や周辺緑地等と連携した整備を進めます。 | 76 | みどり公園課 | 総合公園整備事業 | 早期開園を目指し、引き続き3期分の整備を行う。 | | 完了 | 公園整備が完了したため(平成19年度) | 平成14年度から公園整備に着手し、平成18年度に第1期部分の約5haを、平成19年度に第2期部分の約4.5haを開園した。また、残る第3期部分の整備を平成19年度に完了した。(平成20年7月15日に全面オープン) | | 完了 |
| 景観、親水性、水質の向上、自然環境等への配慮をしながら、旧江戸川と市内全河川の整備を進めます。 | 77 | 環境保全課 | 水辺の緑化推進事業 | 境川に水生植物を設置して、維持・管理を行い、河川の水質管理に努める。 | 植栽の管理 | ○ | | 平成19年度 植栽の管理 平成20年度 植栽の管理および一部分撤去 平成21年度 植栽の管理および一部分撤去 平成22年度 植栽の管理および一部分撤去 平成23年度 植栽の管理および一部分撤去 | □ | ○ |
| 景観、親水性、水質の向上、自然環境等への配慮をしながら、旧江戸川と市内全河川の整備を進めます。 | 78 | 道路整備課 | 境川水辺空間整備事業 | 境川が市民の憩いの場所となるように親水性を高めた水辺空間の整備を県と市の共同事業で行う。 | ・境川水辺空間整備工事を実施。 ・境川Bゾーン矢板打込工事(県施工) ・境川Cゾーン修景工事 | ○ | | 平成19年度 境川Cゾーン修景設計業務委託 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーン矢板打込(県施工) 平成20年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) 平成21年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) 平成22年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) 平成23年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) | □ | ○ |
| | | | 河川施設維持管理費(猫実川浄化ポンプ・猫実川浄化施設) | 猫実川において、旧江戸川に浄化ポンプを設置し、猫実川上流部から旧江戸川の河川水を導入する。さらに、最上流部に浄化施設を整備することで猫実川を希釈し、また、水質浄化に努める。 | なし | △ | | 平成17年度 浄化ポンプの稼働時間を24時間とする。 平成23年度 浄化ポンプの稼働時間を24時間とする。 平成24年度 BOD値が環境基準値を下回ったため浄化施設を休止する。 | □ | ○ |
| 境川におけるプレジャーボートの不法係留対策をきつ浦安漁港の秩序ある環境づくりを推進します。 | 79 | 商工観光課 | 浦安漁港(境川)再整備事業 | ・沈船の除去 ・不法係留船の撤去および公示施設への適正係留の推進 | H24年度における沈船については、所有者が特定されているもの、あるいは、特定中のものであり、何れの船舶についても、航行の支障等にも影響がないと判断したため、未実施。 | ○ | | 棧橋の設置替え 平成20年度 第4棧橋の撤去 沈船の除去 平成19年度 2隻 平成20年度 1隻(所有者により除去) 平成21年度 4隻(所有者により除去) 平成22年度 0隻 平成23年度 6隻(所有者により除去) | △ | ○ |
| 下水道整備、生活排水対策やその他施策により、河川や海の水質の改善を推進します。 | 80 | 関係課 | 資料編(Web版) 4～5ページ 水環境 (1)水質監視体制の充実 (2)生活排水・事業所排水対策 (3)河川の水質改善対策 参照 | | | | | | | |
| 圏が舞浜地区において行う「東京湾奥部海域環境創造事業」の環境影響などの把握をはじめ、関係機関と調整を図りながら、対応を検討していきます。 | 81 | 道路整備課 | 舞浜沖干潟活用検討計画経費 | 圏が行う舞浜沖の干潟造成について活用方を検討する。 | | 未定 | | 平成18年度 舞浜沖に予定した浚渫土を千鳥沖に投入 | □ | 未定 |
| 「水と緑のネットワーク」の形成を推進します。 | 82 | 関係課 | 公園、緑地の整備を図るとともに、公園を結ぶ沿道の緑化や緑地、海岸、河川等の空間を保全し、うるおいのある緑豊かな環境の創出を図っている。 (本編 58～69ページ「1. 身近な水辺」「2. 身近な緑」参照) | | | | | | | |

(2)三番瀬の保全・活用

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|---------|------------------------------------|--|--|------------|---------------------|--|----|-------|
| 三番瀬に流入する猫実川や海域の水質向上に努めます。 | 83 | 道路整備課 | 河川施設維持管理費(猫実川浄化ポンプ・猫実川浄化施設) | 猫実川において、旧江戸川に浄化ポンプを設置し、猫実川上流部から旧江戸川の河川水を導入する。さらに、最上流部に浄化施設を整備することで猫実川を希釈し、また、水質浄化に努める。 | なし | △ | | 平成17年度 浄化ポンプの稼働時間を24時間とする。 平成23年度 浄化ポンプの稼働時間を24時間とする。 平成24年度 BOD値が環境基準値を下回ったため浄化施設を休止する。 | □ | ○ |
| 第二湾岸道路の整備の方向性や今後の市の三番瀬活用の方向性と整合を図りながら、三番瀬の「ラムサール条約」登録を関係機関と連携して目指します。 | 84 | 企画政策課 | 三番瀬のラムサール条約登録の推進 | 三番瀬のラムサール条約への登録を推進していくが、その前に解決すべき課題の整理が必要となっている。 | 県や近隣市等の動向を注視している。 | ○ | | 平成13年に市川市と船橋市と連携して三番瀬のラムサール条約への登録促進を図ることを要望した。また、平成21年度には千葉県知事あてに、千葉広域行政連絡協議会より、県が利害関係者の同意を得たうえで、ラムサール条約への登録を進めることを要望した。現段階では、三番瀬再生会議において協議された三番瀬の保全・再生の方向性と第二湾岸道路計画等の整合が明確にされていないことから、第二湾岸道路の方向性と整合や、ラムサール条約登録による利用制限などの課題の解決のための動向を注視している状況である。 | □ | 未定 |
| 市民が三番瀬を利用しやすくなるための環境づくりと、活用に伴うルールづくり等について、関係機関と連携して検討します。 | 85 | 企画環境政策課 | 三番瀬を利用しやすい環境とルールづくり | 市の「三番瀬の保全・再生および水辺の活用に関する浦安市の基本方針」に基づき、市民が三番瀬を利用しやすいような施設や環境づくりに取り組むとともに、保全や活用のあり方について検討する。 | 震災による三番瀬海域の状況を県が調査しているため情報共有を図るとともに、近隣市の動向を注視した。また、県が実施する復旧工事について、情報の把握に努めている。 | ○ | | 平成15年10月に「三番瀬の保全・再生および水辺の活用に関する浦安市の基本方針」を策定。千葉県の動向を注視しながら、平成20年度は三番瀬環境学習施設用地とその周辺緑地などの整備・活用に際する浦安市の基本的な考え方や望ましい整備について検討を行なった。また、平成21年～22年にかけては、市民が三番瀬の自然環境を体験できるような施設や環境づくりについて検討・調整を行った。しかしながら、東日本大震災により大きな被害を受けたため、事業が中断していたが、平成25年度に関係機関と保全に向けた検討を再開した。 | □ | ○ |
| 三番瀬に面する護岸や緑地用地については、景観、海の視認性、安全性に配慮し、護岸や隣接する公園との連携などを考慮した整備を、県等関係機関と協議していきます。 | 86 | みどり公園課 | 総合公園整備事業 | 早期開園を目指し、引き続き3期分の整備を行う。 | | 完了 | 公園整備が完了したため(平成19年度) | 平成14年度から公園整備に着手し、平成18年度に第1期部分の約5haを、平成19年度に第2期部分の約4.5haを開園した。また、残る第3期部分の整備を平成19年度に完了した。(平成20年7月15日に全面オープン) | | 完了 |
| | 87 | 道路整備課 | 三番瀬側護岸の高潮時の高さの安全性について、県に検証を要望している。 | なし | | ○ | | 三番瀬側護岸の高潮時の高さの安全性について、管理者の千葉県に検証を、引き続き、要望している。 | □ | 未定 |
| 三番瀬側の住宅地等の開発にあたっては、事業者に対し、護岸沿いの緑地整備など景観計画に則した開発を促進します。 | 88 | 都市計画課 | 景観計画運営事業 | 新町地域における建築計画について、セットバック用地の利用や色彩などについて、事業者と協議を行う。 | 協議件数 0件 | ○ | | 平成18～20年度 該当物件の計画において、景観ガイドラインに基づき協議・助言を行った。 平成20年度 景観条例一部施行 景観計画は都市計画審議会・景観審議会にて検討 平成21年度 景観計画策定・景観条例全面施行 届出および事前協議の運用開始 平成22年度 協議件数 0件 平成23年度 協議件数 0件 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|---------|---|--|--|------------|---|---|----|-------|
| 三香瀬を活用した環境学習を進めるとともに、これを補完・支援するための環境整備について検討していきます。 | 89 | 郷土博物館 | 千海観察会 野鳥観察会 海藻観察会 海苔養殖場見学会 | 浦安地区に広がっていた千海を理解するため、現在もわずかに残っている日の出地先に向き、観察会を開催する。 身近な野鳥を観察し、その生態から野鳥がどのように生活するのかを講師に解説してもらい、鳥たちの生活から浦安が現在どのような環境なのかを学ぶ。 | 千海観察会 中止 野鳥観察会 1回 8人 海藻観察会 中止 海苔養殖場見学会 中止 | ○ | 三香瀬の立ち入り制限されているため、千海観察会・海藻観察会・海苔養殖場見学会については一時中止 | 千海観察会 平成19年度 2回 36人 平成20年度 2回 44人 平成21年度 1回 14人 平成22年度 1回 16人 平成23年度 中止 野鳥観察会 平成19年度 2回 37人 平成20年度 2回 49人 平成21年度 1回 21人 平成22年度 1回 8人 平成23年度 中止 海藻観察会 平成19年度 1回 14人 平成20年度 1回 14人 平成21年度 1回 11人 平成22年度 中止 平成23年度 1回 3人 海苔養殖場見学会 平成19年度 1回 13人 平成20年度 1回 24人 平成21年度 1回 18人 平成22年度 1回 14人 平成23年度 中止 | □ | ○ |
| | 90 | 指導課 | 小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用し、学校の実情に応じて進めている。 保育幼稚園課および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | | □ | ○ |
| 市民と市が協働で進めていくための体制づくりに取り組みます。 | 91 | 企画環境政策課 | 三香瀬を利用しやすい環境とルールづくり | 市の「三香瀬の保全・再生および水辺の活用に関する浦安市の基本方針」に基づき、市民が三香瀬を利用できるような施設や環境づくりに取り組むとともに、保全や活用のあり方について検討する。 | 震災による三香瀬海域の状況を県が調査しているため情報共有を図るとともに、近隣市の動向を注視した。 | ○ | 平成15年10月に「三香瀬の保全・再生および水辺の活用に関する浦安市の基本方針」を策定し、本市としての三香瀬の保全・再生および水辺の活用の方向性を明らかにした。また、平成16年12月から三香瀬の再生・保全を目的に三香瀬再生会議を開催し、平成18年12月に基本計画、平成19年2月に事業計画を策定しており、本市の方針と整合性が図れるよう県の動向を注視した。また、平成20年度には三香瀬環境学習施設用地とその周辺緑地などの整備・活用に関する浦安市の基本的な考え方や望ましい整備について検討した。この検討を基に、平成21年～22年は市民が三香瀬の自然環境を体験できるような施設や環境づくりに関して検討・調整を行った。 | □ | ○ | |

(3)自然とのふれあいの推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|--|---|---|------------|------------|---|----|-------|
| 水辺空間整備において、親水性や景観などの快適な生活環境の向上を図ります。 | 92 | 道路整備課 | 境川水辺空間整備事業 | 境川が市民の憩いの場所となるように親水性を高めた水辺空間の整備を県と市の共同事業で行う。 | ・境川水辺空間整備工事を実施。 ・境川Bゾーン矢板打込工事(県施工) ・境川Cゾーン修景工事 | ○ | | 平成19年度 境川Cゾーン修景設計業務委託 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーン矢板打込(県施工) 平成20年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) 平成21年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) 平成22年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) 平成23年度 境川Cゾーン修景工事 境川Bゾーンコーピング(県施工) | □ | ○ |
| 郷土博物館、学校等で、子どもから大人まであらゆる市民が水辺にふれあえる機会の創出に努めます。 | 93 | 企画環境政策課 | 三香瀬を利用しやすい環境とルールづくり | 市の「三香瀬の保全・再生および水辺の活用に関する浦安市の基本方針」に基づき、市民が三香瀬を利用できるような施設や環境づくりに取り組むとともに、保全や活用のあり方について検討する。 | 震災による三香瀬海域の状況を県が調査しているため情報共有を図るとともに、近隣市の動向を注視した。 | ○ | | 平成15年10月に「三香瀬の保全・再生および水辺の活用に関する浦安市の基本方針」を策定し、本市としての三香瀬の保全・再生および水辺の活用の方向性を明らかにした。また、平成16年12月から千葉県が三香瀬の再生・保全を目的に三香瀬再生会議を開催し、平成18年12月に基本計画、平成19年2月に事業計画を策定しており、本市の方針と整合性が図れるよう県の動向を注視した。また、平成20年度には三香瀬環境学習施設用地とその周辺緑地などの整備・活用に関する浦安市の基本的な考え方や望ましい整備について検討した。この検討を基に、平成21年～22年は市民が三香瀬の自然環境を体験できるような施設や環境づくりに関して検討・調整を行った。 | □ | ○ |
| | 94 | 指導課 | 市内保育園、幼稚園、小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用しながら進めている。 保育幼稚園課および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | | □ | ○ |
| | 95 | 郷土博物館 | 境川乗船体験 | 浦安の伝統的な木造船を活用し、博物館内ではできない伝統的な乗船体験を境川にて行う。境川から町並みと浦安を感じてもらうとともに、境川に親しんでもらうことを目的に実施。 | 境川乗船体験 9回 参加人数 163人 | ○ | | 境川乗船体験 平成19年度 6回 152人 平成20年度 6回 140人 平成21年度 7回 167人 平成22年度 7回 122人 平成23年度 6回 101人 | □ | ○ |
| 主に河川の水質改善により、生物の息できる環境の改善に努めます。 | 96 | 環境保全課 | 河川水質測定 | 市内4河川における水質測定を定期的実施する。 | 市内5地点 年4回測定 3地点…7項目 2地点…6項目(大腸菌群未実施) 測定項目：水素イオン濃度、浮遊物質量、生物化学的酸素要求量、窒素濃度、全窒素、全りん、大腸菌群 | ○ | | 河川水質測定 地点 測定項目 測定 平成19年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成20年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成21年度 市内5地点 7項目 毎月1回 平成22年度 市内7地点 7項目 毎月1回 平成23年度 市内7地点 7項目 毎月1回 ※うち2地点は大腸菌群を除く6項目について測定を実施 | □ | ○ |
| | 97 | 道路整備課 | 河川環境対策事業(堀江川浄化取水ポンプ維持管理) | 堀江川沈砂池および河川部分の汚泥浚渫等を県と市が共同で行い、臭気軽減に努める。 | 水質浄化のため設置した堀江川浄化ポンプの正常な運転を保持するための維持管理を行った。 | ○ | | 平成18年度 堀江川浄化取水ポンプを中流部に増設する。 堀江川浄化ポンプ24時間稼働にする。 堀江川沈砂池浚渫工事(県施工) 平成19年度 堀江川沈砂池浚渫工事(県施工) 平成20年度 堀江川浚渫工事(県施工) 平成21年度 堀江川浚渫工事(県施工) 平成22年度 堀江川浄化ポンプの維持管理 平成23年度 堀江川浄化ポンプの維持管理 | □ | ○ |
| | | | 河川施設維持管理費(猫実川浄化ポンプ・猫実川浄化施設) | 猫実川において、旧江戸川に浄化ポンプを設置し、猫実川上流部から旧江戸川の河水を導入する。さらに、最上流部に浄化施設を整備することで猫実川を希釈し、また、水質浄化に努める。 | なし | △ | | 平成17年度 浄化ポンプの稼働時間を24時間とする。 平成24年度 BOD値が環境基準値を下回ったため浄化施設を休止する。 | □ | ○ |
| 水辺の生物等の自然の状況を把握するとともに、情報の提供に努めます。 | 98 | 環境保全課 | 自然環境情報提供 | 本市の自然環境の情報を市民に提供するため、環境学習の教材および自然環境に係る施策を検討する上での基礎資料となるよう、市域の自然環境の現状を調査し、情報の整理をする。 | 平成17年冬季から18年秋季に行った自然環境調査の結果をもとに作成したコンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供している。 環境学習教材としてのリーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配付。 | ○ | | 平成19年度 コンテンツ「浦安の自然」リーフレット「うらやすのしぜん」を作成 平成20年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配付 平成21年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配付 平成22年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配付 平成23年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配付 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|-------------------------------------|------|----------|--|--|--|------------|---------------------|---|----|-------|
| | | | 自然環境調査 | | | 完了 | (調査)調査終了のため(平成18年度) | 平成17年度 冬季調査実施 平成18年度 春季・夏季・秋季調査実施 | | 完了 |
| | | | 環境情報提供事業 | 各種環境に係る情報を市のホームページ上で集約し、市民・事業者等への環境に関する情報提供を推進する。 | 各種環境に関する情報を集約して提供するため、市ホームページの環境情報を分類し、アクセスしやすい形にした。 | ○ | | 平成19年度 整理した情報を提供 平成20年度 整理した情報を提供 平成21年度 整理した情報を提供 平成22年度 整理した情報を提供 平成23年度 整理した情報を提供 | □ | ○ |
| | 99 | 指導課・幼稚園課 | 市内保育園、保育幼稚園および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | 幼稚園、小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用しながら進めている。 | | | | | □ | ○ |
| | 100 | 郷土博物館 | 教育用コンテンツ | 市ホームページや学校施設内コンピュータを利用して歴史、文化などの博物館情報「郷土学習BOX」を提供する。 | 教育コンテンツの活用推進 | ○ | | 教育コンテンツ 平成19年度 教育コンテンツの活用推進 平成20年度 教育コンテンツの活用推進 平成21年度 教育コンテンツの活用推進 平成22年度 教育コンテンツの活用推進 平成23年度 教育コンテンツの活用推進 | □ | ○ |
| 自然観察会や水辺の清掃活動など、市民が行う水辺の保全活動を支援します。 | 101 | 環境保全課 | 三番瀬を保全する市民の活動への支援 | 市民団体が主催する三番瀬クリーンアップ大作戦やミニクリーンアップなどに対する支援を行う。 | 未実施 | △ | | 三番瀬クリーンアップ大作戦(4～5月) (年度 参加人数 収集量) 平成19年度 788人 燃やせるごみ 180kg 燃やせないごみ 890kg 平成20年度 400人 燃やせるごみ 410kg 燃やせないごみ 390kg 平成21年度 300人 燃やせるごみ 210kg 燃やせないごみ 390kg 平成22年度 480人 燃やせるごみ 180kg 燃やせないごみ 230kg 平成23年度 未実施 三番瀬ミニクリーンアップ 平成13～22年度 毎月第1週日曜実施(ただし1月、5月除く。) | □ | ○ |
| 自然観察会や水辺の清掃活動など、市民が行う水辺の保全活動を支援します。 | 102 | 郷土博物館 | 干潟観察会 野鳥観察会 海藻観察会 海苔養殖場見学会 | 浦安地区に広がっていた干潟を理解するため、現在もわずかに残っている日の出地帯に出向き、観察会を開催する。 身近な野鳥を観察し、その生態から野鳥がどのように生活するのかを講師に解説してもらい、鳥たちの生活から浦安が現在のどのような環境なのかを学ぶ。 | 干潟観察会 中止 野鳥観察会 1回 8人 海藻観察会 中止 海苔養殖場見学会 中止 | ○ | | 干潟観察会 平成19年度 2回 36人 平成20年度 2回 44人 平成21年度 1回 14人 平成22年度 1回 16人 平成23年度 中止 野鳥観察会 平成19年度 2回 37人 平成20年度 2回 49人 平成21年度 1回 21人 平成22年度 1回 8人 平成23年度 中止 海藻観察会 平成19年度 1回 14人 平成20年度 1回 14人 平成21年度 1回 11人 平成22年度 中止 平成23年度 1回 3人 海苔養殖場見学会 平成19年度 1回 13人 平成20年度 1回 24人 平成21年度 1回 18人 平成22年度 1回 14人 平成23年度 中止 | □ | ○ |

2. 身近な緑

(1)公園・緑地の整備

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|-----------------------------|--|---|------------|-------------------|--|----|-------|
| 今後の公園・緑地の整備方針となる「浦安市緑の基本計画」(計画期間平成32年度(2020年度))を策定し、計画的に公園・緑地の整備や改修などを推進します。 | 103 | みどり公園課 | 緑の基本計画策定事業 | 都市計画マスタープランに伴い、平成17年度に浦安市緑の基本計画を策定し、総合的な都市緑化を計画的かつ効果的に推進する。 | 中間年度である平成22年度を経過したため、現在の緑地の現況調査し、上位計画である都市計画マスタープランとの整合性を図りながら基本計画の見直しを行う予定であったが、震災のため中止。 | ○ | | 平成19年度「浦安市緑の基本計画」に基づく実施計画事業を行った。 平成20年度「浦安市緑の基本計画」に基づく実施計画事業を行った。 平成21年度「浦安市緑の基本計画」に基づく実施計画事業を行った。 平成22年度「浦安市緑の基本計画」に基づく実施計画事業を行った。 平成23年度「浦安市緑の基本計画」に基づく実施計画事業を行った。 | □ | ○ |
| 公園整備にあたっては、整備地域、主な利用者層等の特色や、近隣の住民の意向などを踏まえ、地域の特性に応じた特色ある整備を推進します。 | 104 | みどり公園課 | 公園建設事業 (弁天ふれあいの森公園整備事業) | 旧清掃工場跡地等を公園として整備し、生活環境の向上を図る。平成12年度の構想段階から市民参加による公園づくりを進めてきており、平成16～18年度で工事を完了。公園名は地域住民の投票により決定。 | 公園施設等改修整備事業 0カ所 | 完了 | 公園整備完了のため(平成18年度) | 公園建設事業 平成18年度 公園整備完了 平成19年度 7月14日 開園式 | | 完了 |
| | | | 公園施設等改修整備事業 (身近な公園づくり事業) | 元町、中町の公園が老朽化してきている。施設の一部の補修等を行うのではなく、近隣自治会や住民の皆さんなどのご意見を踏まえながら施設全体を改修し、多くの皆さんに利用していただける身近な公園として整備する。 | 公園施設等改修整備事業 0カ所 | × | | 改修整備公園数 平成19年度 2カ所 平成20年度 2カ所 平成21年度 2カ所 平成22年度 0カ所 平成23年度 0カ所 | ▽ | × |
| 計画から管理にいたる各段階で地域住民の参加を得ながら、愛着をもてるような身近な公園づくりを進めます。 | 105 | みどり公園課 | 公園建設事業 (弁天ふれあいの森公園整備事業) | 旧清掃工場跡地等を公園として整備し、生活環境の向上を図る。平成12年度の構想段階から市民参加による公園づくりを進めてきており、平成16～18年度で工事を完了。公園名は地域住民の投票により決定。 | 公園施設等改修整備事業 0カ所 | 完了 | 公園整備完了のため(平成18年度) | 公園建設事業 平成18年度 公園整備完了 平成19年度 7月14日 開園式 | | 完了 |
| | | | 公園施設等改修整備事業 (身近な公園づくり事業) | 元町、中町の公園が老朽化してきている。施設の一部の補修等を行うのではなく、近隣自治会や住民の皆さんなどのご意見を踏まえながら施設全体を改修し、多くの皆さんに利用していただける身近な公園として整備する。 | 公園施設等改修整備事業 0カ所 | × | | 改修整備公園数 平成19年度 2カ所 平成20年度 4カ所 平成21年度 2カ所 平成22年度 0カ所 平成23年度 0カ所 | ▽ | × |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|-----------------------|--|--------------------------------|--------------------|------------|---|----|-------|
| | | | 公園施設等改修整備事業(海楽公園整備事業) | 老朽化が著しい海楽公園(約1.16ha)の再整備を市民参加により行う。 | 平成21年度より2カ年事業として、2期分の整備を完了した。 | 完了 | | 平成19年度 アンケートやワークショップを行い、市民参加により基本計画を作成した。 平成20年度 アンケートやワークショップを行い、市民参加により基本計画を作成した。 | | 完了 |
| 街路樹や公園などの剪定・緑化を推進する。緑化推進の普及活動での配布や緑化事業などで堆肥や舗装材として再利用していきます。 | 106 | みどり公園課 | 緑のリサイクル事業 | 市内公園、街路、緑道で発生した剪定枝・枯葉等を破砕・チップ化し、雑草の抑制や乾燥防止のために、堆肥に敷き均すマルチング材、クッション材やチップを醸酵させ堆肥化することにより土壌改良材に再利用し、ごみの減量・焼却コスト削減・緑のリサイクルを図る。 | 発生材数量 3,540㎡ リサイクル数量 2,222㎡ | ○ | | 発生材数量・リサイクル数量 平成19年度 3,092㎡ / 1,669㎡ 平成20年度 3,696㎡ / 2,295㎡ 平成21年度 3,158㎡ / 2,250㎡ 平成22年度 2,965㎡ / 1,634㎡ 平成23年度 2,587㎡ / 2,137㎡ | □ | ○ |
| | | | 植木まつり | 市民への無償苗木・リサイクル堆肥の配布、生垣の見本紹介、緑の相談窓口の開設、寄せ植え実演会、組合による苗木等の販売、ガーデニングコンテストなどを行うイベントを開催する。 | 苗木配布数 13,000本 | △(苗木本数を13,000本に変更) | | 苗木配布数 平成19年度 19,000本 平成20年度 15,000本 平成21年度 15,000本 平成22年度 15,000本 平成23年度 0本(震災の影響により中止) | ▽ | ○ |
| 公園および街路樹等の剪定枝葉をチップ化する等、緑化資材としての再利用を図ります。 | 107 | みどり公園課 | 緑のリサイクル事業 | 市内公園、街路、緑道で発生した剪定枝・枯葉等を破砕・チップ化し、雑草の抑制や乾燥防止のために、堆肥に敷き均すマルチング材、クッション材やチップを醸酵させ堆肥化することにより土壌改良材に再利用し、ごみの減量・焼却コスト削減・緑のリサイクルを図る。 | 発生材数量 3,540㎡ リサイクル数量 2,222㎡ | ○ | | 発生材数量・リサイクル数量 平成19年度 3,092㎡ / 1,669㎡ 平成20年度 3,696㎡ / 2,295㎡ 平成21年度 3,158㎡ / 2,250㎡ 平成22年度 2,965㎡ / 1,634㎡ 平成23年度 2,587㎡ / 2,137㎡ | □ | ○ |
| 樹木移植工事において生じる移植不可能の樹木をリサイクルたい肥とする等、再利用を図ります。 | 108 | みどり公園課 | 緑のリサイクル事業 | 市内公園、街路、緑道で発生した剪定枝・枯葉等を破砕・チップ化し、雑草の抑制や乾燥防止のために、堆肥に敷き均すマルチング材、クッション材やチップを醸酵させ堆肥化することにより土壌改良材に再利用し、ごみの減量・焼却コスト削減・緑のリサイクルを図る。 | 発生材数量 3,540㎡ リサイクル数量 2,222㎡ | ○ | | 発生材数量・リサイクル数量 平成19年度 3,092㎡ / 1,669㎡ 平成20年度 3,696㎡ / 2,295㎡ 平成21年度 3,158㎡ / 2,250㎡ 平成22年度 2,965㎡ / 1,634㎡ 平成23年度 2,587㎡ / 2,137㎡ | □ | × |

(2)緑化の推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|---------|-----------------|--|---|--------------------|------------|--|----|-------|
| 公園・緑地をはじめ、道路、河川、海岸および公共施設の緑化を積極的に行うとともに、「水と緑のネットワーク」の形成を図ります。 | 109 | 関係課 | 公園、緑地の整備 | 公園、緑地の整備を図るとともに、公園を結ぶ沿道の緑化や緑地、海岸、河川等の空間を保全し、うるおいのある緑豊かな環境の創出を図っている。(本編 68～69ページ「1.身近な水辺」「2.身近な緑」参照) | | | | | | |
| 公共施設等における敷地内や屋上等の緑化を推進します。 | 110 | 財政課 | 新浦安駅前複合施設整備運営事業 | 新浦安駅前プラザの敷地内および建物内に積極的な緑化を導入。 | 新浦安駅前プラザの建設に伴い、緑化を実施。 | ○ | | 屋上緑化、壁面緑化、外構緑化に動いている。 | □ | ○ |
| | 111 | 斎場 | 斎場整備事業 | 敷地内の緑化：築山をはじめ前面道路側などでできる限り緑化し、敷地内駐車場についても芝生駐車場とした。 | 緑地面積3,821.7㎡ 屋上緑化：シダ系植物(セダム緑化)による屋上緑化を採用 面積 383.4㎡ | ○ | | 平成17年度より実施、現在も継続 | □ | ○ |
| | 112 | みどり公園課 | 公共施設等における緑化 | 公共施設等における緑化の推進については、宅地開発事業等における条例を遵守し、緑地を確保することはもとより、積極的に屋上緑化等の特殊緑化を取り入れより質の高い緑化を行うことで生活環境の向上を図る。(宅地開発指針においては平成15年9月より屋上緑化を認めている。) | 公共施設の特種緑化開発件数 0件 | ○ | | 公共施設の特種緑化開発件数 平成19年度 0件 平成20年度 2件 平成21年度 1件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | × |
| | 113 | 教育施設課 | 学校施設屋上緑化 | 学校建設時に校舎屋上を地床被覆等により緑化整備する。 | 平成26年度開校予定の第9中学校の実施設計業務の中で、屋上緑化を取り入れる検討を行った。 | ○ | | 平成21年度 東野小学校建設 東野小学校(184㎡)の校舎屋上に地床被覆を整備した。 | □ | 未定 |
| | | | 学校、園庭芝生整備事業 | 環境教育の充実と安心して活動できる園庭づくりを目指して芝生の整備を行う。 | 新規整備は停止。震災で被災した入船南幼稚園(130㎡)と見明川幼稚園(135㎡)の芝生園庭の復旧整備及び既存整備小庭、園庭の維持管理を行った。 | △ | | 平成19年度 入船南幼稚園園庭(260㎡)、若草幼稚園園庭(289㎡)で実施 みなみ幼稚園園庭(114.24㎡) 平成20年度 神明幼稚園園庭(114.23㎡)で実施 平成21年度 北部幼稚園園庭(99.6㎡)で実施 平成22年度 富岡幼稚園園庭(152.2㎡)で実施 | □ | 未定 |
| | 114 | 消防本部総務課 | 緑化推進 | 消防庁舎の屋上・壁面に緑化整備をする。 | 消防庁舎の屋上・壁面緑化の維持管理。 | ○ | | 平成20年度 消防庁舎の屋上・壁面に35㎡の緑化整備をした。 平成21年度 実施・管理 平成22年度 実施・管理 平成23年度 実施・管理 | □ | ○ |
| 保存樹木の指定などを樹行することにより、緑豊かな住宅地や良好な緑地の保全を推進していきます。 | 115 | みどり公園課 | 保存樹木指定事業 | 市域の3/4が海面埋め立て地である本市にあっては、緑豊かな住環境を促進するために、民有地にある樹木を保存樹木に指定して、緑を保全し緑化推進を図る。 | 新規指定本数 0本 市内指定本数 614本 廃止本数 2本 | △(震災の影響を受け新規指定を中止) | | 市内指定本数 平成19年度 572本 平成20年度 606本 平成21年度 625本 平成22年度 621本 平成23年度 616本 | □ | ○ |
| 公共空間への花植え運動など市民主体の緑化推進活動を支援・育成します。 | 116 | みどり公園課 | 緑化推進事業 | 本市の緑化推進するための活動を奨励していく。市民の緑化推進意識向上のための緑化講習会の開催や花植えボランティア活動への助成を行う。 | 緑化講習会開催回数 7回 | ○ | | 緑化講習会開催 平成19年度 4回 平成20年度 8回 平成21年度 7回 平成22年度 8回 平成23年度 5回 | □ | ○ |
| 大規模な集合住宅や事業所などの開発に際しては、緑化指定などにより十分な緑地を確保するように協議、要請していきます。 | 117 | みどり公園課 | 宅地開発における緑化指導 | 宅地開発事業に関し、その適正な緑化を推進することにより、健全な生活環境の都市づくりを進め、もって安全で住みやすい快適な環境を備えたまちづくりに寄与することを目的とした公園又は緑地・広場等に必要と認められるため条例に基準を定める。 | 開発件数 45件 | ○ | | 開発件数 平成19年度 90件 平成20年度 97件 平成21年度 68件 平成22年度 67件 平成23年度 68件 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|------------------|--|---------------------------------|------------------------|----------------|--|----|-------|
| 生け垣設置奨励事業を推進します。 | 118 | みどり公園課 | 生垣設置奨励事業 | 緑豊かな住みよい環境づくりを促進するため、民有地の緑化推進の一環として、生垣設置（ブロック塀の撤去）に補助金を交付する。 | 新規生垣設置件数 72件 市内生垣設置延べ件数 988件 | ○ | | 市内生垣設置延べ件数 平成19年度 791件 平成20年度 815件 平成21年度 847件 平成22年度 883件 平成23年度 0本（震災の影響により中止） | △ | ○ |
| 植木まつりにおいて苗木の配布等を行い、緑化の普及啓発を行います。 | 119 | みどり公園課 | 植木まつり | 市民への無償苗木・リサイクル堆肥の配布、生垣の見本紹介、緑の相談窓口の開設、寄せ植え実演会、組合による苗木等の販売・ガーデンコンテストなどを行うイベントを開催する。 | 苗木配布数 13,000本 | △ (苗木本数を13,000本に変更) | | 苗木配布数 平成19年度 19,000本 平成20年度 15,000本 平成21年度 15,000本 平成22年度 15,000本 平成23年度 0本（震災の影響により中止） | ▽ | ○ |
| 民有地における敷地内、屋上等の緑化を推進します。 | 120 | みどり公園課 | 生垣設置奨励事業 | 緑豊かな住みよい環境づくりを促進するため、民有地の緑化推進の一環として、生垣設置（ブロック塀の撤去）に補助金を交付する。 | 新規生垣設置件数 72件 市内生垣設置延べ件数 988件 | ○ | | 市内生垣設置延べ件数 平成19年度 791件 平成20年度 815件 平成21年度 847件 平成22年度 883件 平成23年度 916件 | △ | ○ |
| | | | 宅地開発における緑化指導 | 宅地開発事業に関し、その適正な緑化を推進することにより、健全な生活環境の都市づくりを進め、もって安全で住みやすい快適な環境を備えたまちづくりに寄与することを目的とした公園又は緑地、広場等に必要と認められる緑地を確保するための条例に基準を定める。 | 開発件数 45件 | ○ | | 開発件数 平成19年度 90件 平成20年度 97件 平成21年度 68件 平成22年度 67件 平成23年度 68件 | □ | ○ |
| 緑化に関するパンフレット、イベント等により、普及・啓発活動を推進します。 | 121 | みどり公園課 | 植木まつり | 市民への無償苗木・リサイクル堆肥の配布、生垣の見本紹介、緑の相談窓口の開設、寄せ植え実演会、組合による苗木等の販売・ガーデンコンテストなどを行うイベントを開催する。 | 苗木配布数 13,000本 | △ (苗木本数を13,000本に変更) | | 苗木配布数 平成19年度 19,000本 平成20年度 15,000本 平成21年度 15,000本 平成22年度 15,000本 平成23年度 0本（震災の影響により中止） | ▽ | ○ |
| 駐車場等の緑化を推進します。 | 122 | みどり公園課 | 公園建設事業(総合公園整備事業) | 早期開園を目指し、引き続き3期部分の整備を行う。 | | 完了 | 完了したため(平成19年度) | 駐車場芝生化面積 平成18年度 1,100㎡ 平成19年度 540㎡ | | 完了 |
| 緑化事業の推進、樹木の管理等の指導等を幅広く展開するため、緑化におけるリーダーの育成に努めます。 | 123 | みどり公園課 | 公園等里親制度支援事業 | 公園の清掃や花壇の花植えなど公園管理の一部を市民団体等に、担ってもらうことにより公園をより親しみのある場所とする。 | 里親支援制度登録 15団体 | ○ | | 里親団体数 平成19年度 7団体 平成20年度 9団体 平成21年度 12団体 平成22年度 14団体 平成23年度 14団体 | □ | ○ |
| 市民が維持管理にあたる里親制度の導入の検討など、市民が樹木等の維持管理に参画できる体制づくりに努めます。 | 124 | みどり公園課 | 公園等里親制度支援事業 | 公園の清掃や花壇の花植えなど公園管理の一部を市民団体等に、担ってもらうことにより公園をより親しみのある場所とする。 | 里親支援制度登録 15団体 | ○ | | 里親団体数 平成19年度 7団体 平成20年度 9団体 平成21年度 12団体 平成22年度 14団体 平成23年度 14団体 | □ | ○ |
| | | | 緑化活動支援事業 | 公園、緑地等の公共花壇区域における緑化活動および広く市民を対象とした緑に関する催し等を対象に花苗の支給や用具貸出し等の支援を行う。 | 里親支援制度登録 15団体 | ○ | | 里親団体数 平成19年度 7団体 平成20年度 9団体 平成21年度 12団体 平成22年度 14団体 平成23年度 14団体 | □ | ○ |

(3)自然とのふれあいの推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|--------------------|---|---|------------|---------------------|--|----|-------|
| 緑化の推進により生物の生息できる環境の整備に努めます。 | 125 | 関係課 | 資料編(Web編) 11～14ページ | 身近な緑 (1) 公園・緑地の整備 (2) 緑化の推進 (3) 自然とのふれあいの推進 参照 | | | | | | |
| 水辺の生物等の自然の状況を把握するとともに、情報の提供に努めます。 | 126 | 環境保全課 | 自然環境情報提供 | 本市の自然環境の情報を市に提供するため、環境学習の教材および自然環境に係る施策を検討する上での基礎資料となるよう、地域の自然環境の現状を調査し、情報の整理をする。 | 平成17年冬季から18年秋季に行った自然環境調査の結果をもとに作成したコンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供している。環境学習教材としてのリーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配布。 | ○ | | 平成19年度 コンテンツ「浦安の自然」リーフレット「うらやすのしぜん」を作成 平成20年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配布 平成21年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配布 平成22年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配布 平成23年度 コンテンツ「浦安の自然」をホームページにて情報提供し、リーフレット「うらやすのしぜん」を小学生に配布 | □ | ○ |
| | | | 自然環境調査 | | | 完了 | (調査)調査終了のため(平成18年度) | 平成17年度 冬季調査実施 平成18年度 春季・夏季・秋季調査実施 | | 完了 |
| 学校や公共施設等において、市民が緑などの自然とふれあえる活動の機会の創出に努めます。 | 127 | 当代島公民館 | 芝生広場開放 | 公民館北側にある芝生広場を4月～3月末までの期間を一般に開放する。 | 親子連れや地域の老人クラブが定期的にグラウンドゴルフで使用している。 利用者数 延べ8,153人 | ○ | | 利用者数 平成19年度 延べ 7,716人 平成20年度 延べ 8,951人 平成21年度 延べ 12,904人 平成22年度 延べ 6,918人 平成23年度 延べ 6,096人 | □ | ○ |
| | 128 | 生涯学習課 | 学校・地域連携推進事業 | 学校週5日制の実施に伴い、学校休業日等を有効に活用しながら、本市における学校と地域社会が連携し、子どもの体験活動等の機会の充実を図ることを目的として、その環境を推進する地域活動団体に支援を行う。 | | × | 平成22年度より廃止 | 学校・地域連携推進事業活動補助金 交付 平成19年度 1団体 平成20年度 1団体 平成21年度 1団体 | □ | × |
| | | 富岡公民館 | 野菜栽培入門 | 富岡公民館の敷地内にある畑を利用し、種まきから収穫までの工程を学ぶ。 | 実施回数 16回 参加対象 市内在住・在勤・在学 参加人数 16人 | ○ | | 平成19年度 実施回数 23回 平成20年度 実施回数 24回 平成21年度 実施回数 23回 平成22年度 実施回数 24回 平成23年度 実施回数 16回 | ○ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------------|---|--|---|------------|----------------------------------|---|----|-------|
| 学校や公共施設等において、市民が緑などの自然とふれあえる活動の機会の創出に努めます。 | 129 | 高洲公民館 | 屋上庭園 | 公民館の屋上にある芝生の庭園を一般開放している。 | 芝生庭園には、ウッドデッキがあり、親子連れや子どもたちが利用している。 | ○ | | 平成22年度 開館 | ○ | ○ |
| | | | はじめての野菜づくり | 公民館の屋上にある菜園も畑やプランターを利用して、家庭でも簡単に野菜づくりができるように育て方や収穫方法を学ぶ。 | 実施回数 23回 参加対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上 参加人数 10人 | ○ | 平成22年度 10回 10人 平成23年度 23回 10人 | ○ | ○ | |
| 公園や学校において、市民が生態系などを学べる場としてピオトープづくりを市民参加で推進します。 | 130 | みどり公園課 | 公園建設事業(ピオトープ施設整備) | 新規公園整備にあたり、ワークショップ等で計画されたピオトープを設置する。(身近な自然とふれあえる場所) | | 完了 | 完了のため(平成19年度) | 平成18年度 2カ所 日の出おひさま公園 平成19年度 1カ所 総合公園 | | 完了 |
| | 131 | 指導課 幼稚園課 | 市内保育園、幼稚園、小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用しながら進めている。保育園幼稚園課および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | | □ | ○ |

3. 歴史・文化と景観

(1)歴史的・文化的資源の保全と活用

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|--------------------|--|--|------------------------|------------|--|----|-------|
| 市の重要な有形・無形の文化財を浦安市指定文化財とともに、その活用に努めます。 | 132 | 郷土博物館 | 文化財住宅管理運営 | 県、市指定文化財である旧大塚家住宅、旧宇田川家住宅を施設利用振興公社に管理運営を委託。事業の運営については、一般公開、宿泊体験、文化財めぐり、餅つき大会等を開催する。 | 入館者数 (開館日数 293 日間) 旧宇田川家住宅 6,538 人 旧大塚家住宅 6,412 人 | ○ | | 入館者数 旧宇田川家住宅 平成19年度(開館日数296日) 11,341人 平成20年度(開館日数290日) 9,664人 平成21年度(開館日数294日) 9,649人 平成22年度(開館日数277日) 6,674人 平成23年度(開館日数266日) 5,813人 旧大塚家住宅 平成19年度(開館日数296日) 11,225人 平成20年度(開館日数290日) 9,499人 平成21年度(開館日数294日) 9,734人 平成22年度(開館日数277日) 6,753人 平成23年度(開館日数266日) 6,130人 | □ | ○ |
| 指定文化財以外にも、地域に伝承されてきた伝統芸能・技術など、文化資源の総合的な把握を進めるとともに、その保護、体験学習などへの活用、情報提供に努めます。 | 133 | 郷土博物館 | 文化財記録調査 | 文化財およびその他新たな史跡等の調査を行い、収蔵・保存を行う。 | 資料の保存・修復および複製 1件(三軒長屋茅葺屋根修復) | ○ | | 資料の保存・修復および複製 平成19年度 0件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| 保存樹木への指定などにより、社寺境内地に残る大木等の保存を推進します。 | 134 | みどり公園課 | 保存樹木指定事業 | 市域の3/4が海面埋め立て地である本市にあっては、緑豊かな住環境を促進するために、良有地にある樹木を保存樹木に指定して、緑を保全し緑化推進を図る。 | 新規指定本数 0本 市内指定本数 614本 廃止本数 2本 | △ (震災の影響を受け新規指定を中止) | | 市内指定本数 平成19年度 572本 平成20年度 606本 平成21年度 625本 平成22年度 621本 平成23年度 616本 | □ | ○ |
| 歴史や文化に関する資料の収集、保存、調査を推進します。 | 135 | 郷土博物館 | 資料収集・整理調査 | 収集した資料の整理と浦安や東京湾等に関する資料(書物等)の収集・購入を行い、活用する。 | 寄付 23件 192点 0件 寄附図書 360冊 購入図書 0冊 | ○ | | 寄付 平成19年度 12件 平成20年度 27件 平成21年度 39件 平成22年度 20件 平成23年度 30件 寄託 平成19年度 0件 平成20年度 0件 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 寄附図書 平成19年度 734冊 平成20年度 803冊 平成21年度 564冊 平成22年度 493冊 平成23年度 544冊 購入図書 平成19年度 44点 平成20年度 115冊 平成21年度 30冊 平成22年度 92冊 平成23年度 0冊 | □ | ○ |
| 体験学習の機会を創出し、楽しく学べるように体験学習を推進します。 | 136 | 郷土博物館 | 博物館体験事業 | 屋外展示場「浦安のまち」で、「もやいの会」会員による指導で体験学習をする。 ①ペカ舟乗船体験②普遊び③ゆかたの着付け④海苔巻あみ⑤貝むき体験⑥ぼつたら体験⑦竹細工教室⑧お手玉・わつけ作り教室ほか | 休日体験教室 40回 967人 季節の行事 10回 4,039人 宿泊体験 中止 | ○ | | 休日体験教室・季節の行事 平成19年度 48回 11,559人 平成20年度 46回 6,477人 平成21年度 50回 2,857人 平成22年度 46回 2,356人 平成23年度 46回 2,580人 宿泊体験 平成19年度 2回 22人 平成20年度 2回 20人 平成21年度 1回 9人 平成22年度 1回 11人 平成23年度 中止 | □ | ○ |
| 干潟観察会、野鳥観察会などの野外学習活動や、自然や歴史、民俗などの講座、講演会などを行い、自然や歴史、文化に対する理解を促進します。 | 137 | 郷土博物館 | 学芸員講座・講演会 各種観察会 | さまざまなテーマで講座・講演会・観察会を開催し、浦安の文化や歴史を理解する場を設定する。 | 学芸員講座 51回 1,550人 (うち、もやいの学校49回 1,530人) 講演会 0回 0人 各種観察会・見学会(野鳥観察会)※他は中止 1回 8人 ※講演会については平成23年度以降、震災の影響により未実施。 | ○ | | 学芸員講座 平成19年度 7回 123人 平成20年度 8回 92人 平成21年度 11回 162人 平成22年度 15回 159人 平成23年度 19回 140人 講演会 平成19年度 3回 125人 平成20年度 8回 318人 平成21年度 6回 200人 平成22年度 4回 142人 平成23年度 0回 0人 各種観察会 平成19年度 5回 87人 平成20年度 6回 131人 平成21年度 4回 64人 平成22年度 3回 38人 平成23年度 1回 3人 | □ | ○ |
| 総合的な学習の時間などの学校教育の一環として、子どもたちの体験学習を推進します。 | 138 | 郷土博物館 | 学校活用体験事業 | 学校の教育課程に位置付けた体験学習を行う。学年ごとのテーマを変え学校が選択する。 | 学校の博物館活用数 156団体 8,679人 | ○ | | 学校の博物館活用数 平成19年度 147団体 8,861人 平成20年度 138団体 9,093人 平成21年度 162団体 9,254人 平成22年度 159団体 9,142人 平成23年度 163団体 8,741人 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|--------------------------|--|--|------------|------------|---|----|-------|
| 学校と連携して、郷土博物館を活用するためののりきなどの作成と活用を行ったり、郷土博物館と学校の情報のネットワークを構築し、環境学習、郷土学習などのデータの共有と活用を図ります。 | 139 | 郷土博物館 | 博物館活用推進委員会 | 市内小中学校(各1名)の教員を委員とし学校教育での総合学習の一環として博物館を利用したカリキュラムを検討する。 | 博物館活用推進委員会 5回 夏休み自由研究相談会開催 | ○ | | 博物館活用推進委員会 平成19年度 5回開催 平成20年度 5回開催 平成21年度 5回開催 平成22年度 5回開催 平成23年度 5回開催 | □ | ○ |
| | | | 教育用コンテンツ | 市ホームページや学校施設内コンピュータを利用して歴史、文化などの博物館情報「郷土学習BOX」を提供する。 | 教育コンテンツの活用推進 | ○ | | 教育コンテンツ 平成19年度 教育コンテンツの活用推進 平成20年度 教育コンテンツの活用推進 平成21年度 教育コンテンツの活用推進 平成22年度 教育コンテンツの活用推進 平成23年度 教育コンテンツの活用推進 | □ | ○ |
| 博物館の運営を支えるボランティア団体の育成や文化団体の活動紹介や後継者の育成などを通じて、市民参加による運営の推進と伝統の継承を図ります。 | 140 | 郷土博物館 | 博物館ボランティア研修会 ボランティア講座 | 博物館ボランティア「もやいの会」の育成支援 | 館外研修会 1回 17人参加 | ○ | | 館外研修会 平成19年度 1回 12人参加 平成20年度 1回 20人参加 平成21年度 未実施 平成22年度 1回 19人参加 平成23年度 1回 14人参加 | □ | ○ |
| 海苔養殖など、かつて浦安で行われていた漁業の営みを再現することにより、これらを用いた体験学習を推進します。 | 141 | 郷土博物館 | 展示会 博物館海苔体験事業 | ・毎年冬期にテーマを絞って海苔を紹介する企画展を行い、「東京湾の海苔と浦安」に関する情報を蓄積し、またそれに即した体験学習を実施する。 ・もやいの会委員の案内により、館で南行産沖の海苔養殖場の見学および海苔採りを体験する。 | 展示会 1月4日～3月17日(61日間) 6,011人 海苔養殖場見学 中止 | ○ | | 展示会 平成19年度 1月5日～3月23日 66日間 7,693人 平成20年度 1月6日～3月22日 62日間 6,379人 平成21年度 1月5日～3月22日 63日間 7,196人 平成22年度 1月5日～3月21日 64日間 (3月12日～3月21日については、震災の影響により閉館) 6,900人 平成23年度 1月4日～3月20日 64日間 6,901人 海苔養殖場見学会 平成19年度 1回 13人 平成20年度 1回 24人 平成21年度 1回 18人 平成22年度 1回 14人 平成23年度 中止 | □ | ○ |

(2)景観形成

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|---------|---|--|---|------------|------------|--|----|-------|
| 市民との協働で地域の特性を活かした良好な景観の形成に取り組んでいくために、「浦安市景観条例」を制定するとともに、景観づくりに取り組む市民活動を支援します。 | 142 | 都市計画課 | 協働による景観まちづくり事業 | 市民の景観まちづくりへの理解と意識を深めるため、啓発活動を行う。 | 平成24年度は震災復興に伴い予算削減となったため、事業は実施しなかった。 | × | | 平成18年度 浦安市景観マスタープラン策定 景観法に基づく景観行政団体となる浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・条例の検討開始 ふらり浦安ガイドによる「うらやす景観八景」を選定 平成19年度 浦安市景観計画等策定協議会を中心に景観計画・条例の検討 市内小中学生による「うらやす景観八景」を選定 景観条例一部施行 平成20年度 景観計画は都市計画審議会・景観審議会にて審議 明治大学学生による「うらやす景観八景」を選定 景観まちづくり連続講座を開催 平成21年度 景観計画策定・景観条例全面施行 景観まちづくり連続講座:4回 延べ76人 景観資源リストづくりワークショップ:6回 延べ119人 平成22年度 景観まちづくり連続講座:4回 延べ47人 景観資源リストづくりワークショップ:6回 延べ70人 震災復興に伴い予算削減となったため、事業は実施しなかった。 | □ | 未定 |
| 地域の特性を活かした良好な景観形成を図るため、建築行為の規制誘導を行います。 | 143 | 都市計画課 | 景観計画運営事業 | 本市の景観まちづくりを推進するため、平成16年に制定された景観法に基づき、景観計画を策定、景観条例を全面施行し、景観の規制誘導の運用を行う。 | 景観法第16条第1項の届出(同条第5項の通知を含む)件数 事前協議を要するもの:76件 事前協議を要しないもの:48件 | ○ | | 平成18年度 浦安市景観マスタープラン策定 ・景観法に基づく景観行政団体となる浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・条例の検討開始 平成19年度 浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・景観条例の検討 平成20年度 景観条例一部施行 ・景観計画は都市計画審議会・景観審議会にて審議 平成21年度 景観計画策定・景観条例全面施行 ・届出および事前協議の運用開始 事前協議十届出件数:66件 届出件数:29件 平成22年度 景観法第16条第1項の届出(同条第5項の通知を含む)件数 事前協議を要するもの:99件 事前協議を要しないもの:17件 平成23年度 景観法第16条第1項の届出(同条第5項の通知を含む)件数 事前協議を要するもの:85件 事前協議を要しないもの:32件 | △ | ○ |
| 本市は三方を水に囲まれ、市内を河川が流れるという特色を活かし、水辺において、水と親しみ交流し、憩える、うるおいに満ちた景観を形成します。 | 144 | 都市計画課 | 景観計画運営事業 | 本市の景観まちづくりを推進するため、平成16年に制定された景観法に基づき、景観計画を策定、景観条例を全面施行し、河川など水辺の景観資源の維持・保全・活動を行う。 | 平成24年度は震災復興に伴い予算削減となったため、事業は実施しなかった。 | × | | 平成18年度 浦安市景観マスタープラン策定 景観法に基づく景観行政団体となる浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・条例の検討開始 平成19年度 浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・景観条例の検討 平成20年度 景観条例一部施行 景観計画は都市計画審議会・景観審議会にて審議 平成21年度 景観計画策定・景観条例全面施行 景観重要公共施設の指定に向けた調査検討 平成22年度 景観重要公共施設の指定に向けた調査検討 平成23年度 震災復興に伴い予算削減となったため、事業は実施しなかった。 | □ | ○ |
| 公園、沿道や水辺空間等を結ぶ「水と緑のネットワーク」を推進し、水と緑の豊かな景観を形成します。 | 145 | 関係課 | 公園、緑地の整備を図るとともに、公園を結ぶ沿道の緑化や緑地、海岸、河川等の空間を保全し、うるおいのある緑豊かな環境の創出を図っている。 | (本編 54～64ページ「1.身近な水辺」「2.身近な緑」参照) | | | | | | |
| 元町地域に残る貴重な歴史的・自然資源として、境川の護岸改修整備とあわせて親水空間などの修景整備を推進します。 | 146 | 道路整備課 | 境川水辺空間整備事業 | 境川が市民の憩いの場所となるように親水性を高め、水辺空間の整備を県と市の共同事業で行う。 | 境川水辺空間整備工事を実施。 ・境川水辺空間整備打込工事(県施工) ・境川ゾーン修景工事 | ○ | | 平成19年度 境川ゾーン修景設計業務委託 境川ゾーン修景工事 境川ゾーン矢板打込(県施工) 平成20年度 境川ゾーン修景工事 境川ゾーンコーピング(県施工) 平成21年度 境川ゾーン修景工事 境川ゾーンコーピング(県施工) 平成22年度 境川ゾーン修景工事 境川ゾーンコーピング(県施工) 平成23年度 境川ゾーン修景工事 境川ゾーンコーピング(県施工) | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|-----------|---|--|------------------------|---|-------------------|----|-------|
| 元町に残る歴史的・文化的な施設や寺社およびその周りの緑などを保存し、歴史・文化を活かした景観形成に努めます。 | 147 | みどり公園課 | 保存樹木指定事業 | 地域の3/4が海面埋め立て地である本市にあっては、緑豊かな環境を促進するために、良有地にある樹木を保存樹木に指定して、緑を保全し緑化推進を図る。 | 新規指定本数 0本 市内指定本数 614本 廃止本数 2本 | △ (震災の影響を受け新規指定を中止) | 市内指定本数 平成19年度 572本 平成20年度 606本 平成21年度 625本 平成22年度 621本 平成23年度 616本 | □ | ○ | |
| | 148 | 都市計画課 | 景観計画運営事業 | 本市の景観まちづくりを推進するため、平成16年に制定された景観法に基づき、景観計画を策定、景観条例を全面施行し、景観資源の維持・保全・活用を行う。 | 平成24年度は震災復興に伴い予算削減となったため、事業は実施しなかった。 | × | 平成18年度 浦安市景観マスタープラン策定 景観法に基づく景観行政団体となる浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・条例の検討開始 平成19年度 浦安市景観計画等策定協議会で、景観計画・景観条例の検討 平成20年度 景観条例一部施行 景観計画は都市計画審議会・景観審議会にて審議 平成21年度 景観計画策定、景観条例全面施行 景観重要建造物・樹木の指定に向けた調査検討 平成22年度 景観重要建造物・樹木の指定に向けた調査検討 平成23年度 震災復興に伴い予算削減となったため、事業は実施しなかった。 | □ | ○ | |
| | 149 | 郷土博物館 | 文化財住宅管理運営 | 県、市指定文化財である旧大塚家住宅、旧宇田川家住宅を施設利用振興公社に管理運営を委託。事業の運営については、一般公開、宿泊体験、文化財めぐり、餅つき大会等を開催する。 | 入館者数 (開館日数 293 日間) 旧宇田川家住宅 6,538 人 旧大塚家住宅 6,412 人 | ○ | 入館者数 旧宇田川家住宅 平成19年度 (開館日数296日) 11,341人 平成20年度 (開館日数290日) 9,664人 平成21年度 (開館日数294日) 9,649人 平成22年度 (開館日数277日) 6,674人 平成23年度 (開館日数266日) 5,813人 旧大塚家住宅 平成19年度 (開館日数296日) 11,225人 平成20年度 (開館日数290日) 9,499人 平成21年度 (開館日数294日) 9,734人 平成22年度 (開館日数277日) 6,753人 平成23年度 (開館日数266日) 6,130人 | □ | ○ | |

3 環境への負荷の少ない、地球にやさしい循環型社会をめざすまち

1. 廃棄物

(1)ごみの減量・再資源化の推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|----------|----------------|--|---|------------|------------|---|----|-------|
| 「ビーンズ計画」により、市民や事業者に対して啓発を図り、市民参加を促します。 | 150 | ごみゼロ課 | ビーンズ計画 | 市・市民・事業者によるごみの減量・再資源化を推進するための取り組みとして、「ビーンズ計画」を1991年(平成3年)にスタート。計画に基づきさまざまな取り組みを行う。 | 「ビーンズニュースの作成・配布」および「出前ビーンズ」などの事業を実施 | ○ | | 「ビーンズニュースの作成・配布」および「出前ビーンズ」などの事業を参照 | □ | ○ |
| ビーンズニュースの発行等により、市民、事業者の減量化・資源化への関心を高めます。 | 151 | ごみゼロ課 | ビーンズニュースの作成・配布 | ごみの減量・再資源化の必要性を啓発するため、ごみに関する情報紙であるビーンズニュースを作成し、全世帯に配布する。 | 年1回 vol.46 71,985部 | ○ | | ビーンズニュース 平成19年度 年1回発行 vol.38 70,380部 平成20年度 年2回発行 vol.39 72,000部 平成21年度 年2回発行 vol.40 71,706部 平成22年度 年1回発行 vol.41 72,749部 平成23年度 年2回発行 vol.42 72,570部 vol.43 72,589部 vol.44 72,589部 vol.45 72,859部 | □ | ○ |
| ごみ減量化と資源化の意識を高める「出前ビーンズ」を実施する等環境学習を推進します。 | 152 | ごみゼロ課 | 出前ビーンズ | ごみの減量・再資源化の必要性を啓発するため、職員が市民の集まりなどに出かけて、ごみに関する話などをします。 | 40件(41回) (うち26回は小4クリーンセンター見学) | ○ | | 平成19年度 36回 平成20年度 35回 平成21年度 39回 平成22年度 39回 平成23年度 36回 | □ | ○ |
| 地球活動のリーダーとして廃棄物減量等推進員を委嘱し、地域に密着した減量化・資源化を促進します。 | 153 | ごみゼロ課 | 廃棄物減量等推進員 | 自治会での廃棄物減量活動や地球活動のリーダーとなってもらう。 | 廃棄物減量等推進員連絡会 開催 3回 (うち1回は小4クリーンセンター見学) 廃棄物減量等推進員研修会 開催 2回 | ○ | | 連絡会開催回数 平成19年度 2回 平成20年度 2回 平成21年度 3回 平成22年度 2回 平成23年度 2回 | □ | ○ |
| 買物袋の普及を促進し、レジ袋等の包装廃棄物の減量を図ります。 | 154 | ごみゼロ課 | 買物袋配付 | 買物袋の普及を促進し、レジ袋の削減を図るため、1世帯に1袋の買物袋を配付する。 | 配付数 493袋 | ○ | | 配付数 平成19年度 382袋 平成20年度 656袋 平成21年度 474袋 平成22年度 319袋 平成23年度 41袋 | ▽ | ○ |
| 公共施設において、飲料用紙パックや紙製容器包装等を回収するなど、資源物の拠点回収を推進します。 | 155 | ごみゼロ課 | 牛乳パック等リサイクル | 資源の有効利用の一環として、飲料用紙パックと白色発泡トレイおよび紙製容器包装の回収箱を設置している。設置場所は、市役所・公民館等の公共施設。 | 飲料用紙パック 3,080kg 白色発泡トレイ 610kg 紙製容器包装 7,299kg | ○ | | 飲料用紙パック 白色発泡トレイ 紙製容器包装 平成19年度 4,490kg 922kg 9,662kg 平成20年度 4,230kg 975kg 10,585kg 平成21年度 3,630kg 928kg 8,656kg 平成22年度 3,370kg 766kg 8,112kg 平成23年度 3,220kg 678kg 9,286kg | ▽ | ○ |
| | | | はがき回収 | 不用なはがきの再資源化を図るため、回収期間を定めて回収箱を設置している。設置場所は市役所、公民館等の公共施設。 | はがき回収量 260kg | ○ | | はがき回収量 平成19年度 290kg 平成20年度 300kg 平成21年度 280kg 平成22年度 380kg 平成23年度 320kg | △ | ○ |
| 紙・びん・ペットボトル等の資源ごみの分別収集を推進し、容器包装ごみの減量化・資源化を図ります。 | 156 | 保育幼稚園課 | リサイクルボックスの設置 | ごみと資源を分別するため、各幼稚園に1台ずつリサイクルボックスを設置。 | 設置している。 | ○ | | 平成17年12月より設置 | □ | ○ |
| | 157 | ごみゼロ課 | 資源ごみ収集運搬事業 | 一般家庭から排出される資源ごみのリサイクルを目的に、びん・缶・ペットボトルおよび紙類の収集をし、クリーンセンターへ運搬する。 | びん 1,613t 缶 519t ペットボトル 617t 紙類 2,042t | ○ | | びん 缶 ペットボトル 紙類 平成19年度 1,810 t 566 t 552 t 2,896 t 平成20年度 1,718 t 567 t 530 t 2,451 t 平成21年度 1,612 t 563 t 548 t 2,318 t 平成22年度 1,611 t 553 t 571 t 2,220 t 平成23年度 1,616 t 539 t 657 t 2,232 t | △ | ○ |
| | 158 | 中央図書館 | 資源回収業者への古紙回収委託 | 図書・雑誌・新聞等の購入時に挟まってくる紙片類を分別収集する。 | さらに分別収集の徹底を図った。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | △ | ○ |
| 紙・びん・ペットボトル等の資源ごみの分別収集を推進し、容器包装ごみの減量化・資源化を図ります。 | 158 | 中央図書館 | 資源ごみ回収ボックスの設置 | 紙・びん・缶・ペットボトル等の資源ごみを分別収集する。 | さらに分別収集の徹底を図った。 びん・缶・ペットボトルの合計 265kg | ○ | | びん・缶・ペットボトルの合計 平成19年度 472kg 平成20年度 580kg 平成21年度 530kg 平成22年度 555kg 平成23年度 288kg | △ | ○ |
| | | | 古封筒の活用 | 資料の寄贈等で送られてくる封筒をストックして活用する。 | 継続して実施 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| クリーンセンターにおいて、燃やせないごみ、粗大ごみの中から、鉄とアルミを回収する。 | 159 | クリーンセンター | 有価物の回収 | 燃やせないごみと粗大ごみの中から、鉄とアルミを回収する。 | 鉄類 1,108,600kg アルミ類 62,270kg | ○ | | 鉄類 アルミ類 平成19年度 1,141,510kg 73,000kg 平成20年度 1,241,740kg 80,410kg 平成21年度 1,109,870kg 66,270kg 平成22年度 1,126,220kg 61,620kg 平成23年度 1,223,980kg 33,270kg | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|----------|---------------------|--|--|------------|--------------------------------------|--|----|-------|
| クリーンセンターにおいて、資源ごみを選別し再資源化を推進します。 | 160 | クリーンセンター | ごみリサイクル | 資源ごみを再資源化する目的により中間処理を実施する。 | 無色ガラス 490,850kg 茶色ガラス 278,620kg その他ガラス 409,290kg 活きびん 82,910kg ペットボトル 548,260kg 新聞 701,300kg 雑誌 593,550kg ダンボール 831,790kg スチール缶 188,070kg アルミ缶 267,190kg 平成24年度計 4,391,830kg | ○ | | 資源ごみ再資源化量 平成19年度 計5,187,660kg 平成20年度 計4,770,680kg 平成21年度 計4,708,840kg 平成22年度 計4,589,730kg 平成23年度 計4,519,080kg | □ | ○ |
| 指定袋の導入により、ごみの分別の徹底を図り、ごみの排出量の削減を進めます。 | 161 | ごみゼロ課 | 家庭系指定ごみ袋の導入 | ・燃やせるごみの減量 ・分別の徹底および再資源化の推進 ・作業員の安全確保を目的として指定ごみ袋を導入。 導入日：平成18年1月23日 | 不適正な排出に対しては警告シールを貼付した。 | ○ | | 平成19年度 不適正な排出に対しては警告シールを貼付 平成20年度 不適正な排出に対しては警告シールを貼付 平成21年度 不適正な排出に対しては警告シールを貼付 平成22年度 不適正な排出に対しては警告シールを貼付 平成23年度 不適正な排出に対しては警告シールを貼付 | □ | ○ |
| ピーナズプラザにおいて、市民が楽しくリサイクルに挑戦することが出来る場をつくり、市民によるリサイクル活動を促進します。 | 162 | ピーナズプラザ | リサイクル講座事業 | 衣類のリフォーム、古布利用のぞり、敷物作り、ハッチワーク教室や牛乳パック利用の紙作り、工作教室、廃びん利用のフワワーボトル作り、壊れたおもちゃの修理を行うおもちゃの病院などの開催を通し、ごみの減量、リサイクルをPRする。 | 講座数 12講座 参加人数 447人 ※講座開催回数は増減していないが、1講座あたりの内容数の減少したことにより参加人数が減少した。 (ガラス工房の開催数が減少) | ○ | | 講座数 参加人数 平成19年度 13講座 2,497人 平成20年度 13講座 2,533人 平成21年度 13講座 5,010人 平成22年度 14講座 2,704人 平成23年度 12講座 2,590人 | □ | ○ |
| | 163 | 老人福祉センター | バザー | センター利用者による不用品の出品を募り、その品物の即売会を行い、省資源・ごみの減量を推進する。 | | × | バザーに供出する方が大きく、利用者間に不公平感があるため(平成21年度) | 平成18年度 実施なし 平成19年度 実施なし 平成20年度 実施なし | | × |
| 市役所や公民館において、廃食油や古着古布の回収を推進します。 | 164 | ごみゼロ課 | 廃食油、古着古布 リサイクル事業 | ごみの減量・再資源化のため、家庭から出る廃食油を回収し、せっけんにリサイクルしている。 また、古着・古布を回収し、衣類としてリユースしたり、ウエスなどにリサイクルしている。 | 年間回収量 廃食油 2,649g 古着・古布 28,680kg | ○ | | 廃食油 古着古布 平成19年度 3,915g 29,880kg 平成20年度 4,185g 30,690kg 平成21年度 4,104g 31,930kg 平成22年度 3,942g 38,520kg 平成23年度 3,420g 36,250kg | △ | ○ |
| 市民参加による資源回収を推進します。 | 165 | ごみゼロ課 | 資源回収補助事業 | 資源の有効利用と環境保護およびごみの減量・再資源化を図るため、市民参加による資源回収の拡大を図る。 | 年間回収量 5,146,150kg | ○ | | 年間回収量 平成19年度 5,754,990kg 平成20年度 5,327,430kg 平成21年度 5,325,080kg 平成22年度 5,287,620kg 平成23年度 5,318,150kg | □ | ○ |
| 公共建築物の改修や解体工事における建設廃材の再利用化および新築等におけるリサイクル資材の導入を図ります。 | 166 | 関係課 | | 市では、工事に要求される品質を考慮したうえで、積極的に再生資材の利用を行っている。 また、既存施設の解体時においては、建設リサイクル法等の解体に伴う産業廃棄物の資源化の方針に基づく廃棄物の分別・再資源化を推進している。 | | | | | | |
| 公園および街路樹等の剪定枝葉をチップ化する等、緑化資材としての再利用を図ります。(再掲) | 167 | みどり公園課 | 緑のリサイクル事業 | 市内公園、街路、緑道で発生した剪定枝・枯葉等を破砕・チップ化し、雑草の抑制や乾燥防止のために、堆肥に敷き均すマルチング材、クッション材やチップを酸酵させ堆肥化することにより土壌改良材に再利用し、ごみの減量・焼却コスト削減・緑のリサイクルを図る。 | 発生材数量 3,540㎡ リサイクル数量 2,222㎡ | ○ | | 発生材数量・リサイクル数量 平成19年度 3,092㎡ / 1,669㎡ 平成20年度 3,696㎡ / 2,295㎡ 平成21年度 3,158㎡ / 2,250㎡ 平成22年度 2,965㎡ / 1,634㎡ 平成23年度 2,587㎡ / 2,137㎡ | □ | ○ |
| エコマーク商品およびグリーン購入等、環境に配慮した商品の選択、再生品の利用拡大に向けた啓発を推進します。 | 168 | 消費生活センター | 消費者教育講座 | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 市民を対象とした講座の中で、生活のさまざまな場面で環境を考えた行動する方法やその必要性を指導 (親子料理教室～千葉県産の郷土料理、地産地消の説明も含めた太巻き祭りしづくり～) 夏の参加者人数：22人 | ○ | | 消費者教育講座 平成19年度 参加人数 18人 平成20年度 参加人数 25人 平成21年度 参加人数 24人 平成22年度 夏の参加人数 18人、冬の参加人数26人 平成23年度 参加人数 111人 | △ | ○ |
| | | | 消費生活出前講座 | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 消費生活出前講座 浦安中学校総合講座 申請なし | ○ | | 消費生活出前講座 浦安中学校総合講座 平成19年度 参加人数 16人 平成20年度 参加人数 15人 平成21・22年度 申請なし 平成23年度 参加人数 57人 | □ | 未定 |
| | | | 各種イベント | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 消費生活センターにて、消費生活展を開催しグリーンコンシューマー一掃啓発等の啓発を行った。 9/23合計121人 | △ | | 消費生活展 平成19年度 参加者延べ人数 981人 平成20年度 参加者人数 1,129人 平成21年度 参加者人数 1,228人 平成22年度 参加者人数 1,443人 平成23年度 参加者人数 1,919人(うらやす復興祭参加) | □ | ○ |
| | | | 啓発資料の作成、配布 | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 各公共施設へ配布 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | | | グリーンコンシューマー標語募集 | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | グリーンコンシューマー標語募集 17名より31作品の応募、優秀賞1作品、佳作2作品を選考し記念品を贈呈した。 | ○ | | 応募数 平成19年度 7点(4人) 平成20年度 34点(18人) 平成21年度 41点(23人) 平成22年度 20点(10人) 平成23年度 25点(17人) | △ | ○ |
| エコマーク商品およびグリーン購入等、環境に配慮した商品の選択、再生品の利用拡大に向けた啓発を推進します。 | 169 | ごみゼロ課 | 出前ピーナズ | ご問題に関心を持ってもらうために、職員が市民の集まりなどに出かけて、ごみに関する話をする。 | 40件(41回) (うち26回は小4クリーンセンター見学) | ○ | | 平成19年度 36回 平成20年度 35回 平成21年度 39回 平成22年度 39回 平成23年度 36回 | □ | ○ |
| 多量にごみを排出する事業者を指定し、減量計画書の提出を求め、必要に応じて立入調査を行うなど、事業者のごみ減量の促進・分別指導の徹底を図ります。 | 170 | ごみゼロ課 | 多量排出事業者の廃棄物削減の促進 | 指定した事業者に対し、廃棄物管理責任者を定め、事業者一般廃棄物減量計画書の提出を求める。 | 既指定 63事業所 新規指定 1事業所 | ○ | | 平成19年度 52事業所 新規指定 10事業所 平成20年度 62事業所 新規指定 2事業所 平成21年度 62事業所 新規指定 0事業所 平成22年度 62事業所 新規指定 0事業所 平成23年度 62事業所 新規指定 0事業所 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過 (平成19年度～23年度) | | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|----------|----------------|--|--|------------|-------------------|--|--|----|-------|
| | | | | | | | | 平成19年度 | 平成20年度 | | |
| 事業者の自己処理責任に基づくごみの減量・リサイクルの促進に取り組めます。 | 171 | ごみゼロ課 | 有料事業系指定ごみ袋の導入 | 従来の処理方法(クリーンセンターに自ら持ち込む・一般廃棄物処理業許可業者と契約する)に、平成18年1月4日から、1日のごみの平均排出量が45L袋で1袋以下の事業所を対象に有料事業系指定ごみ袋による排出方法を追加した。 全事業所(許可業者と契約・クリーンセンター持込・事業系指定ごみ袋)の排出調査を実施し、事業所台帳を作成した。 | 許可業者と契約事業所 1,924事業所 少量一般廃棄物排出事業所 1,407事業所 クリーンセンター持込 249事業所 | ○ | | 平成19年度 許可業者と契約事業所 1,809事業所 少量一般廃棄物排出事業所 1,426事業所 クリーンセンター持込 232事業所 平成20年度 許可業者と契約事業所 1,950事業所 少量一般廃棄物排出事業所 1,487事業所 クリーンセンター持込 259事業所 平成21年度 許可業者と契約事業所 1,851事業所 少量一般廃棄物排出事業所 1,430事業所 クリーンセンター持込 236事業所 平成22年度 許可業者と契約事業所 1,907事業所 少量一般廃棄物排出事業所 1,438事業所 クリーンセンター持込 238事業所 平成23年度 許可業者と契約事業所 1,909事業所 少量一般廃棄物排出事業所 1,433事業所 クリーンセンター持込 236事業所 | □ | ○ | |
| | 172 | 中央図書館 | 不用品資料のリサイクル | ビーンズプラザ、市民課前フロアにリサイクル本を置いて、市民に自由に持ち帰ってもらう。 | 継続して実施 計22,907冊を無償配布した。 | ○ | | リサイクル資料配布冊数の増加 平成19年度 29,342冊 平成20年度 29,132冊 平成21年度 22,921冊 平成22年度 22,546冊 平成23年度 25,440冊 | △ | ○ | |
| | 173 | 老人福祉センター | トイレトベーパーリサイクル | 市内のホテルより使用済み(使用途中)のトイレトベーパーを受け入れてセンター内のトイレにて使用している。 | (ダブル 30m) (240個+120個)×12か月=4150個 | ○ | | | トイレトベーパー 平成21年度(ダブル 30m) 80個×34回=3,040個 平成22年度(ダブル 30m) 80個×52回=4,150個 平成23年度(ダブル 30m) (240個+120個)×12か月=4150個 | □ | ○ |
| 生ごみ処理容器等購入費補助金制度を継続して実施し、家庭における生ごみ自家処理の促進を図ります。 | 174 | ごみゼロ課 | 生ごみ処理容器等購入費補助金 | 家庭から出る生ごみの減量を目的として、生ごみ処理機・処理容器の購入費を助成する。 | 電動式生ごみ処理機 12機 補助金額 316,400円 生ごみ処理容器 4基(4件) 補助金額 8,500円 | ○ | | 電動式生ごみ処理容器 平成19年度 7基(5件)=6,300円 75機=1,982,500円 平成20年度 4基(4件)=7,800円 48機=1,220,300円 平成21年度 13基(11件)=22,300円 32機=694,300円 平成22年度 16基(12件)=23,500円 28機=756,400円 平成23年度 8基(6件)=14,700円 9機=249,000円 | ▽ | ○ | |
| | 175 | みどり公園課 | 緑のリサイクル事業 | 市内公園、街路、緑道で発生した剪定枝・枯葉等を破砕・チップ化し、雑草の抑制や乾燥防止のために、植栽に敷き出すマルチング材、クッション材やチップを醗酵させ堆肥化することにより土壌改良材に再利用し、ごみの減量・焼却コスト削減・緑のリサイクルを図る。 | 発生材数量 3,540㎡ リサイクル数量 2,222㎡ | ○ | | 発生材数量・リサイクル数量 平成19年度 3,092㎡ / 1,669㎡ 平成20年度 3,696㎡ / 2,295㎡ 平成21年度 3,158㎡ / 2,250㎡ 平成22年度 2,965㎡ / 1,634㎡ 平成23年度 2,587㎡ / 2,137㎡ | □ | ○ | |
| 樹木移植工事において生じる移植不可能の樹木をリサイクルたい肥とする等の再利用を図ります。(再掲) | 176 | セ東野学学校給食 | 生ごみの堆肥化 | 食材の前処理残菜等を生ごみ処理機に投入し堆肥化を図る。 | 平成15年度6月より業務用パイオ式生ごみ処理機を設置 処理量1日あたり80kg 188日×80kg=15,040kgの生ごみを処理、堆肥化 | 完了 | センター閉鎖のため(平成23年度) | 平成19年度 1日あたり80kg×188日=15,040kg処理 平成20年度 1日あたり80kg×188日=15,040kg処理 平成21年度 1日あたり80kg×188日=15,040kg処理 平成22年度 1日あたり80kg×188日=15,040kg処理 平成23年度 1日あたり80kg×188日=15,040kg処理 | □ | × | |
| | 177 | セ千島学学校給食 | 給食残滓リサイクル事業 | PF1事業契約により、給食残滓について100%リサイクルを行う。 | 287,513kgリサイクル(H24第3調理場開設) | ○ | | 平成19年度 167,496kgリサイクル 平成20年度 175,890kgリサイクル 平成21年度 204,216kgリサイクル 平成22年度 213,227kgリサイクル 平成23年度 205,380kgリサイクル | □ | ○ | |
| イベントから出るごみの減量を推進します。 | 178 | ごみゼロ課 | イベントごみ減量事業 | イベントから出るごみの減量を進めるために、平成19年4月に策定した「イベントごみ減量ガイドライン」に基づいて、市のイベントや自治会祭りなどで、「リユース食器の利用」や「食器の持ち込みの実施」などによる使い捨て食器の削減や「ごみと資源の分別徹底」について啓発を行う。 | 市のイベントや自治会祭りなどで、「リユース食器の利用」や「食器の持ち込みの実施」などによる使い捨て食器の削減や「ごみと資源の分別徹底」について啓発を行った。 | ○ | | 市のイベントや自治会祭りなどで、「リユース食器の利用」や「食器の持ち込みの実施」などによる使い捨て食器の削減や「ごみと資源の分別徹底」を呼びかけ、実施に取り組んだ。 | △ | ○ | |

(2)廃棄物の適正処理の推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過 (平成19年度～23年度) | | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|----------|-----------------------|--|--|------------|----------------------|---|--------|----|-------|
| | | | | | | | | 平成19年度 | 平成20年度 | | |
| 市民等がインターネットを通じて、粗大ごみの申込み予約ができるように、粗大ごみ受付システムの整備を進めます。 | 179 | クリーンセンター | 粗大ごみ(インターネット)システム整備事業 | インターネットからアクセスができる「電子申請」の手続きシステムとして構築する。 | 受付 784件 | ○ | | 平成19年度 継続運営 平成20年度 継続運営 平成21年度 継続運営 平成22年度 継続運営 平成23年度 継続運営 | □ | ○ | |
| クリーンセンターにおいて、「重慶市廃棄物処理施設中長期整備計画」の策定を行い、廃棄物処理施設の整備に関する諸施策を円滑に推進します。 | 180 | クリーンセンター | 廃棄物処理施設中長期整備計画策定事業 | 廃棄物処理施設の老朽化対策として財政面を含め、計画的な整備について検討する。 | 廃棄物処理施設の老朽化に伴う大規模修繕工事の中長期にわたる基本的な整備計画に係る基礎資料編を作成した。 | 完了 | 策定済(平成18年度) | 平成16年度 基礎資料編の策定 平成17年度 保全管理システム編その1策定中 平成18年度 策定 | | 完了 | |
| クリーンセンターにおいて、エコ・セメント化による焼却リサイクル等の資源化を推進します。 | 181 | クリーンセンター | エコ・セメント推進事業 | 最終処分されていた焼却灰をエコ・セメント化処理施設に委託し、セメント資材として再資源化するとともに、新たな資源化施設への委託を検討する。 | エコ・セメント化処理施設が操業停止のため、処理実績無し | × | エコ・セメント化処理施設が操業停止のため | 平成18年度 2,704.44 t 平成20年度 2,407.38 t 平成21年度 2,571.56 t 平成22年度 2,496.38 t 平成23年度 1,478.12 t | □ | 未定 | |
| ごみ焼却施設においては、環境汚染物質の測定調査を行い、調査結果の公表を行います。 | 182 | クリーンセンター | 廃棄物処理施設に関する測定分析事業 | 廃棄物の処理および清掃に関する法律に基づき、施設より排出する物質を管理し、環境保全に尽す。 | ①公害測定分析・・・排出基準クリアー ・排ガス測定分析 ・排水(下水道放流)測定分析 ・溶出試験測定分析 ・灰中重金属試験測定分析 ・生ごみ組成測定分析 ・悪臭測定分析 ・熱灼減量測定分析 ・作業環境測定分析 ②ダイオキシン類測定分析・・・排出基準クリアー ・焼却炉出口 ・燃灰出口 ・動物焼却炉 ・飛灰一焼却炉 ・飛灰二焼却炉 | ○ | | 平成19年度 排出基準クリアー 平成20年度 排出基準クリアー 平成21年度 排出基準クリアー 平成22年度 排出基準クリアー 平成23年度 排出基準クリアー | □ | ○ | |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取組の概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|----------|---|---|---|------------|--|-------------------|----|-------|
| し尿処理の処理量低下等の調査研究を進め、施設整備を行います。 | 183 | クリーンセンター | し尿処理施設整備事業 | 包括委託受託業者と協議し、適正なし尿処理施設整備を検討する。 | し尿搬入量減少に伴い、よりきめ細かな水質分析を行い、適正な運転維持している。 平成24年度 し尿汚泥 720kℓ 浄化槽汚泥 2,461kℓ | ○ | し尿汚泥 浄化槽汚泥 平成19年度 833kℓ 3,674kℓ 平成20年度 789kℓ 3,315kℓ 平成21年度 741kℓ 2,986kℓ 平成22年度 815kℓ 2,820kℓ 平成23年度 1,255kℓ 2,843kℓ | □ | ○ | |
| 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」※に基づき、建設資材のリサイクル促進に向け、工事発注者に対して普及啓発を図ります。 | 184 | 建築指導課 | 建設リサイクル法の施行に伴う対応 | 平成14年5月30日から「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」の施行により、建設工事に伴い発生する廃棄物の分別解体、再資源化が義務付けられた。解体工事着工の7日前までに所定の届出が必要。(市建築指導課で取り扱う届出は、現在市で建築確認業務の対象となっている建築物(木造2階以下で延床500㎡以下の建築物、非木造1階建て延床200㎡以下の建築物、特殊建築物100㎡以下)で、建築物の床面積80㎡以上となる解体工事。) | 建設リサイクル法届出件数293件。随時建設リサイクルパトロールを実施した。 | ○ | 建設リサイクル法届出件数 平成19年度 126件 平成20年度 105件 平成21年度 108件 平成22年度 131件 平成23年度 293件 建設リサイクル法パトロールの実施。 | □ | ○ | |
| 公共事業から発生する建設廃棄物の再利用を促進します。 | 185 | 関係課 | 市では、工事に要求される品質を考慮したうえで、積極的に再生資材の利用を行っている。また、既存施設の解体時には、建設リサイクル法等の解体に伴う産業廃棄物の資源化の方針に基づく廃棄物の分別・再資源化を推進している。 | | | | | | | |

2. 資源・エネルギー・地球環境問題

(1)省資源・省エネルギー対策の推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取組の概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|----------------------------|--|---|------------|----------------|---|----|-------|
| 「地球温暖化対策実行計画」、環境マネジメントシステムなどにより、市の総合的な省資源・省エネルギー対策を推進します。 | 186 | 環境保全課 | 浦安市地球温暖化対策実行計画 | 浦安市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の公共施設における省エネルギー対策を推進する。 | 一般事務系公共施設のCO ₂ 排出量 13,089t-CO ₂ (平成21年度比9.0%減) | ○ | | 温室効果ガス排出量(一般事務系公共施設) 平成19年度 12,954,849kg-CO ₂ 平成20年度 13,003,750kg-CO ₂ 平成21年度 13,481,384kg-CO ₂ 平成22年度 14,402,584kg-CO ₂ 平成23年度 12,496t-CO ₂ | □ | ○ |
| | | | 環境マネジメントシステム | 本市で環境方針を定め、環境負荷を低減させるような計画の立案・実施・点検・見直しを行うPDCAサイクルにより、市役所の事業活動全般を管理・改善する。 | 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む環境配慮行動を推進した。 | △ | | 平成19年度 全庁で取り組む配慮事項の調査実施 環境管理マニュアルの作成 自己宣言に向けての調査・研究 平成20年度 自己宣言、環境管理推進会議の開催 平成21年度 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成22年度 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成23年度 環境負荷低減の取り組みを第3次浦安市公共施設における地球温暖化対策実行計画に基づいて実施。各所属へエコオフィス活動の取り組みの目標を掲げさせ、環境管理(マネジメント)を実施 | □ | 未定 |
| | | | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「クリーンエネルギービジョン」を策定する。各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |
| | | | 環境保全行動推進事業(旧・もったいないプロジェクト) | 「もったいない」という言葉の「もの本来の価値を無駄にすることなく、活かしていく」とする精神をコンセプトに、市の率先行動をはじめとする地球全体の環境保全の取り組みを「もったいないプロジェクト」として展開している。 | 市の省資源・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止に関する啓発を行った。日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定。 ・市の環境配慮指針 ・公共施設の計画・施工編を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座1回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者:7事業者) | ○ | | 平成19年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 平成20年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座11回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者:14事業者) 平成21年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座6回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者:14事業者) 平成22年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座3回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者:5事業者(認定)) 平成23年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座1回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者:6事業者) | □ | ○ |
| | | | チーム・マイナズ6% (平成18年6月登録) | 浦安市としてチーム・マイナズ6%に登録し、地球温暖化対策に市が率先して取り組むとともに、市民・事業者・滞在者等の行動を促進するための周知・啓発を図る。 | ・冷暖房の適正な温度設定やアイドリングストップなど、これまでも行ってきた環境に配慮した行動のさらなる徹底を呼びかけるとともに、公共施設において適正な温度設定の実施をした。 ・市民に周知するためのポスターを作成・掲示するよう呼びかけ、市民への周知を図った。 | ○ | | 平成19年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成20年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成21年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成22年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成23年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|-----------|--|--|---|---|---|---|-------------------|----|-------|
| 「地球温暖化対策実行計画」、環境マネジメントシステムなどにより、市の総合的な省資源・省エネルギー対策を推進します。 | 187 | 総務局環境市民保健課 | 総合体育館ESCO事業 | ESCO事業については、これまでの検証結果を踏まえ、本市施設の中で最もエネルギー使用量と温室効果ガス排出量が多く、省エネ効果が高いと考えられる総合体育館に導入する。 | ESCO事業は平成21年度4月から運用を開始したのだが、市とESCO事業者との間で平成20年度に締結した「省エネルギーサービスに関する契約」で定めた省エネルギー稼働率、CO2削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成することができた。 | ○ | 平成19年度 省エネルギー診断 ESCO事業者公募 平成20年度 最優秀提案者(優先交渉権者)決定 削減保証率および削減保証率を定めた「浦安市運動公園総合体育館、屋内水泳プールの省エネルギーサービスに関する契約」を締結 平成21年度 運用を開始し、保証率、CO2削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 平成22年度 保証率、CO2削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 平成23年度 運用を開始し、保証率、CO2削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 | △ | ○ | |
| 市の省資源・省エネルギー型製品、エコマーク商品、グリーン購入を積極的に推進するとともに、市民・事業者等への意識啓発を図ります。 | 188 | 財政課 | 庁用事務用品購入 | 庁用事務用品の購入に際して、エコマーク製品、グリーン購入法適合商品を選定。 | 庁用事務用品の購入にあたり、エコマーク製品、グリーン購入法適合商品を選定し、購入した。 事務用品の購入 平成24年度 購入商品 45品 内訳 ・グリーン法適合 35商品 ・エコマーク商品 27商品 ※グリーン法適合かつエコマークである商品がある。 | ○ | 平成19年度 購入物品 30品 平成20年度 購入商品 61品 平成21年度 購入物品 60品 平成22年度 購入物品 60品 平成23年度 購入物品 60品 内訳 ・グリーン法適合 36商品(59%) ・エコマーク商品 30商品(49%) ※グリーン法適合かつエコマークである商品がある。 | □ | ○ | |
| | 追加 | 広聴広報課 | 広報うらやすの発行 | 古紙含有率75%以上で、リサイクル適正Aランクの紙を使用。 | 古紙含有率75%以上で、リサイクル適正Aランクの紙を使用。 | ○ | 平成19年度 古紙含有率100%の紙を使用 平成20～23年度 古紙含有率75%以上の紙を使用 | □ | ○ | |
| 市の省資源・省エネルギー型製品、エコマーク商品、グリーン購入を積極的に推進するとともに、市民・事業者等への意識啓発を図ります。 | 189 | 消費生活センター | 消費者教育講座 | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 市民を対象とした講座の中で、生活のさまざまな場面で環境を考慮して行動する方法やその必要性を指導 (親子料理教室～千菜風の郷土料理、地産地消の説明も含めた大巻き祭りすしづくり～) 参加者人数：22人 | ○ | 消費者教育講座 平成19年度 参加人数 18人 平成20年度 参加人数 25人 平成21年度 参加人数 24人 平成22年度 夏の参加人数 18人 冬の参加人数26人 平成23年度 参加人数 111人 | △ | ○ | |
| | 189 | 消費生活センター | 消費生活出前講座 | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 消費生活出前講座 浦安中学校総合講座 申請なし | ○ | 消費生活出前講座 浦安中学校総合講座 平成19年度 参加人数 16人 平成20年度 参加人数 15人 平成21～22年度 申請なし 平成23年度 参加人数 57人 | □ | 未定 | |
| 各種イベント | | | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 消費生活センターにて、消費生活展を開催しグリーンコンシューマー標語募集等の啓発を行った。 9/23合計121人 | △ | 消費生活展 平成19年度 参加者延べ人数 981人 平成20年度 参加者人数 1,129人 平成21年度 参加者人数 1,228人 平成22年度 参加者人数 1,443人 平成23年度 参加者人数 1,919人(うらやす復興祭参加) | △ | ○ | | |
| | | | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | 各公共施設へ配布 | ○ | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ | | |
| | | | 地球環境問題や身近な自然、環境にやさしい消費行動など、グリーンコンシューマーに関する啓発や情報提供、講座を開催 | グリーンコンシューマー標語募集 17名より31作品の応募、優秀賞1作品・佳作2作品を選考し記念品を贈呈した。 | ○ | 応募数 平成19年度 7点(4人) 平成20年度 34点(18人) 平成21年度 41点(23人) 平成22年度 22点(10人) 平成23年度 25点(17人) | △ | ○ | | |
| 保育幼稚園課 | 190 | 各幼稚園入り封筒印刷 | 古紙配合率40%以上のものを使用。角2封筒は、角2封筒として使用後、定形封筒として利用できるセパブルで作成。 | 各園の必要数を調べ、必要数のみ印刷。そのため作成しない園もあった。 (平成24年度 6園購入) | △ | 封筒購入実績 平成19年度 11園 平成20年度 6園 平成21年度 6園 平成22年度 6園 平成23年度 9園(平成23年度より統一の封筒とする) | □ | ○ | | |
| | | 幼稚園教諭用被服購入 | 教諭用被服を購入する際、エコマーク商品を選ぶ。 | エコマーク製品を選定し購入。(平成24年度 幼稚園教諭への被服買付を廃止) | × | 平成19年度 公立幼稚園14園に買付 平成20年度 公立幼稚園14園に買付 平成21年度 公立幼稚園14園に買付 平成22年度 公立幼稚園14園に買付 平成23年度 公立幼稚園10園に買付 | □ | × | | |
| | 保育士買付被服購入 | 保育士用買付被服を購入する際、エコマーク商品を選ぶ。 | エコマーク製品を選定し購入。(平成24年度 購入なし) | × | 平成19年度 公立保育園7園に買付 平成20年度 公立保育園7園に買付 平成21年度 公立保育園7園に買付 平成22年度 公立保育園7園に買付 平成23年度 購入なし | □ | 未定 | | | |
| 環境保全課 | 191 | グリーン購入の推進 | エコマーク商品およびグリーン購入等、環境に配慮した商品の選択・再生品の利用拡大に向けた啓発を推進し、関係各課と連携する。 | 調査未実施 | ○ | 平成19年度 調査未実施 平成20年度 調査未実施 平成21年度 調査未実施 平成22年度 調査未実施 平成23年度 調査未実施 | ▽ | 未定 | | |
| | | チーム・マイナス6% (平素6%に達し、地球温暖化対策に市が率先して取り組むとともに、市民・事業者・滞在者等の行動を促進するための周知・啓発を図る。 | 浦安市としてチーム・マイナス6%に達し、地球温暖化対策に市が率先して取り組むとともに、市民・事業者・滞在者等の行動を促進するための周知・啓発を図る。 | ・冷暖房の適正な温度設定やアイドリングストップなど、これまでも行ってきた環境に配慮した行動のさらなる徹底を呼びかけるとともに、公共施設において適正な温度設定の実施をした。 ・市民に周知するためのポスターを作成し、掲示するよう呼びかけ、市長への周知を図った。 | ○ | 平成19年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成20年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成21年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成22年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成23年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 | □ | ○ | | |
| こみゼロ課 | 192 | 出前セミナー | ごみ減量、資源循環の必要性を啓発するため、職員が市民の集まりなどに出かけて、ごみに関する話などをする。 | 40件(41回) (うち26回は小4グリーンセンター見学) | ○ | 平成19年度 36回 平成20年度 35回 平成21年度 39回 平成22年度 39回 平成23年度 36回 | □ | ○ | | |
| 交通公園 | 193 | 交通公園管理運営事業 | スタッフユニフォームの購入に際してエコマーク商品の購入を行う。 | エコ商品であるスタッフジャンパー、ポロシャツを購入した。 | ○ | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ | | |
| 道路整備課 | 194 | 街灯整備 | 市内の街灯を整備していく中で、同じ明るさを保ちながら、二酸化炭素の排出量を半減する灯具に換えている。 | なし | ○ | 平成19年度 幹線4号街灯整備工事② 平成20年度 幹線5号道路照明整備工事 平成21年度 幹線9号道路照明改修工事 平成23年度 なし | △ | ○ | | |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|----------------------------|-------------------------------|--|---|--|------------|--|---|-------|
| | 195 | 教育総務課 | 小中学校運営費 | 小中学校運営に必要な備品、消耗品等の購入 | 購入設計に際しては、エコマークやグリーンマーク表示のあるもの、またはグリーン購入法に適合した製品や、再生素材・詰替方式・森林保全に配慮された製品を優先した。 | ○ | | 平成16年度～ ペットボトルをリサイクル成形した背座板の学習椅子(エコマーク認定商品)の整備開始。 | △ | ○ |
| | | | 教育委員会封筒印刷 | 再生紙を使用。角2封筒は、角2封筒として使用後、定形封筒として使用できるセパブルで作成 | 教育委員会封筒については必要数のみ印刷。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| 市役所等における節水・節電等の省資源・省エネルギーの取組を積極的に推進し、市民・事業者等へ省資源・省エネルギー型ライフスタイルの普及・啓発を図ります。 | 196 | 財政課 | 庁舎管理、集合事務所管理 | 庁舎管理、集合事務所管理における省エネルギーの実績 | 庁舎管理、集合事務所管理において省エネルギーに努めた。19年度から引き続き実施している「クールビズ」は、5月から9月の5ヶ月間実施(平成23年度からは10月までの6か月間実施)。平成23年度については、節電に伴う空調管理を実施した結果、空調系統のガス使用量が減少した。冷房の削減となるガスの使用量は前年度に比較して4,692㎡(平成23年度比較:3.2%)の増となった。ガス使用量(本庁舎・第2・3庁舎・旧老人福祉センター・集合事務所) 平成23年度 146,314㎡ 平成24年度 151,006㎡ 比較 4,692㎡ | ○ | | ガス使用量 平成19年度 154,810㎡ 平成20年度 152,275㎡ 平成21年度 150,331㎡ 平成22年度 178,541㎡ 平成23年度 146,314㎡ | △ | ○ |
| | | | 富補課 | 浦安市公共施設長期保全計画における環境負荷の低減 | 浦安市公共施設長期保全計画(平成17年度から3年間の実施計画事業)により、既存施設の長寿命化を図りながら、ライフサイクルコストの削減、環境負荷の低減を目指す。 | 特殊建築物の定期報告業務に併せて建物の劣化状況を把握し、短期修繕計画を作成した。 | ○ | | 平成19年度 保全計画対応施設のうち8施設について長期保全計画を策定 平成20年度 保全計画対応施設のうち重要施設22施設について長期保全計画を策定。3施設の建築物劣化調査委託仕様書を作成 平成21・22・23年度 特殊建築物の定期報告業務に併せて建物の劣化状況を把握するための業務仕様書等を作成。建物の劣化状況を把握し、短期修繕計画を作成した。 | □ |
| 市役所等における節水・節電等の省資源・省エネルギーの取組を積極的に推進し、市民・事業者等へ省資源・省エネルギー型ライフスタイルの普及・啓発を図ります。 | 198 | 環境保全課 | 浦安市地球温暖化対策実行計画に基づく省エネルギー対策の推進 | 浦安市地球温暖化対策実行計画に基づく、市の公共施設における省エネルギー対策を推進する | 一般事務系公共施設のCO ₂ 排出量13,089t-CO ₂ (平成21年度比9.0%減) | ○ | | 温室効果ガス排出量(一般事務系公共施設) 平成19年度 12,954.849kg-CO ₂ 平成20年度 13,003.750kg-CO ₂ 平成21年度 13,481.384kg-CO ₂ 平成22年度 14,402.584kg-CO ₂ 平成23年度 12,496t-CO ₂ | □ | ○ |
| | | | 環境マネジメントシステム | 本市で環境方針を定め、環境負荷を低減させるような計画の立案・実施・点検・見直しを行うPDCAサイクルにより、市役所の事業活動全般を管理・改善する。 | 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに、全庁で取り組む環境配慮行動を推進した。 | △ | | 平成19年度 全庁で取り組む配慮事項の調査実施 環境管理マニュアルの作成 自己宣言に向けての調査・研究 平成20年度 環境配慮指針(市の事務事業編、公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成21年度 環境配慮指針(市の事務事業編、公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成22年度 環境配慮指針(市の事務事業編、公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成23年度 環境負荷低減の取り組みを第3次浦安市公共施設における地球温暖化対策実行計画に基づいて実施。各所属へエコオフィス活動の取り組みの目標を掲げさせ、環境管理(マネジメント)を実施 | □ | 未定 |
| | | | 環境保全行動推進事業(旧「もったいないプロジェクト」) | 「もったいない」という言葉の本来の価値を無駄にすることなく、活かしていることとする精神をコンセプトに、市の率先行動をはじめとする地域全体の環境保全の取り組みを「もったいないプロジェクト」として展開している。 | 市の省資源・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止に関する啓発を行った。日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定。 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座 11回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」作成 平成21年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座 6回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者:14事業者) 平成22年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座 3回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者:5事業者(認定)) 平成23年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用(出前講座 1回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者:6事業者) | ○ | | 平成19年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 平成20年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用 平成21年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用 平成22年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用 平成23年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用 | □ | ○ |
| | | | 環境アクション策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 完了 | | | |
| | 199 | 総務課 環境市民協働推進課 ESCO事業 | ESCO事業 | ESCO事業については、これまでの検証結果を踏まえ、本市施設の中で最もエネルギー使用量と温室効果ガス排出量が多く、省エネ効果が高いと考えられる総合体育館に導入する。 | ESCO事業は平成21年度4月から運用を開始したのだが、市とESCO事業者との間で平成20年度に締結した「省エネルギーサービスに関する契約」で定めた省エネルギー保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減目標を達成することができた。 | ○ | | 省エネルギー診断 ESCO事業者公募 最優秀提案者(優先交渉権者)決定 削減保証額および削減保証率を定めた「浦安市運動公園総合体育館・屋内水泳プール」の省エネルギーサービスに関する契約を締結 運用を開始し、保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 運用を開始し、保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 | △ | ○ |
| | | | 総合体育館ESCO事業 | ESCO事業については、これまでの検証結果を踏まえ、本市施設の中で最もエネルギー使用量と温室効果ガス排出量が多く、省エネ効果が高いと考えられる総合体育館に導入する。 | ESCO事業は平成21年度4月から運用を開始したのだが、市とESCO事業者との間で平成20年度に締結した「省エネルギーサービスに関する契約」で定めた省エネルギー保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減目標を達成することができた。 | ○ | | 平成18年度 省エネルギー診断 平成19年度 ESCO事業者公募 最優秀提案者(優先交渉権者)決定 削減保証額および削減保証率を定めた「浦安市運動公園総合体育館・屋内水泳プール」の省エネルギーサービスに関する契約を締結 運用を開始し、保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 運用を開始し、保証率、CO ₂ 削減保証率、光熱水費削減保証率の全てにおいてその削減目標を達成 | △ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|----------------|--|---|---|---|------------------------|---|---|----|-------|
| | 200 | 文化会館 | ごみ排出量の低減・再資源化 | ・利用者へのゴミの持ち帰りのお願い ・コピー用紙は裏面も使用 ・プリンター・トナーはリサイクル用品を使用する ・電池は充電式を多用する ・びん・缶・ペットボトルの分別徹底 ・紙類の徹底分別 | ・利用者へのゴミの持ち帰りのお願い ・コピー用紙は裏面も使用 ・リサイクルトナーの使用 ・びん・缶・ペットボトルの分別徹底 ・段ボール類・コート・類・コピー用紙・再生紙類の徹底した分別 | ○ | | 平成19年度 ・コピー用紙は裏面も使用 ・びん・缶・ペットボトルの分別徹底 ・利用者へのごみの持ち帰りのお願い ・リサイクルトナーの使用 紙類の徹底分別 前年度同様 平成20年度 前年度同様 平成21年度 前年度同様 平成22年度 前年度同様 平成23年度 前年度同様 | □ | ○ |
| | | | 省エネルギー | ・館内に省エネを喚起する告知を掲示。 ・空調機・給湯器の適切な稼働 ・公用車の市内巡回ルートの効率化 | ・館内に省エネを喚起する告知を掲示。 ・空調機・給湯器の適切な稼働。 ・公用車の利用を必要最小限に抑えた。 ・1日5回の館内巡回の実施で節電・節水のチェック | ○ | | 平成19年度 ・館内に省エネを喚起する告知を掲示 ・空調機・給湯器の適切な稼働 ・照明を省エネタイプに交換 ・効率的なルート使用による公用車の運転と公共交通機関の使用 ・館内巡回チェックの実施 前年度同様 平成20年度 前年度同様 平成21年度 前年度同様 平成22年度 前年度同様 平成23年度 前年度同様 | □ | ○ |
| | 201 | 市民プラザ | 節水・節電の啓発 | 水道の蛇口や電気のスィッチ付近に施設利用者に対して節水や節電を呼びかける表示をする。 | 節電の呼びかけ・節水の表示 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | | | 適正な冷暖房の運転 | 施設の利用状況に合わせた室温の温度設定や、こまめな運転・停止をするなど、適正な空調管理を行う。 | 室温が適正な室温に保たれるよう、また不要な空調運転をする事の無いよう管理に努めた。 電気 447,241kw 前年比 + 60,351kw ガス 55,256㎡ 前年比 + 10,190㎡ 水道 2,842㎡ 前年比 + 221㎡ | ○ | | 電気 平成19年度 487,895kw 前年比 + 48,447kW 平成20年度 483,201kw 前年比 + 4,694kw 平成21年度 488,788kw 前年比 + 5,587kw 平成22年度 479,241kw 前年比 + 9,547kw 平成23年度 386,890kw 前年比 + 92,351kw ガス 平成19年度 60,883㎡ 前年比 + 17,889㎡ 平成20年度 67,398㎡ 前年比 + 6,515㎡ 平成21年度 52,260㎡ 前年比 + 15,138㎡ 平成22年度 61,559㎡ 前年比 + 9,299㎡ 平成23年度 65,446㎡ 前年比 + 3,887㎡ 水道 平成19年度 2,486㎡ 前年比 + 123㎡ 平成20年度 2,829㎡ 前年比 + 343㎡ 平成21年度 2,638㎡ 前年比 + 191㎡ 平成22年度 3,016㎡ 前年比 + 378㎡ 平成23年度 2,621㎡ 前年比 + 395㎡ | □ | ○ |
| | 202 | 特別養護老人ホーム | 空調機温度設定の適正化 | 施設内のセントラル空調設備の節約運転推進。 | 施設内のセントラル空調設備の冷水製造機において、稼働時間を外気温に合わせて調整運転することにより、夏季冬季の空調機節約運転を行った。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ |
| | | | ごみ資源の再利用化 | 厨房への納入物品において、空箱の納入業者への引き取りを推進させることにより、当該施設での搬出ごみ削減とごみ再生化に取り組む。 | 厨房業者と物品納入業者との間で空箱等の引き取りを進めており、年間を通して行った。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ |
| 市役所等における節水・節電等の省資源・省エネルギーの取組みを積極的に推進し、市民・事業者等へ省資源・省エネルギー型ライフスタイルの普及、啓発を図ります。 | 203 | 高洲デイサービスセンター | 空調機温度設定の適正化 | 施設内のセントラル空調設備の節約運転推進。 | 施設内のセントラル空調設備の冷水製造機において稼働時間を外気温に合わせて調整運転することで節約運転を行った。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ |
| | 204 | 浦安駅前デイサービスセンター | 空調機温度設定の適正化 | 施設内のセントラル空調設備の節約運転推進。 | 施設内のセントラル空調設備の冷水製造機において稼働時間を外気温に合わせて調整運転することで節約運転を行った。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ |
| | 205 | (児童センター) | 児童センター活動事業 | 資源ごみ(牛乳パック等)を各活動行事等で使用。 | 主催事業(創作教室等)において、牛乳パックやトイレトペーパーの芯、段ボール、ティッシュボックスの空き箱等の廃材利用に努めた。また、事業参加者にも廃材の持参を呼びかけ資源ごみの有効利用を図った。 | ○ | | 例年、主催事業である工作教室や夏まつりなどのイベントの際の廃材利用をはじめ、施設内においても幼児用の椅子や玩具などを牛乳パックなどの廃材利用により提供している。 | △ | ○ |
| | | 児童センター施設管理運営事業 | 児童センターの利用者に環境問題や施設の衛生管理について理解が図れるよう周知をしながら、施設内のごみ箱を撤去し、利用者に持ち込みごみの持ち帰りを徹底した。 | 事務室内にごみ箱をひとつ設置する以外、施設内(飲食場所、トイレを含む)のごみ箱を撤去し、飲食物や紙オムツなど利用者が持ち込まれたごみの持ち帰りを徹底した。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | △ | ○ | |
| 206 | (児童センター) | 児童センター活動事業 | 資源ごみ(牛乳パック等)を各活動行事等で使用。 | 主催事業(創作教室等)において、牛乳パックやトイレトペーパーの芯、段ボール、ティッシュボックスの空き箱等の廃材利用に努めた。また、事業参加者にも廃材の持参を呼びかけ資源ごみの有効利用を図った。 | ○ | | 例年、主催事業である工作教室や夏まつりなどのイベントの際の廃材利用をはじめ、施設内においても幼児用の椅子や玩具などを牛乳パックなどの廃材利用により提供している。 | □ | ○ | |
| | 児童センター施設管理運営事業 | 児童センターの利用者に環境問題や施設の衛生管理について理解が図れるよう周知をしながら、施設内のごみ箱を撤去し、利用者に持ち込みごみの持ち帰りを徹底した。 | 事務室内にごみ箱をひとつ設置する以外、施設内(飲食場所、トイレを含む)のごみ箱を撤去し、飲食物や紙オムツなど利用者が持ち込まれたごみの持ち帰りを徹底した。 | ○ | | 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ | | |
| 207 | たい身体障がい者福祉センター | 蓄熱電力の使用(障がい者福祉センター) | 夜間作られている電気を昼間の給湯等に使用。 | 蓄熱電力を使用し、002の排出およびコストダウンに努めた。 | ○ | | 平成18年度 継続して運用 平成20年度 継続して運用 平成21年度 継続して運用 平成22年度 継続して運用 平成23年度 継続して運用 | □ | ○ | |
| 208 | 斎場 | 斎場整備事業 | 節水型器具・センサー式照明の採用 | 節水型器具・センサー式照明の設置 | ○ | | 平成19年度・平成20年度に一部照明器具を交換する際、節電能力の高い蛍光灯に変わった。 | □ | ○ | |

| 施策 | 整理番号 | 施設名 | 事業・取組名 | 事業・取組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------------|--|---|---|------------|--|---|----|-------|
| | 209 | 交通公園 | 交通公園管理運営事業 | 建物内の温度を常時監視し、適正な温度管理を行う。 | 体験学習施設1階および2階の温度監視を行った。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 (震災による影響あり) | □ | ○ |
| | 210 | まちづくり事務所 | まちづくり事務所維持管理経費 | 南面コピーの徹底、照明の消灯の励行、OA機器の電源オフの励行 | 支障のない範囲において照明の消灯、OA機器の電源OFFを実施し、紙資源の原料をなるべく両面印刷を心がけた。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | | | ごみの分別 | 資源ごみの分別の励行 | 缶、ペットボトルなどの資源ごみについて分別しリサイクルに努めた。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | 211 | 高岡公民館 | 節電・節水の奨励 | 節電・節水の協力表示を館内に掲示し、利用者へ呼びかけをしている | 節電・節電等のポスターを館内各所に掲示 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | 212 | 美浜公民館 | 節電・節水の奨励 | 節電・節水の協力表示を館内に掲示し、利用者へ呼びかけをしている | 節電・節電等のポスターを館内各所に掲示 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | 213 | 中央図書館 | 浦安市刊行資料の充実 | 浦安市で刊行された資料を収集・整理し、市民に啓発や学習の機会を提供する。 | 継続して実施 | ○ | | 平成19年度 関連資料数の増加 平成20年度 関連資料数の増加 平成21年度 関連資料数の増加 平成22年度 関連資料数の増加 平成23年度 関連資料数の増加 | △ | ○ |
| | 214 | 総合体育館 | 効率的な空調稼働等によるエネルギー削減 照明の減灯によるエネルギーおよび電球の削減 紙の両面活用 持ち込みごみの持ち帰り推進 エコキャップの推進 | 外気温・室温の測定および体感を定期的に実施し、無駄のない空調運転を行う。 競技に支障が出ない範囲で電球を引くと共に、大会使用については主催者に全点灯から7分の4点灯へ減灯の協力を依頼。 裏紙利用の徹底、ネットワーク利用を促進し、紙資源の使用量を減らす。 大会主催者と協力し、大会役員・参加者にごみ持ち帰りを呼びかけている。 ペットボトルのキャップを回収し、再資源化。 | 外気温・室温の測定および体感を2時間ごとを実施し、空調運転状況をチェック。こまめに停止するよう努めた。 裏紙利用の徹底。ネットワーク利用促進。 大会パンフレット等に可能な限りごみ持ち帰りの案内を入れてもらうよう要望。また、当日の連絡時にも呼びかけを実施。 館内8カ所に専用の回収箱を設置し、回収後NPO法人エコキャップ推進協会に寄贈。 | ○ | 平成19年度 2時間ごと温度測定・体感 平成20年度 2時間ごと温度測定・体感 平成21年度 2時間ごと温度測定・体感 平成22年度 2時間ごと温度測定・体感 平成23年度 2時間ごと温度測定・体感 ※2時間は各室場の貸し出し単位。利用者入れ替えの時間に実施 | □ | ○ | |
| 市役所等における節電・節電等の省資源・省エネルギーの取組みを積極的に推進し、市民・事業者等へ省資源・省エネルギー型ライフスタイルの普及、啓発を図ります。 | 215 | 中央武道館 | 光熱水費削減事業 ごみ分別事業 紙資源削減事業 紙資源有効化事業 CO2削減事業 | ・館内温度変更27～28℃ ・省エネ型電球利用 ・外気冷房実施 ・充電器電池の使用 ・ごみの分別細分化 ・メールおよび共有ファイルなどの積極的活用 ・エコキャップを回収し、ごみ焼却せしめリサイクル業者に譲ることでCO2削減に繋がっている。 | ・第1第2武道館デジタル温度計にて設定後、28℃±1℃にて室温温度設定 ・事務室29℃設定(夏)19℃設定(冬) ・夏場夜間28℃以下(夜間は外気取り入れ) ・単三電池を充電式に変更し、一般電池を使用しない ・資源ごみのBOX作成 ・メール等の積極的使用による紙資源の削減 ・裏紙などの使用による紙資源の有効活用 ・館内エコキャップ回収BOXを設置し、平成21年度は378kgのCO2削減に繋がった。 | ○ | | 平成19年度 継続実施 平成20年度 継続実施 平成21年度 継続実施 平成22年度 継続実施 平成23年度 継続実施 | △ | ○ |
| 公共施設や民間施設における雨水利用を推進します。 | 216 | 特別養護老人ホーム | 雨水再利用 | 施設内の給水システムにおいて、職員が使用するトイレを限定し雨水を再利用した水として使用する。 | 雨水は地下に専用雨水槽と再生設備を完備しており、24時間でシステムが稼働している。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ |
| | 217 | 浦安1駅前デイサービス | 雨水再利用 | 施設内の給水システムにおいて、職員が使用するトイレを限定し雨水を再利用した水として使用する。 | 雨水は地下に専用雨水槽と再生設備を完備しており、24時間でシステムが稼働している。 | ○ | | データ記録なし | □ | ○ |
| | 218 | 斎場 | 斎場整備事業 | 雨水利用、雨水貯留施設(160㎡)を設置し植栽等への散水に利用 | 雨水貯留施設(160㎡)を設置し、植栽等への散水に利用 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | 219 | 交通公園 | 交通公園管理運営事業 | 雨水を貯水し、洗浄水として使用する | 動物舎洗浄水として雨水を利用してはいたが、震災の影響により停止中。平成24年2月7日復旧工事終了。 | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 年間約900㎡の再利用 平成23年度 停止(震災による影響) | □ | ○ |
| | 220 | 教育施設課 | 学校施設雨水利用 | 学校建設時に雨水の再利用設備を取り入れ、トイレ用水やグラウンド散水に利用する。 | 平成26年4月開校の第9中学校の実施設計において、雨水再利用設備の検討を行った。 | ○ | | 平成17年度 明海南小学校・明海中学校、高洲北小学校で採用 平成21年度 東野小学校建設 東野小学校で採用 | □ | 未定 |
| | 221 | 当代島公民館 | 雨水再利用 | 屋根などに降った雨水を地下の貯水槽に一度貯め、簡易ろ過機でろ過してトイレの洗浄水として利用する。 | 当代島公民館にて雨水を貯留し、トイレの洗浄水で再利用している。 雨水再利用 1,243㎡ | ○ | | 平成8年度の開館時より雨水を利用している。 平成22年度より、メーターを設置し使用水量の計測を行う。 平成22年度 1,191㎡ 平成23年度 1,233㎡ | □ | ○ |
| | 222 | 日の出公民館 | 雨水再利用 | 屋根などに降った雨水を地下の貯水槽に一度貯め、簡易ろ過機でろ過してトイレの洗浄水として利用する。 | 同左 | ○ | | 平成10年度の開館時より雨水を利用している。 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|----|------|---------|----------------------|--|--|------------|------------|---|----|-------|
| | 223 | 総合体育館 | 雨水・シャワー排水再利用 | 雨水およびプール強制シャワー排水を、トイレ用水として再利用する。 | 雨水およびプール強制シャワー排水を、トイレ用水として再利用した。 | ○ | | 平成19年度 通年で実施 平成20年度 通年で実施 平成21年度 通年で実施 平成22年度 通年で実施 平成23年度 通年で実施 | □ | ○ |
| | 224 | 消防本部総務課 | 雨水再利用 | 消防庁舎の給水システムにおいてトイレを限定し雨水を再利用した水として使用する。 | 消防庁舎トイレにおいて雨水を再利用した。 | ○ | | 平成20年度 通年で実施 平成21年度 通年で実施 平成22年度 通年で実施 平成23年度 通年で実施 | □ | ○ |
| | | システム | 雨水再利用 | 1-2階・3階の屋上緑化部分の雨水として雨水を再利用する。 | 専用雨水槽と再生設備を整備している。 | ◎ | | 平成22年度 新設 | □ | ○ |
| | | 福祉センター | 雨水再利用 | 障がい福祉センター内のトイレに雨水を再利用して使用する。 | 専用雨水槽と再生設備を整備している。 | ◎ | | 平成15年度 新設 | □ | ○ |
| | 追加 | 建築指導課 | 長期優良住宅認定等申請に係る事務 | 平成21年6月4日から「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」の施行により、長期優良住宅建設等計画を作成し、認定等の申請をされた建築物について、計画を審査し、認定等を行っている。また、維持保全について、啓発を行っている。良好な住宅ストック(構造の安定、劣化対策、温熱環境他)の形成及び維持保全が図られることにより、住生活の向上及び環境負荷の低減を図る。 | 認定件数 86件 | ○ | | 平成21年度 28件 平成22年度 37件 平成23年度 83件 | □ | ○ |
| | 追加 | 建築指導課 | 省エネルギー法による届出に係る事務 | 平成21年1月より、「エネルギーの合理化に関する法律*省エネルギー法」に基づき、一定規模以上の住宅について、省エネルギー措置について計画をし、届け出ることを義務づけている。建築計画概要書の確認において、該当建築物の有無を確認し、指導することとしている。 | 実績 2件 | ○ | | 平成21年度 0件 平成22年度 0件 平成23年度 0件 | □ | ○ |
| | 追加 | 建築指導課 | 低炭素建築物新築等計画の認定等に係る事務 | 「都市の低炭素化の促進に関する法律*エコまち法」に基づき、低炭素建築物新築等計画の認定等業務を行うとともに、維持に係る指導を行う。 | 平成24年12月施行によるものであり、実績なし | ○ | | - | | 新規 ○ |
| | 225 | 環境保全課 | 雨水利用導入促進 | 民間施設や家庭における雨水利用が広がるよう、普及・啓発活動を推進する。 | ・家庭用雨水貯留タンクの設置に対する助成 ・雨水利用に関する事業や普及・啓発の方法などの情報収集 ・市内や近隣市のホームセンターおよび金物屋に助成事業の周知 | ○ | | 平成18年度 雨水利用自治体担当者会議出席 平成19年度 雨水利用自治体担当者会議出席 雨水利用に関する情報収集 平成20年度 雨水利用自治体担当者会議出席 雨水利用に関する情報収集 平成21年度 ・雨水タンク設置に対する助成事業開始 ・雨水利用に関する事業や普及・啓発の方法などの情報収集 平成22年度 ・雨水タンク設置に対する助成 ・雨水利用に関する事業や普及・啓発の方法などの情報収集 ・市内や近隣市のホームセンターおよび金物屋に助成事業の周知 平成23年度 ・雨水タンク設置に対する助成 ・雨水利用に関する事業や普及・啓発の方法などの情報収集 ・市内や近隣市のホームセンターおよび金物屋に助成事業の周知 | □ | ○ |
| | 226 | 環境保全課 | 低公害車導入推進事業 | 低公害車の導入を推進する。 | 低公害車保有台数 64台 低公害車新規導入台数 ハイブリッド 1台 ガソリン/LPG 4台 | ○ | | 低公害車保有台数 平成19年度 31台 平成20年度 32台 平成21年度 32台 平成22年度 36台 平成23年度 63台 | △ | ○ |
| | 227 | 環境保全課 | アイドリングストップ啓発 | 市民・事業者・潜在者に大気汚染防止キャンペーン等のイベントを利用して、アイドリングストップの周知・啓発を行う。 | 11月から1月の間に、浦安駅前および新浦安駅前にて、アイドリングストップ等のエコドライブの啓発グッズを配布した。 | ○ | | 平成19年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成20年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成21年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成22年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 平成23年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 | □ | ○ |
| | | | 事業者への周知・啓発 | 事業者に対し、大気汚染防止のための冬季対策(アイドリングストップ等のエコドライブ、自家用車による通勤の自粛等)の実施協力をお願い、啓発用ポスターの送付等を行う。 | 協力依頼件数 25事業者 1団体 | ○ | | 協力依頼件数 事業者 団体 平成19年度 23 1 平成20年度 56 1 平成21年度 24 1 平成22年度 24 1 平成23年度 25 1 | □ | ○ |
| | 228 | 都市政策課 | 公共交通機関整備促進事業 | 公共交通機関としての路線バスの利用を促進するとともに、バス利用者の利便性の向上を図るため、バス事業者が実施する事業に係る費用の一部を補助する。 | <路線バス> 復旧・復興事業を優先するため、平成23年度より実施していない。 | × | | 低床バス補助 上層補助 新路線補助 1C補助 平成19年度 10台 - 2路線 87台 平成20年度 9台 - 8路線 - 平成21年度 3台 - 3台 平成22年度 - 6カ所 - 平成23年度 - - - | □ | × |
| | 229 | 交通安全課 | 放置自転車撤去 | 市内三駅周辺の放置整理区域の放置自転車の撤去 放置自転車クリーンキャンペーンの実施(10月～11月) 駅周辺の商業施設との意見交換会の実施 | ・市内三駅周辺の放置整理区域の放置自転車の撤去 ・放置自転車クリーンキャンペーンの実施(10月～11月) ・自転車放置整理区域の変更 ・バリエード表示板の増設 ・商業施設における自転車駐車場の整備 1日あたりの放置自転車数(午前9時) 浦安駅 39台 新浦安駅 4台 舞浜駅 4台 | ○ | | 市内三駅の1日あたりの放置自転車数(午前9時) 浦安駅 新浦安駅 舞浜駅 平成19年度 202台 573台 12台 平成20年度 204台 222台 11台 平成21年度 187台 114台 10台 平成22年度 145台 40台 10台 平成23年度 71台 15台 7台 | △ | ○ |
| | 230 | 交通安全課 | 自転車駐輪場の整備 | 自転車駐輪場の整備・既存施設の増設・有効活用 | | ○ | | 自転車駐輪場整備状況 平成19年度 新浦安駅第7、舞浜駅第2の改修 平成20年度 - 平成21年度 浦安駅第3自転車駐輪場増設工事完了 平成22年度 新浦安駅第2自転車駐輪場増設工事完了 平成23年度 新浦安駅第3自転車駐輪場復旧工事完了 新浦安駅第3自転車駐輪場拡張工事 | △ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 | |
|---|------|-------|--|---|---|------------|----------------|---|----|-------|---|
| おさんぽバス等により、移動しやすい交通環境を整備をさらに進めていきます。 | 231 | 都市政策課 | コミュニティバス事業 | バス交通の不便地域の解消や高齢者等の移動制約者の利便性を確保するため、鉄道駅・病院・市役所や公民館等の公共施設を結ぶコミュニティバスを運行する。 | <医療センター線> 利用者数：582,253人 1日あたり便数：80便 1便あたり利用者数：20.1人 <舞浜線> 利用者数：748,363人 1日あたり便数：80便 1便あたり利用者数：25.8人 バス業者との協議 月1回以上 | ○ | | コミュニティバス 1日あたり1便あたり利用者数 便数 利用者数 平成19年度(市民病院線) 592,796人 80便 20.2人 平成20年度(市民病院線) 579,435人 80便 19.8人 平成21年度(舞浜線) 687,000人 80便 23.7人 平成22年度(医療センター線) 571,895人 80便 19.6人 平成23年度(舞浜線) 713,554人 80便 24.4人 平成24年度(医療センター線) 557,931人 80便 19.1人 平成25年度(舞浜線) 711,789人 80便 24.4人 平成26年度(医療センター線) 568,358人 80便 19.4人 平成27年度(舞浜線) 737,304人 80便 25.2人 | △ | ○ | |
| 学校教育や生涯学習において、省エネルギーに関する教育を推進します。 | 232 | 環境保全課 | 環境学習講座の実施 | 各小・中学校や公民館において環境学習専門委員が新・省エネルギーに関する授業を行う。 | 環境学習(出前講座等)実績 65回 | ○ | | 環境学習(出前講座等)実績 平成19年度 85回 平成20年度 100回 平成21年度 92回 平成22年度 63回 平成23年度 52回 | ▽ | ○ | |
| | 233 | 保育課 | 市内保育園、幼稚園、小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用しながら進めている。保育幼稚園課および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | | | □ | ○ |
| 学校教育や生涯学習において、省エネルギー教育を推進します。 | 234 | 生涯学習課 | 出前講座 | 出前講座は、市民団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を活かした実習を行うことにより、市民の市政に関する理解を深めるとともに学習機会の拡充を図るものである。生涯学習課では、各課より挙げられた講座メニューをまとめ市民に情報を提供し、市民より要望があった際に、講座の開催に係る調整を行っている。 なお、環境に関わる講座は以下のとおり。 ・工作やゲームでエコ体験！ ・エコ！省エネクッキング ・ソーラークッキング ・出前ピーナス ・浦安市環境基本計画と今後の取り組み方 ・浦安エコキッズになろう！ ・浦安エコファミリーになろう！ | 実施講座なし(環境に関わる講座) | ○ | | 平成19年度・環境を考えるⅠ(1件) 環境を考えるⅢ(3件) 浦安エコファミリーになろう！(1件) 平成20年度・環境を考えるⅢ(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう！(1件) 平成21年度・環境を考えるⅢ(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう！(1件) 平成22年度 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう！(3件) 平成23年度 工作やゲームでエコ体験！(1件) | □ | ○ | |
| | 235 | 中央図書館 | 環境問題関連資料の収集・貸出 | 「浦安市立図書館資料収集要綱」に則り省エネルギー関係の資料を収集することにより、市民の省エネルギー教育を推進する。 | さらなる資料の充実を図った。 | ○ | | 平成18年度 関連資料数の増加 平成21年度 関連資料数の増加 平成22年度 関連資料数の増加 平成23年度 関連資料数の増加 | △ | ○ | |
| 市民・事業者に、省エネルギーに関する情報提供を進めます。 | 236 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。 各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | 市の省資源・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止に関する啓発を行った。 日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者：7事業者) | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 | |
| | | | 環境保全行動推進事業(旧・もったいないプロジェクト) | 「もったいない」という言葉の「ものの本来の価値を無駄にすることなく、活かしていこう」とする精神をコンセプトに、市の率先行動をはじめとする地域全体の環境保全の取り組みを「もったいないプロジェクト」として展開している。 | 市の省資源・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止に関する啓発を行った。 日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者：7事業者) | ○ | | 平成19年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 平成20年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・出前講座(1回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者：14事業者) 平成21年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・出前講座(6回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(新規登録事業者：5事業者(認定)) 平成22年度 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・出前講座(1回) ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者：6事業者) | □ | ○ | |
| 市民・事業者と協働で策定する「環境配慮指針」の中で省エネルギーに関する項目を充実させ、省エネルギーに配慮した行動を促進します。 | 237 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。 各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | 市の省資源・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止に関する啓発を行った。 日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定 ・市の環境配慮指針「公共施設の計画・施工編」を活用 ・市民向け環境配慮指針「エコファミリー」活用 ・子ども向け環境配慮指針「エコチャレンジ」活用 ・事業者向け環境配慮指針「エコカンパニー」活用(認定事業者：7事業者) | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 | |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------|----------------|--|------------|------------|----------------|--------------------------|----|-------|
| 市民・事業者等と協働で、「地域省エネルギービジョン」を策定し、省エネルギーに取り組むための方向性を示します。 | 238 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。 各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |

(2)環境負荷の少ないエネルギー導入の推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|----------|-----------------|--|---|------------|------------|--|----|-------|
| 学校を含む公共施設において、太陽光発電、風力発電などの新エネルギーの導入に努めます。 | 239 | 防災課 | 災害対策事業 | 富岡中央公園、高洲中央公園および避難場所の防災倉庫について、太陽光発電設備による電力を採用している。 | 富岡中央公園、高洲中央公園および避難場所の防災倉庫について、太陽光発電設備による電力を採用している。 | ○ | | 平成19年度 富岡中央公園については太陽光発電・風力発電設備、高洲中央公園においては太陽光発電設備による防災倉庫の電力を採用している。 平成20年度 富岡中央公園、高洲中央公園においては太陽光発電による防災倉庫の電力を採用している。 なお、富岡中央公園の風力発電設備を老朽化により危険性が高いため撤去。 了徳寺大学にコンテナ式防災備蓄倉庫を1基設置した。倉庫の電力については、太陽光発電設備を採用している。 平成21年度 富岡中央公園、高洲中央公園においては太陽光発電設備による防災倉庫の電力を採用している。 平成22年度 富岡中央公園、高洲中央公園においては太陽光発電設備による防災倉庫の電力を採用している。 平成23年度 富岡中央公園、高洲中央公園においては太陽光発電設備による防災倉庫の電力を採用している。 | □ | ○ |
| | 240 | 財政課 | 新浦安駅前複合施設整備運営事業 | 新浦安駅前プラザにおいて、太陽光発電、風力発電の新エネルギーの取り組みを実施。 1. 屋上に風力発電3基、太陽光発電3基 ※風力発電1基と太陽光発電1基で1セットの装置。 地下駐輪場の照明の一部の電力を補っている 2. 屋外非常階段および屋上に太陽光発電1基ずつ合計2基 ※壁面緑化および屋上庭園への水の供給の弁の開け閉めを行うための動力 3. 立体駐車場前の車回しスペースに外灯用の太陽光発電1基 4. 屋上に風力発電、太陽光発電1セット ※屋上の遊戯場の照明に採用 | 新浦安駅前プラザの建設に伴い、自然エネルギーの推進を実施。 | ○ | | 自然エネルギーの推進を実施。 | □ | ○ |
| | 241 | 畜場 | 畜場整備事業 | 太陽光発電：2カ所ある駐輪スペースの屋根に太陽光発電パネルを設置。 発電能力 4.272kW | 2カ所ある駐輪スペースの屋根に太陽光発電パネルを設置。 平成21年5月19日現在、累計発電電力量9.187kWh | ○ | | 平成19年度 実施 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| | 242 | 道路整備課 | 自然エネルギーの活用 | 災害による停電にも点灯している街灯として、太陽光発電を利用したものを配置していく。 | なし | △ | | 平成19年度 若潮通りの一部、市道4-1号線の一部、幹線4号の一部に太陽光発電式の街灯(LEDタイプ)を16基設置 平成20年度 幹線5号および幹線9号の一部に太陽光発電式の街灯(LEDタイプ)を26基設置 平成23年度 なし | □ | ○ |
| | 243 | 教育施設課 | 学校施設新エネルギー導入 | 学校施設に新エネルギーを導入する。 | | ○ | | 平成21年度 東野小学校建設 太陽光発電を設置 定格出力 20kW 平成22年度 堀江中学校 太陽光発電を設置 定格出力 20kW | △ | 未定 |
| | 244 | 老人福祉センター | 老人福祉センター整備事業 | 老人福祉センター屋上に太陽光発電システムを設置し、照明の一部の電力を補っている 定格出力 10kW | 11,784kwh | ○ | | 発電量 平成21年度 10,544kwh 平成22年度 11,100kwh 平成23年度 10,919kwh | □ | ○ |
| | 245 | 高洲公民館 | 太陽光発電 | 公民館の屋根に太陽光発電を設置し、電気の一部を供給している。 | 公民館内の電力の約5%を供給している。 | ○ | | 平成22年度 開館 | ○ | ○ |
| | | | ワークステーション | 平成22年よりワークステーションに設置している。太陽光発電設備により、この施設の電力を補っている。 | ワークステーションにおいては太陽光発電により施設の電力を補っている。 | ◎ | | 平成22年度 新設 | □ | ○ |
| | | 消防本部総務課 | 自然エネルギーの活用 | 太陽光を利用した街灯の設置。 | 訓練場内に4基設置し活用している。 | ○ | | 平成19年度 消防庁舎新庁舎完成時より実施 (平成20年2月25日開庁) 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| ごみ焼却施設の余熱利用を促進します。 | 247 | クリーンセンター | ごみ焼却施設余熱利用促進事業 | ごみを焼却した後の廃熱を利用し発電を行い、施設内へ電力供給を行うとともに、冷暖房および給湯に利用している。また、隣接する畜場およびワークステーションにおいても、空調の熱源に利用している。 | 継続 | ○ | | 平成19年度 継続 平成20年度 継続 平成21年度 継続 平成22年度 継続 平成23年度 継続 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取組の概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|--------|----------------|---|--|------------|-----------------|---|----|-------|
| | 246 | 斎場 | 斎場整備事業 | エネルギー資源の有効利用としてクリーンセンターからの余熱を空調に利用する。 | エネルギー資源の有効利用としてクリーンセンターからの余熱を空調に利用している。 | ○ | | 平成19年度～平成23年度 実施 斎場は、クリーンセンターからの余熱を利用して空調を行っているが、近年クリーンセンターの老朽化による修理等で斎場の蒸気の供給が停止する傾向が出てきている。 | □ | ○ |
| | | ネットワーク | ごみ焼却施設余熱利用促進事業 | エネルギー資源の有効利用としてクリーンセンターからの余熱を床暖房に利用する。 | エネルギー資源の有効利用としてクリーンセンターからの余熱を床暖房に利用している。 | ◎ | | 平成22年度 新設 | □ | ○ |
| 風力発電の可能性を調査するための風況調査を行います。 | 248 | 環境保全課 | 風力発電の可能性の調査・検討 | 市内の臨海部において、風況観測の実施・結果の分析などを行なうことにより、風力発電施設導入の可能性を調査・研究する。 また、さらに他市の事例などの情報収集をして導入可能性を検討する。 | | 完了 | 調査完了のため(平成17年度) | 平成16年度 調査開始 観測期間:平成17年1月1日～平成17年3月31日 平成17年度 4月1日から12月31日まで観測し、その他条件、課題を整理した。 風力発電導入可能性調査の結果、平成17年の1年間行った風況調査で30m高で年平均風速が5.0m/sと好風況と言えないことや、騒音・震動・自然環境などの影響の可能性などから、本市における大型の風力発電導入は困難であると判断した。 | | 完了 |
| 住宅用太陽光発電システム等設置費等補助金を交付することにより、環境への負荷を低減し、エネルギーの有効利用の促進を図ります。 | 249 | 環境保全課 | 浦安エコホーム補助金事業 | 自ら居住し、または居住しようとする住宅に対象設備を設置する方(新たに対象設備が設置された住宅を購入する場合を含む)に、その設置費用の一部の補助を行う。 ・太陽光発電システム 25,000×最大出力キロワット数 上限100,000円 ・ガスエンジン給湯器 上限40,000円 ・二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器 上限30,000円 ・雨水貯留タンク 上限10,000円 | 助成件数 全171件 14,307,980円 ・太陽光発電システム 163件 14,228,000円 ・雨水貯留タンク 8件 79,980円 | ○ | | 住宅用太陽光発電システム等助成件数 平成19年度 17件 平成20年度 21件 平成21年度 129件 平成22年度 143件 平成23年度 149件 | △ | ○ |
| 学校教育や生涯学習において、新エネルギーに関する教育を推進します。 | 250 | 環境保全課 | 環境学習講座の実施 | 各小・中学校や公民館において環境学習専門委員が新・省エネルギーに関する授業を行う。 | 環境学習(出前講座等)実績 65回 | ○ | | 環境学習(出前講座等)実績 平成19年度 85回 平成20年度 100回 平成21年度 92回 平成22年度 63回 平成23年度 52回 | ▽ | ○ |
| | 251 | 生涯学習課 | 出前講座 | 出前講座は、市民団体等が主催する集客等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を活かした実習を行うことにより、市民の市政に関する理解を深めるとともに学習機会の拡充を図るものである。 生涯学習課では、各課より挙げられた講座メニューをまとめ市民に情報提供し、市民より要望があった際に、講座の開催に係る調整を行っている。 なお、環境に関わる講座は以下のとおり。 ・工作やゲームでエコ体験！ ・エコ！省エネクッキング・ソーラークッキング ・出前ビオナス ・浦安市環境基本計画と今後の取り組み方 ・浦安エコキッズになろう！ ・浦安エコファミリーになろう | 実施講座なし(環境に関わる講座) | ○ | | 平成19年度・環境を考えるⅠ(1件) 環境を考えるⅢ(3件) 浦安エコファミリーになろう(1件) 平成20年度・環境を考えるⅢ(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう(1件) 環境を考えるⅢ(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう(3件) 平成23年度 工作やゲームでエコ体験！(1件) | □ | ○ |
| | 252 | 中央図書館 | 環境問題関連資料の収集・貸出 | 「浦安市立図書館資料収集要綱」に則り新エネルギー関係の資料を収集することにより、市民の新エネルギー教育を推進する。 | さらなる資料の充実を図った。 | ○ | | 平成19年度 関連資料数の増加 平成20年度 関連資料数の増加 平成21年度 関連資料数の増加 平成22年度 関連資料数の増加 平成23年度 関連資料数の増加 | △ | ○ |
| 市民・事業者等と協働で、「地球新エネルギービジョン」を策定し、新エネルギー導入の方向性を示します。 | 253 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「クリーンエネルギービジョン」を策定する。 各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的な連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |

(3)ヒートアイランド対策の推進

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取組の概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 | |
|--------------------------------|------|-------|---|---|--|------------|------------|--|----|-------|--|
| 省エネルギー、環境負荷の少ないエネルギー導入を推進します。 | 254 | 関係課 | 資料編(Web版) 19～27ページ | 資源・エネルギー・地球環境問題 (1)省資源・省エネルギー対策の推進 (2)環境負荷の少ないエネルギー導入の推進 参照 | | | | | | | |
| 自動車排出ガス対策を推進します。 | 255 | 関係課 | 資料編(Web版) 1～3ページ | 大気環境 (2)自動車排出ガス対策 参照 | | | | | | | |
| 環境負荷を少なくするためにライフスタイルの改善を促進します。 | 256 | 環境保全課 | 打ち水大作戦 | ヒートアイランド現象を少しでも緩和する試みとして、打ち水大作戦本部(NPO法人日本水フォーラム)が中心となり、環境問題への取り組みのきっかけになるように掲げ実施する。 | ・東野児童センターで打ち水を実施 7月:1回開催 8月:9回開催 | △ | | 平成19年度 8月1日(金) 12:00～新浦安駅前広場にて打ち水大作戦を実施 平成20年度 7月22日(水) 14:00～新浦安駅前広場にて打ち水大作戦を実施 平成21年度 7月23日(木) 16:00～新浦安駅前広場にて打ち水大作戦を実施 平成22年度 9月6日(月) 10:20～10:40 高洲北小で実施 9月10日(金) 11:35～12:20 美浜南小で実施 平成23年度 7月15日(金) 10:20～10:40 高洲北小で実施 | □ | ○ | |
| | 257 | 関係課 | 新エネルギーや省エネルギーに関する普及啓発活動などにより、ライフスタイルの改善を促進している。 | また、ライドリンクストップ等のエコドライブの推進のための啓発等を実施し、自動車の効率的な利用を推進している。 | | | | | | | |
| 公共施設、民有地の緑化を推進します。 | 258 | 関係課 | 資料編(Web版) 11～14ページ | 身近な緑 (1)公園・緑地の整備 (2)緑化の推進 (3)自然とのふれあいの推進 参照 | | | | | | | |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|------------------------|------|-------|---|------------------------------------|------------|------------|------------|---|----|-------|
| 「水と緑のネットワーク」の形成を推進します。 | 259 | 関係課 | 公園、緑地の整備を図るとともに、公園を結ぶ沿道の緑化や緑地、海岸、河川等の空間を保全し、うるおいのある緑豊かな環境の創出を図っている。 | | | | | | | |
| 建築物や舗装面の遮熱性等を高めます。 | 260 | 道路整備課 | 遮熱性、保水性舗装 | ヒートアイランド対策として遮熱性舗装や保水性舗装を試験施工している。 | なし | ○ | | 平成19年度 なし 平成20年度 なし 平成21年度 なし 平成22年度 なし 平成23年度 なし | △ | 未定 |

(4)その他地球環境保全対策

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|-----------------------|--|--|------------|------------|---|----|-------|
| 酸性雨の測定調査を実施し、本市における酸性雨の実態把握に努めます。 | 261 | 環境保全課 | 酸性雨常時測定 | 中央図書館屋上に酸性雨自動分析装置を設置し、測定している。 | 酸性雨測定結果 pH平均値 4.9 pH5.6以下の回数 89回 | ○ | | 酸性雨測定結果 pH平均値 pH5.6以下の回数 平成19年度 4.9 83回 平成20年度 4.9 88回 平成21年度 5.0 86回 平成22年度 4.9 78回 平成23年度 4.9 81回 | □ | ○ |
| | 262 | 関係課 | 資料編(Web版) 1～4ページ 大気環境 | (1)大気監視体制の充実 (2)自動車排出ガス対策 (3)固定発生源対策の推進 参照 | | | | | | |
| 酸性雨の原因物質となる大気汚染の抑制に努めます。 | 263 | 関係課 | 資料編(Web版) 1～4ページ 大気環境 | (1)大気監視体制の充実 (2)自動車排出ガス対策 (3)固定発生源対策の推進 参照 | | | | | | |
| その他地球環境問題については、情報収集に努めるとともに、市の率先行動をはじめ、市民・事業者に対して環境学習等の啓発に努めます。 | 264 | 環境保全課 | 環境学習環境保全PR事業 | その他地球環境問題については、情報収集に努めるとともに、市の率先行動をはじめ、市民・事業者に対して環境学習等の啓発に努める。 | 市全体で、環境学習や環境保全PRを推進している。 | ○ | | 整理番号 230、247、253、266、316参照 | △ | ○ |

4 協働で進める、環境保全に積極的に取り組むまち

1. 環境教育・環境学習

(1)環境教育・環境学習の総合的取り組み

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------|--------------------|--|--|------------|----------------------|--|----|-------|
| 「ビーンズ計画」により進められているごみの減量・資源化事業については、情報収集に努めるとともに、市民への意識啓発および環境学習を引き続き行っていきます。 | 265 | ごみゼロ課 | ビーンズニュースの作成・配布 | ごみ減量・再資源化の必要性を啓発するため、ごみに関する情報紙であるビーンズニュースを作成し、全世帯に配布する。 | 年1回 vol.46 71,985部 | ○ | | ビーンズニュース 平成19年度 年1回発行 vol.38 70,380部 平成20年度 年2回発行 vol.39 72,000部 vol.40 71,706部 平成21年度 年2回発行 vol.41 72,749部 vol.42 72,570部 平成22年度 年1回発行 vol.43 72,589部 平成23年度 年2回発行 vol.44 72,589部 vol.45 72,859部 | □ | ○ |
| 市の総合的・計画的な環境学習の基本方針や仕組みづくりを進めます。 | 266 | 環境保全課 | 市の環境学習の基本方針・仕組みづくり | 環境学習の基本方針や方向性を定め、組織的な仕組みづくりに取り組む。 | 環境学習基本方針に基づき、環境学習アドバイザー制度の運用を開始 | ○ | | 平成19年度 検討 平成20年度 検討 平成21年度 環境学習基本方針を策定 平成22年度 環境学習アドバイザー制度の運用開始 平成23年度 環境学習アドバイザー制度の運用 | △ | ○ |
| | | | 浦安市の環境(子ども版) | 子どもたちが環境を理解することを目的とし、小学生4年を対象に浦安市の環境や地球温暖化などの地球環境問題を掲載した冊子を小学校の授業で活用する。 | | × | 「エコチャレンジ」と総合(平成20年度) | 平成19年度 市内小学4年生に配付 平成20年度 市内小学4年生に配付 | | × |
| 幅広い機関と連携して、環境学習教材の整備・活用を進めます。 | 267 | 郷土博物館 | 教育用コンテンツ | 市ホームページや学校施設内コンピュータを利用して歴史、文化などの博物館情報「郷土学習BOX」を提供する。 | 教育コンテンツの活用推進 | ○ | | 教育コンテンツ 平成19年度 教育コンテンツの活用推進 平成20年度 教育コンテンツの活用推進 平成21年度 教育コンテンツの活用推進 平成22年度 教育コンテンツの活用推進 平成23年度 教育コンテンツの活用推進 | □ | ○ |
| | | | 郷土博物館活用の手引き | 学校において、博物館を有効に利用するために具体的な授業の展開事例をまとめた手引き | 博物館活用体験事業を展開 | ○ | | 博物館活用体験事業を展開 | □ | ○ |
| 広報うらやすやインターネット、環境関連の啓発冊子、環境フェア等のイベント等を通して、市民、事業者、滞在者等に広く環境情報を提供し、環境教育・環境学習に関する啓発活動を行います。 | 268 | 全課 | | 各課における、啓発活動、環境教育を参照 | | | | | | |
| 関係機関と連携し、環境教育・環境学習を進めるとともに、環境活動団体、企業等が行う環境教育・環境学習への支援を行います。 | 269 | 環境保全課 | 環境教育・環境学習の推進 | 環境学習指導員の派遣、浦安市民の森の活用等において、関係部局と調整を図る。 | 環境学習アドバイザー 環境学習指導員の派遣 65回 参加人数 2,678人 浦安市民の森活用 市が活用した回数 1回 学校が活用した回数 7回 延べ1,815人(はまゆう山荘宿泊者数) | △ | | 平成19年度 ・環境学習指導員の派遣 85回 ・市民の森活用 延べ1,524人 平成20年度 ・環境学習指導員の派遣 100回 ・市民の森活用 延べ1,720人 平成21年度 ・環境学習指導員の派遣 92回 ・市民の森活用 延べ1,828人 平成22年度 ・環境学習指導員の派遣 63回 ・市民の森活用 延べ1,509人 平成23年度 ・環境学習指導員の派遣 52回 ・市民の森活用 延べ1,986人 | △ | ○ |
| | | | 環境フェアの実施 | 毎年6月が「環境月間」であり、環境について知ってもらう機会として「環境フェア」を開催し、環境保全活動に取り組む団体の活動の場として提供している。 | 参加団体数：18団体 | ○ | | 環境フェアの参加団体数 平成19年度 29団体 平成20年度 23団体 平成21年度 24団体 平成22年度 27団体 平成23年度 未実施 | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|---------|---------------|--|----------------|------------|------------|--|----|-------|
| 子どもたちの地域での環境活動の支援に向けて、子どもエコクラブ制度の活用を進めます。 | 270 | 環境保全課 | 子どもエコクラブ制度の推進 | 浦安市の小・中学生に自然への関心を持ってもらうために、子どもエコクラブ制度を活用してもらう。 | 子どもエコクラブ登録数 1件 | ○ | | 子どもエコクラブ登録数 平成19年度 2件 平成20年度 3件 平成21年度 1件 平成22年度 2件 平成23年度 2件 | □ | ○ |

(2)環境リーダー等の人材の確保

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|-----------------|---|--|------------|-------------------------------|---|----|-------|
| 市の率先行動として、自ら職員を対象として環境教育研修を行い、環境意識を高めます。 | 271 | 環境保全課 | 環境保全に係る職員研修 | 平成15年10月に制定した環境基本条例や平成17年1月に策定した環境基本計画などに掲げた理念、市の責務、施策の方向などに基づき、各職員や各部署で環境に配慮した取り組みが必要であることから、職員を対象とした研修会を随時開催。 | 未実施 | × | これまでの研修でマネジメントの概念は伝達できなかったため。 | 平成19年度 環境マネジメントシステム研修会の開催 平成20年度 環境マネジメントシステム研修会の開催 平成21年度 環境マネジメントシステム研修会の開催 平成22年度 環境マネジメントシステム研修会を開催 平成23年度 環境マネジメントシステム研修会を開催 | □ | × |
| ボランティア、環境活動団体、大学、事業者等、豊富な経験や高度な知見を持った人材の発掘・育成・活用を行います。 | 272 | 協働推進課 | ボランティア等市民活動促進事業 | ボランティア活動、特定非営利活動等、市民が行う営利を目的としない自由な社会貢献活動を支援するため平成14年1月に設置した浦安市市民活動センターを拠点に、ボランティア活動への支援を行う。 | 平成25年3月末 市民活動センター利用団体登録数 338団体 うち主たる活動分野が「環境保全」の団体数 26団体 | ○ | | 主たる活動分野が「環境保全」の団体数 平成19年度 23団体 平成20年度 24団体 平成21年度 24団体 平成22年度 23団体 平成23年度 24団体 | □ | ○ |
| | 273 | 指導課 | | 小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用しながら進めている。保育幼稚園および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | □ | ○ |
| | 274 | 郷土博物館 | 博物館ボランティア支援 | 博物館の運営に協力されているボランティア「もやいの会」の活動支援を行う。 | 館外研修会 1回 17人参加 | ○ | | 館外研修会 平成19年度 1回 12人参加 平成20年度 1回 20人参加 平成21年度 未実施 平成22年度 1回 19人参加 平成23年度 1回 14人参加 | □ | ○ |
| | 275 | 環境保全課 | エコライフ推進員制度 | 市民向けの環境配慮指針「浦安エコファミリー」の活用とあわせ、地球温暖化対策を地域に根付かせるために、環境にやさしい生活をしており、市に登録した市民を「エコライフ推進員」とする。 | | × | 制度見直しのため(平成22年度) | 平成19年度 制度について検討 平成20年度 制度について検討 平成21年度 制度について検討 | □ | × |

(3)環境学習の場と機会の創出

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|--------------|---|--|------------|-----------------------|---|----|-------|
| 市の率先行動として、自ら職員を対象として環境教育研修を行い、環境意識を高めます。 | 276 | 人事課 | 新規採用職員研修 | 新規採用職員研修に、市職員として積極的に取り組むべき環境保全活動(廃棄物の削減および再資源化の推進など)を説明するとともに、ごみ収集体験などを取り入れ、環境保全に関する意識を高めている。 | ごみ収集体験研修を実施 | ○ | | 平成19年度 ごみ収集体験研修を実施 平成20年度 ごみ収集体験研修を実施 平成21年度 ごみ収集体験研修を実施 平成22年度 ごみ収集体験研修を実施 平成23年度 未実施(震災の影響により、未実施) | □ | ○ |
| 海、川、緑、歴史、文化施設等の様々なフィールドを舞台に、関係機関との連携を図りながら、環境学習の場の創出を図ります。 | 277 | 環境保全課 | 浦安市民の森活用事業 | 群馬県高崎市吉淵町(旧倉淵村)の「浦安市民の森」を環境学習の場として活用する。 | 市民を対象に森林に親しむ講座を11月に実施した。 | ○ | | 平成19年度 森林に親しむ講座実施(6月)、青少年課との共催により小学生対象の自然体験学習実施(7月) 平成20年度 森林に親しむ講座実施(11月) 平成21年度 森林に親しむ講座実施(11月) 平成22年度 森林に親しむ講座実施(11月) 平成23年度 森林と親しむ講座実施(11月) | △ | ○ |
| | 追加 | 市民大学 | うらやす市民大学 | うらやす市民大学の授業科目の一つとして、「地球にやさしいうらやすの環境を守り創る」を実施する。授業を通して地球温暖化などの現状を理解し、環境に配慮した行動が実践していけるよう、諸問題を幅広く学ぶ。 | 「地球にやさしいうらやすの環境を守り創る」の講座(全21回)を実施し、10人が受講。 | ○ | | 平成23年度 14人受講(全11回) | □ | ○ |
| | 278 | 指導課 | 指導課幼稚園課 | 市内保育園、幼稚園、小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用しながら進めている。保育幼稚園および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | □ | ○ |
| | 279 | 生涯学習課 | 学校・地域連携推進事業 | 学校週5日制の実施に伴い、学校休業日等を有効に活用しながら、本市における学校と地域社会が連携し、子どもたちの体験活動等の機会の充実を図ることを目的として、その事業を推進する地域活動団体に支援を行う。 | | × | 平成22年度より廃止 | 学校・地域連携推進事業活動補助金 交付 平成19年度 1団体 平成20年度 1団体 平成21年度 1団体 | □ | × |
| | 280 | 青少年課 | 自然体験教室 | 小・中学生を対象に市川市行徳野鳥観察舎の鳥獣保護区で自然に生きている動植物を観察し、自然保護の意識を高めるとともに、情操豊かな子どもの育成に資する。 | | × | 水源の森自然体験教室に変更(平成18年度) | 平成18年度より 「水源の森自然体験教室」に変更 | | × |
| | | | 浦安市民の森自然体験教室 | 自然の中で体験活動を通じて、自然環境について学習するとともに、都会では感じることのできない生きながら自然を感じることで、情操の向上を図るとともに、グループ活動を通じて、おもしろい心を育てる。 | | × | | 平成19年度 浦安市民の森「ホテル鑑賞と環境学習」参加 26人 平成20年度 浦安市民の森「ホテル鑑賞と環境学習」参加 32人 平成21年度 浦安市民の森自然体験教室参加 23人 平成22年度 浦安市民の森自然体験教室参加 17人 | | × |

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|--------|--|---|---|-----------------|-------------------------------------|---|----|-------|
| 学校、郷土博物館、公民館、図書館等において、今後とも環境学習を推進します。 | 281 | 生涯学習課 | 出前講座 | 出前講座は、市民団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を活かした実習を行うことにより、市民の市政に関する理解を深めるとともに学習機会の拡充を図るものである。生涯学習課では、各課より挙げられた講座メニューをまとめ市民に情報を提供し、市民より要望があった際に、講座の開催に係る調整を行っている。 なお、環境に関わる講座は以下のとおり。 ・工作やゲームでエコ体験！ ・エコ！省エネクッキング・ソーラークッキング ・出前ビナーズ ・浦安市環境基本計画と今後の取り組み ・浦安エコキッズになろう！ ・浦安エコファミリーになろう | 実施講座なし(環境に関わる講座) | ○ | | 平成19年度 環境を考えるⅠ(1件) 環境を考えるⅢ(3件) 浦安エコファミリーになろう(1件) 平成20年度 環境を考えるⅢ(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう(1件) 平成21年度 環境を考えるⅢ(1件) 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう(1件) 平成22年度 工作やゲームでエコ体験！(4件) 浦安エコファミリーになろう(3件) 平成23年度 工作やゲームでエコ体験！(1件) | □ | ○ |
| | 282 | 中央公民館 | 家庭教育学級 | 子育てに関する問題を自主的な企画・運営で学んでいく | 実施なし | ○ | | 平成18年度 実施なし 平成21年度 エコクッキング 平成22年度 エコクッキング 平成23年度 実施なし | □ | 未定 |
| | | | エコ講座 | エコ講座として、夏・春・冬休みに子ども向けで実施する。 小学生対象・春休み 実施回数1回、14人が参加。 小学生対象・夏休み 実施回数2回、39人が参加。 幼児親子対象・冬休み 実施回数1回、31人が参加。 大人向け 実施回数3回、延べ28人が参加 | 小学生対象・春休み 実施回数1回、14人が参加。 小学生対象・夏休み 実施回数2回、39人が参加。 幼児親子対象・冬休み 実施回数1回、31人が参加。 大人向け 実施回数3回、延べ28人が参加 | ○ | | 平成20年度 現代的課題「紙すきをやってみよう！」 夏休みエコ工作①②・夏休みエコクッキング・大人のエコクッキング 平成22年度 春休みエコクッキング・エコクッキング～クリスマス料理～・親子のエコクッキング～クリスマス料理～・夏休みエコクッキング「夏野菜カレーと手作りナン」・夏休みエコ工作①「カラフルなエコキャンドル作り」・夏休みエコ工作②「カラフルなハガキ作り」 平成23年度 災害の時でも大丈夫！？エコ博士とエネルギーで遊ぼう・新春浦安で一番エコ博士はだれ！？カルタで勝負！・子どもエコ講座「オルゴールづくり」 | △ | ○ |
| | 283 | 堀江公民館 | 子ども環境講座 | 身近なことで環境問題について考える | 自然の大切さを直接見て、触れて人間・動物が健康に暮らせる自然環境を親子で考える機会とする。 | ○ | | 平成19年度 「親子自然観察教室」を実施 全4回 参加人数延べ 28組 平成20年度 「親子自然環境学習教室」を実施 全6回 参加人数延べ 64組 128人 平成21年度 「さき織りに挑戦」を実施 参加人数17人 平成22年度 「親子自然観察」を実施 2回 参加人数延べ 49人 21組 平成23年度 「親子自然観察」を実施 2回 参加人数延べ 40人 18組 | □ | ○ |
| | 284 | 日の出公民館 | 環境講座 | いろいろな視点から環境問題について学び、それに対する取り組みを知ることにより身近なレベルから自分たちのできることを考え、市民それぞれのライフスタイルに活かしてもらおう。 | 環境問題への市民意識を向上させるため次の講座を開設した。 「環境を考える講座」4回 「ベランダで野菜&ハーブ栽培」4回 | ○ | | 平成19年度 3回開催 平成20年度 9回開催 平成21年度 2回開催 平成22年度 5回開催 近年環境問題について、市民の意識も高まってきており、重要な主催事業の一つとして位置づけをしている。 平成23年度 4回開催 | □ | ○ |
| | 285 | 中央図書館 | 環境問題関連資料の収集・貸出 | 「浦安市立図書館資料収集要綱」に則り環境問題・公害・ISO14001等に関する図書資料を収集する。 | 更新資料の充実を図った。 | ○ | | 平成19年度 関連資料数の増加 平成20年度 関連資料数の増加 平成21年度 関連資料数の増加 平成22年度 関連資料数の増加 平成23年度 関連資料数の増加 | △ | ○ |
| | 286 | 美浜公民館 | アイデアいっぱい省エネクッキング | 家庭できる省エネの方法について調理を通じて学ぶ。その中で、参加者一人ひとりが環境問題に対して、再認識を持っていただく。 | | 完了 | 単年事業のため(平成20年度) | 平成20年度 公民館主催事業「アイデアいっぱい省エネクッキング」として1回実施。9人参加。 | | 完了 |
| | 287 | 高岡公民館 | 子ども環境講座 | 身近なことで環境問題について考える | 未実施 | × | | 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 平成23年度 実施 | □ | ○ |
| 環境学習講座の実施 | | | 身近なことで環境学習について考える | | 完了 | 単年事業のため(平成22年度) | 平成20年度 実施 平成21年度 実施 平成22年度 実施 | □ | 未定 | |
| 家庭教育学級 | | | 子育てに関する問題を自主的な企画・運営で学んでいく | | 完了 | 単年事業のため(平成21年度) | 平成21年度 実施 | □ | 未定 | |
| | 288 | 高洲公民館 | 子ども環境講座 | 小学生を対象に環境の大切さを学んでもらう。 | 夏休みと春休みに計4回実施 「レーシングカーを作る」 1回実施 21人参加 「コースターを作る」 1回実施 19人参加 「環境ゲームで遊ぶ」 1回実施 8人参加 「ダンボールで恐竜を作る」 1回実施 19人参加 | ○ | | 平成22年度 3回実施 「ダンボール工作」「紙すきうちわ」「廃食油からせっけん作り」 平成23年度 4回実施 「ダンボール工作」「廃食油からせっけん作り」「廃食油からキャンドル作り」「ダンボール小物入れ作り」 | ○ | ○ |
| 夏の子ども環境講座1 | | | 廃食油でエコキャンドルを作る | | × | 平成23年度より事業統合のため | 平成22年度 開館 | ○ | ○ | |
| 夏の子ども環境講座2 | | | ごみはリサイクルしようをテーマにごみを減らすことを学ぶ。 | | × | 平成23年度より事業統合のため | 平成22年度 開館 | ○ | ○ | |
| | | | 廃資源であるダンボールを利用して動物の小物入れを作る | | × | 平成23年度より事業統合のため | 平成22年度 開館 | ○ | ○ | |
| 公園および学校におけるビオトープづくりへの地域住民の参画等、市民が地球の環境を知る機会を創出に努めます。 | 289 | みどり公園課 | 公園建設事業(ビオトープ施設整備) | 新規公園整備にあたり、ワークショップ等で計画されたビオトープを設置する。(身近な自然とふれあえる場所) | | 完了 | 完了のため(平成19年度) | 平成19年度 1箇所 総合公園 | | 完了 |
| | 290 | 指導課 | 小・中学校では、環境学習、環境活動を地域との関わりや、身近な環境資源を活用し、学校の実情に応じて進めている。保育幼稚園および指導課では、情報収集や提供、市の関係部局や他団体・機関との連絡調整を行うことにより、これらの活動を推進している。 | | | | | | □ | ○ |
| 三番瀬を活用した環境学習を進めるとともに、これを補完、支援するための環境整備について検討していきます。 | 291 | 関係課 | 資料編(Web版) 9～10ページ 身近な水辺 (2)三番瀬の保全・活用 | | | | | | | |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|----|------|---------|--------|------------|------------|------------|------------|-------------------|----|-------|
|----|------|---------|--------|------------|------------|------------|------------|-------------------|----|-------|

2. 環境保全行動

(1)市による総合的な取り組み

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|---------|---|--|--|------------|----------------------------|--|----|-------|
| 環境マネジメントシステムにより環境に配慮した事業を市全体で推進します。 | 292 | 環境保全課 | 環境マネジメントシステム | 本市で環境方針を定め、環境負荷を低減させるような計画の立案・実施・点検・見直しを行うPDCAサイクルにより、市役所の事業活動全般を管理・改善する。 | 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む環境配慮事項を推進した。 | △ | | 平成19年度 全庁で取り組む配慮事項の調査実施 環境管理マニュアルの作成 自己宣言に向けての調査・研究 平成20年度 自己宣言、環境管理推進会議の開催 平成21年度 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成22年度 環境配慮指針(市の事務事業編・公共施設の運用編)をもとに全庁で取り組む配慮事項の調査を実施 平成23年度 環境負荷低減の取り組みを第3次浦安市公共施設における地球温暖化対策実行計画に基づいて実施。各所属へエコオプス活動の取り組みの目標を掲げさせ、環境管理(マネジメント)を実施 | □ | 未定 |
| 「浦安市地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化に配慮した取り組みを市全体で推進します。 | 293 | 環境保全課 | 浦安市地球温暖化対策実行計画に基づく省エネルギー対策の推進 | 浦安市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の公共施設における省エネルギー対策を推進する。 | 一般事務系公共施設のCO ₂ 排出量13,089t-CO ₂ (平成21年度比9.0%減) | ○ | | 温室効果ガス排出量(一般事務系公共施設) 平成19年度 12,954.849kg-CO ₂ 平成20年度 13,003.750kg-CO ₂ 平成21年度 13,481.384kg-CO ₂ 平成22年度 14,402.584kg-CO ₂ 平成23年度 12,496t-CO ₂ | □ | ○ |
| 「浦安市地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化に配慮した取り組みを市全体で推進します。 | 293 | 環境保全課 | チーム・マイナス6% (平成18年6月登録) | 浦安市としてチーム・マイナス6%に登録し、地球温暖化対策に市が率先して取り組むとともに、市民・事業者・消費者等の行動を促進するための周知・啓発を図る。 | ・冷暖房の適正な温度設定やアイドリングストップなど、これまでも行ってきた環境に配慮した行動のさらなる徹底を呼びかけるとともに、公共施設において適正な温度設定の実施をした。 ・市民に周知するためのポスターを作成・掲示するよう呼びかけ、市民への周知を図った。 | ○ | | 平成19年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成20年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成21年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成22年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 平成23年度 周知・啓発、環境に配慮した行動の実施 | □ | ○ |
| 情報化を推進し、ネットワークや電子媒体を有効かつ効率的に活用することにより、省資源・省エネルギーを推進します。 | 294 | 総務課 | 文書管理システム | 情報化を推進し、ネットワークや電子媒体を有効かつ効率的に活用することにより、省資源・省エネルギーを推進する。 | 平成19年2月から導入し、本市の総務系文書は、原則として文書管理システムにより作成し、電子決裁している。 | ○ | | 平成19年2月より紙文書と並行して導入し、文書管理システムによる起案、電子決裁を実施。 | □ | ○ |
| | 295 | 情報政策課 | グループウェア | 庁内の1人一台パソコンをネットワークで接続し、情報の共有化と業務の効率化を図る。 | グループウェアの運用を行った。グループウェアが使用可能なパソコン1,269台(平成24年度末) | ○ | | グループウェア使用可能パソコン 平成19年度 グループウェア更新 平成19年度末 1,154台 平成20年度末 1,169台 平成21年度末 1,221台 平成22年度末 1,249台 (情報政策課専業主機のみ) 平成23年度末 1,221台 | △ | ○ |
| | | | 汎用コンピュータ共同利用 | 市原市、佐倉市との3市共同で、民間のデータセンターに、汎用コンピュータを設置し、設備や機器、運用要員などを共同利用し、事務処理を行う。 | 住民記録システムをオープン化し、平成24年7月より新システムに移行した。 平成24年12月をもって市原市、佐倉市との汎用コンピュータ共同利用は終了し、平成25年1月から単独利用で税関係の電算処理や帳票印刷業務を行った。 | 廃止 | 汎用コンピュータの利用を終了するため(平成25年度) | 平成20年1月 市原市と共同利用を開始 平成20年12月 佐倉市と共同利用を開始 平成21年9月24日より、汎用コンピュータを利用した税業務の運用を開始 | △ | 完了 |
| 市が省資源・省エネルギー型製品、エコマーク商品当の環境負荷の少ない製品の購入を積極的に推進していきます。 | 296 | 全課 | 資料編(Web版) 19～26ページ 資源・エネルギー・地球環境問題 (1)省資源・省エネルギー対策の推進 | | | | | | | |
| 公共建築物の新築、改築などに当たっては、省エネルギー、太陽光や風力発電、雨水利用などの導入を進めるとともに、シックハウス対策をはじめとする環境にやさしい建材やリサイクル可能な建材の使用などの配慮ができるようなシステムづくりを検討します。 | 297 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。 各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |
| バリアフリーをはじめの人にやさしいまちづくり、施設整備を推進します。 | 298 | 障がい福祉課 | バリアフリーのまちづくりにおける関係部署との連携を図る | 点字ブロック、駅等におけるエレベーターの設置、公共施設等におけるバリアフリーなど、障がい者等から要望・意見等があった場合には、庁内関係部署との連携や関係者の情報提供を行うなどの対応を行う。 | 障がい福祉課には、要望・意見はなし。 | ○ | | 平成19年度 要望・意見なし 平成20年度 要望・意見なし 平成21年度 要望・意見なし 平成22年度 要望・意見なし 平成23年度 要望・意見なし | □ | ○ |
| | 299 | 高齢者支援課 | 老人クラブ建設等 | 老人クラブ等を新たに建設する際には、バリアフリーなどの施設整備に取り組む。また、既存の施設に際しても利用者からの要望・意見を積極的に取り入れ、より利用しやすい施設になるよう、対応を行う。 | 左記の取り組みをもとに、老朽化や狭あい化の著しかった2つのクラブ会館の整備工事を実施。 <工務物件> ・江川第一クラブ会館 ※自治会と合築 ・井天クラブ会館 | ○ | | 平成19年度 富士和会館新築 舞浜レインボーくらぶ会館増築 平成20年度 海風の街せなげ会館新築 平成21年度 海風の街これらから会、サンライズクラブ会館内装等改修工事(買付物件の利用) 平成22年度 特になし 平成23年度 特になし | □ | ○ |
| その他環境に配慮した指針づくりの検討を行います。 | 300 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。 各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |
| | | | 環境保全条例制定 | 環境基本計画に掲げた施策を市・事業者・市民、滞在者等の協働により推進するために、これまでの産業型公害対策とを主目的とする公害防止条例を廃止し、都市・生活型公害と地球温暖化問題への対策などを含む環境保全条例として新たに制定する。 | | 完了 | 制定が完了した。(平成20年) | 平成19年度 案案検討・環境審議会審議 平成20年度 浦安市環境保全条例案案について(答申)を環境審議会から頂き、平成20年第4回定例会に議案を提出し可決された。 平成20年12月25日に公布。 平成21年7月1日から施行。 | | 完了 |

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|----|------|---------|--------|------------|------------|------------|------------|-------------------|----|-------|
|----|------|---------|--------|------------|------------|------------|------------|-------------------|----|-------|

(2)自主的行動の促進

| 施策 | 整理番号 | 担当課・施設名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|----------|----------------|--|--|------------|----------------|--|----|-------|
| 市の環境に関する施策において、環境教育、環境学習の推進により、市民等の環境保全行動を促進します。 | 301 | 全課 | | 各々の取り組みで啓発している。 | | | | | | |
| 市民・事業者・滞在者等が実践する「環境配慮指針」を速やかに策定するとともに、周知、啓発を図ります。 | 302 | 環境保全課 | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |
| 「ビーンズ計画」による市民の廃棄物の削減・リサイクルのための活動を推進します。 | 303 | ごみゼロ課 | ビーンズ計画 | 市・市民・事業者によるごみの減量・再資源化を推進するための取り組みとして、「ビーンズ計画」を1991年(平成3年)にスタート。計画に基づきさまざまな取り組みを行う。 | 「ビーンズニュースの作成・配布」および「出前ビーンズ」などの事業を実施 | ○ | | 「ビーンズニュースの作成・配布」および「出前ビーンズ」などの事業を参照 | □ | ○ |
| ビーンズプラザ等において、市民が楽しくリサイクルに接することができる場をつくり、市民によるリサイクル活動を促進します。 | 304 | ビーンズプラザ | リサイクル講座事業 | 衣類のリフォーム、古布利用のぞうり、教習作り、パッチワーク教室や牛乳パック利用の紙作り、工作教室、廃びん利用のフラワー・ポトル作り、壊れたおもちゃの修理を行うおもちゃの病院などの開催を通し、ごみの減量、リサイクルをPRする。 | 講座数 12講座 参加人数 447人 | ○ | | 講座数 参加人数 平成19年度 13講座 2,497人 平成20年度 13講座 2,533人 平成21年度 13講座 5,010人 平成22年度 14講座 2,704人 平成23年度 12講座 2,590人 | □ | ○ |
| 郷土博物館、学校、社会教育施設、消費生活センター等の幅広い公共施設において、地球環境問題、身近な自然、環境にやさしい消費行動をはじめとする様々な分野の学習等を通して、環境保全活動を担う人材の育成に努めます。 | 305 | 関係課 | | 資料編(Web版) 26～27ページ 環境学習・環境教育 (1)環境教育・環境学習の総合的取り組み | | | | | | |
| 空き缶ポイ捨て防止、不法投棄防止、廃棄物の野外での焼却など屋外での燃焼行為などあらゆる機会において生活環境保全のための啓発を行います。 | 306 | 商工観光課 | 約り密マナー啓発事業 | 夏から秋にかけて、境川に約りに多くの人が訪れる。その来訪者を対象に、拡声器により、ごみの持ち帰り運動の啓発を行う。 | 作業員の確保ができないため、未実施 | × | 人員確保が困難なため | 啓発の実施経過 平成19年度 7月、8月、9月 1日3時間 24日間 平成20年度 作業員の確保ができないため未実施 平成21年度 作業員の確保ができないため未実施 平成22年度 作業員の確保ができないため未実施 平成23年度 作業員の確保ができないため未実施 | ▽ | × |
| ゴミゼロ運動の一環として、空き缶などの散乱、ごみの一斉清掃や散乱防止の啓発を行うキャンペーンを実施し、ごみの散乱防止と資源化促進の普及啓発を図ります。 | 307 | 環境レンジャー課 | ゴミゼロ運動推進事業 | 毎年5月30日をゴミゼロの日と定め、ごみの散乱防止と、再資源化促進の普及啓発を目的とし、浦安駅前および新浦安駅前にてゴミゼロ運動推進キャンペーンの実施。また、自治会・ボランティア団体等への支援の実施。 | ゴミゼロ運動事業実績 参加人数 24,119人 収集量 9,123kg うち空き缶 335kg | ○ | | 参加人数 収集量 うち空き缶 平成19年度 8,928人 6,166kg 68kg 平成20年度 6,972人 2,160kg 40kg 平成21年度 9,583人 6,550kg 200kg 平成22年度 22,252人 8,870kg 320kg 平成23年度 15,636人 17,460kg 160kg | □ | ○ |
| 廃食油の回収など家庭でできるごみの減量・再資源化対策に関する普及・啓発を推進します。 | 308 | ごみゼロ課 | 廃食油回収 | ごみの減量・再資源化のため、家庭から出る廃食油を回収し、せっけんにリサイクルしている。 | 廃食油回収量 2,649ℓ | ○ | | 廃食油回収量 平成19年度 3,915ℓ 平成20年度 4,185ℓ 平成21年度 4,104ℓ 平成22年度 3,942ℓ 平成23年度 3,420ℓ | □ | ○ |
| 自動車駐停車時のアイドリングストップの周知啓発を推進します。 | 309 | 環境保全課 | アイドリングストップ啓発 | 市民・事業者・滞在者に大塚平楽寺キャンパー等のイベントを利用して、アイドリングストップの周知・啓発を行う。 | 11月から1月の間に、浦安駅前および新浦安駅前にて、アイドリングストップ等のエコドライブの啓発グッズを配布した。 | ○ | | 平成19年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成20年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成21年度 アイドリングストップ啓発マグネット等の配布 平成22年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 平成23年度 アイドリングストップ啓発ファイル等の配布 | □ | ○ |
| 事業者に対して、環境に配慮した事業活動を促進するための啓発を推進します。 | 310 | 環境保全課 | 事業者への周知・啓発 | 事業者に対し、大気汚染防止のための冬季対策(アイドリングストップ等のエコドライブ、自家用車による運動の自粛等)の実施協力をお願い、啓発用ポスターの送付等を行う。 | 協力依頼件数 25事業者 1団体 | ○ | | 協力依頼件数 事業者 団体 平成19年度 23 1 平成20年度 56 1 平成21年度 24 1 平成22年度 24 1 平成23年度 25 1 | □ | ○ |
| | | | 環境アクションプラン策定事業 | 各主体が省エネルギーを推進するためのハード、ソフト面での取り組みや、新エネルギー導入などについての方針や方策を示す「グリーンエネルギービジョン」を策定する。各主体が日常生活や事業活動の中で環境に配慮すべき事項や、これらを活用して各主体の積極的かつ連携した取り組みを促進するための効果的な仕組みづくりをまとめた環境配慮指針を策定する。 | | 完了 | 策定したため(平成18年度) | 平成19年度以降 環境保全行動推進事業の中で活用 | | 完了 |

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-------|--------------------|--|---|------------|------------------------------|--|----|-------|
| 環境の保全活動を促進するため、事業者との環境保全協定の締結に努めます。 | 311 | 環境保全課 | 環境保全協定の締結 | 事業者の環境の保全活動を促進するため、事業者との環境保全協定の締結に努める。 | 環境保全協定締結事業者数 2社 | ○ | | 環境保全協定締結事業者数 平成19年度 2社 平成20年度 2社 平成21年度 2社 平成22年度 2社 平成23年度 2社 | □ | ○ |
| 事業者が行っている環境に配慮した活動の情報を市、市民が共有できる仕組みづくりを推進します。 | 312 | 環境保全課 | 環境情報提供事業 | 各種環境に係る情報を市のホームページ上で集約し、市民・事業者等への環境に関する情報提供を推進する。 | 各種環境に関する情報を集約して提供するため、市ホームページの環境情報を分類し、アクセスしやすい形にした。 | ○ | | 平成19年度 整理した情報を提供 平成20年度 整理した情報を提供 平成21年度 整理した情報を提供 平成22年度 整理した情報を提供 平成23年度 整理した情報を提供 | □ | ○ |
| 市・市民・事業者等の連携による計画の推進 | 313 | 環境保全課 | 環境基本計画推進に係るサポーター会議 | 環境基本計画に示した施策を、市・市民・事業者・滞在者等の協働で推進するため設置するもので、市民と事業者により構成し、計画の進捗状況について意見を述べるとともに、協働で進める上で特に重要となる施策、取組み等について意見を述べ、提案を行う。 | 未開催 | 完了 | | 平成19年度 2回開催 平成20年度 2回開催 平成21年度 3回開催 平成22年度 3回開催 平成23年度 未開催 | ▽ | × |
| | | | 環境基本計画推進に係る調査 | 環境基本計画に示した施策等を、市・市民・事業者・滞在者等の協働で推進するため、環境に関する市民・事業者・小中学生の意識や行動を把握することを目的に調査を行う。 | 市民、事業者、小中学生向けの意識調査を実施した。 ・市民調査 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女2,000人 回収結果：回収数1,092人（有効回収率54.6%） ・事業者調査 調査対象：市内の500事業所 回収結果：回収数221事業所（有効回収率44.2%） ・小中学生調査 調査対象：市立小学校6年生、中学校2年生計534人 回収結果：回収数534人（有効回収率100%） | × | 一定の期間毎に実施する方向で検討するため（平成17年度） | 平成17年度 市民、事業者、小中学生向けの意識調査を実施した。 ・市民調査 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女2,000人 回収結果：回収数1,045人（有効回収率52.3%） ・事業者調査 調査対象：市内の500事業所 回収結果：回収数201事業所（有効回収率40.2%） ・小中学生調査 調査対象：市立小学校6年生、中学校2年生計517人 回収結果：回収数517人（有効回収率100%） | | × |
| 市・市民・事業者等の連携による計画の推進 | 314 | こみせ口課 | 廃棄物減量等推進員 | 自治会での廃棄物減量活動や地域活動のリーダーとなってもらう。 | 廃棄物減量等推進員連絡会 開催 3回 （うち1回はクリーンセンター見学） 廃棄物減量等推進員研修会 開催 2回 | ○ | | 連絡会開催回数 平成19年度 2回 平成20年度 2回 平成21年度 3回 平成22年度 2回 平成23年度 2回 | □ | ○ |

(3)自主的行動の支援

| 施策 | 整理番号 | 担当課 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|---|------|-----------|-------------------|--|--|------------|------------|--|----|-------|
| 共同清掃、三香瀬の清掃をはじめとする市民による環境保全行動への協力、支援を推進します。 | 315 | 環境保全課 | 三香瀬を保全する市民の活動への支援 | 市民団体が主催する三香瀬クリーンアップ大作戦やミニクリーンアップなどに対して支援を行う。 | 未実施 | △ | | 三香瀬クリーンアップ大作戦(4～5月) (年度 参加人数 収集量) 平成19年度 788人 180kg 燃やせるごみ 890kg 平成20年度 400人 410kg 燃やせるごみ 390kg 平成21年度 300人 210kg 燃やせるごみ 390kg 平成22年度 480人 180kg 燃やせるごみ 230kg 平成23年度 未実施 三香瀬ミニクリーンアップ 平成19～22年度 毎月第1週日曜実施（ただし1月、5月除く。） 参加自治会数 ごみ収集量 平成19年度 57 66.14 t 平成20年度 59 72.94 t 平成21年度 62 67.20 t 平成22年度 62 58.02 t 平成23年度 62 68.43 t | □ | ○ |
| | 316 | 環境リベンジャー課 | 共同清掃事業 | 各自治会が主体となり、住民の自主的参加により行われる地域清掃に対し、器材の貸し出しや配付、ごみの回収といった支援を行う。 | 参加自治会数 65 ごみの回収量 50.78 t | ○ | | | | □ |
| 川をきれいにする市民の活動への支援を推進します。（再掲） | 317 | 協働推進課 | 市民活動補助金 | ボランティア活動、特定非営利活動など不特定かつ多数のものを利益増進に寄与することを目的とした市民が行う営利を目的としない自由な社会貢献活動を促進するため、市民活動団体が実施する活動に対して、その自主性を尊重し浦安市市民活動補助金を交付する。 ・自立促進事業補助金（はじめの一步） 会員確保を目的とした団体活動の宣伝など、団体の自立を促進するのに効果的な事業に補助金を交付する。 ・活性化事業補助金（ステップアップ） 1年以上活動している団体が主体性をもち、団体の活動を発展させるのに効果的な、公益性の高い事業に補助金を交付する。 | 河川の水質改善対策に該当する事業への交付状況：1団体（ステップアップ） | ○ | | 河川の水質改善対策に該当する事業への交付状況 ○自立促進事業補助金（はじめの一步） 平成19年度 該当なし 平成20年度 該当なし 平成21年度 該当なし 平成22年度 該当なし 平成23年度 該当なし ○活性化事業補助金（ステップアップ） 平成19年度 該当なし 平成20年度 該当なし 平成21年度 1団体 平成22年度 1団体 平成23年度 1団体 | □ | ○ |
| | 318 | 環境保全課 | 川をきれいにする市民の活動への支援 | 江戸川の水質環境を保全するために、江戸川流域自治体と住民が連携しながら、江戸川の水質改善に努める。 | 江戸川を守る会参加。（江戸川水質調査、視察研修会開催、機関紙発行、河川美化推進員会議等） | ○ | | 平成19年度 江戸川を守る会参加 平成20年度 江戸川を守る会参加 平成21年度 江戸川を守る会参加 平成22年度 江戸川を守る会参加 平成23年度 江戸川を守る会参加 | □ | ○ |
| 市民参加による資源回収を推進します。 | 319 | こみせ口課 | 資源回収補助事業 | 資源の有効利用と環境保護およびごみの減量、再資源化を図るため、市民参加による資源回収の拡大を図る。 | 年間回収量 5,146,150kg | ○ | | 年間回収量 平成19年度 5,754,990kg 平成20年度 5,327,430kg 平成21年度 5,325,080kg 平成22年度 5,287,620kg 平成23年度 5,318,150kg | □ | ○ |

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|--|------|-------|----------|--|-------------------------------------|------------|------------|--|----|-------|
| 市民活動支援補助金等により団体の自主的な市民活動の支援を推進します。 | 320 | 協働推進課 | 市民活動補助金 | ボランティア活動、特定非営利活動など不特定かつ多数のものを利益増進に寄与することを目的とした市民が行う営利を目的としない自由な社会貢献活動を促進するため、市民活動団体が実施する活動に対して、その自主性を尊重し浦安市市民活動補助金を交付する。 ・自立促進事業補助金(はじめての一步) ・会員確保を目的とした団体活動の宣伝など、団体の自立を促進するのに効果的な事業に補助金を交付する。 ・活性化事業補助金(ステップアップ) 1年以上活動している団体が主体性を持ち、団体の活動を発展させるのに効果的な、公益性の高い事業に補助金を交付する。 | 河川の水質改善対策に該当する事業への交付状況：1団体(ステップアップ) | ○ | | 河川の水質改善対策に該当する事業への交付状況 ○自立促進事業補助金(はじめての一步) 平成19年度 該当なし 平成20年度 該当なし 平成21年度 該当なし 平成22年度 該当なし 平成23年度 該当なし ○活性化事業補助金(ステップアップ) 平成19年度 該当なし 平成20年度 該当なし 平成21年度 1団体 平成22年度 1団体 平成23年度 1団体 | □ | ○ |
| 環境保全活動に取り組む団体の相互交流や活動の場の提供等により、環境ボランティア等の育成・活動の支援を推進します。 | 321 | 環境保全課 | 環境フェアの実施 | 毎年6月が「環境月間」であり、環境について知ってもらう機会として「環境フェア」を開催し、環境保全活動に取り組む団体の活動の場として提供している。 | 参加団体数：18団体 | ○ | | 環境フェアの参加団体数 平成19年度 29団体 平成20年度 23団体 平成21年度 24団体 平成22年度 27団体 平成23年度 未実施 | □ | ○ |

5 計画の推進体制・進行管理

(1)推進体制の整備

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|-------------|------|-------|-------------|---|--|------------|------------|---|----|-------|
| 環境審議会 | 322 | 環境保全課 | 環境審議会 | 環境基本法および環境基本条例に基づき設置されるもので、市民・事業者・学識経験者で構成され、環境の保全に関する重要な事項について市長に意見を述べるなど、環境保全に関する基本的事項の審議を行う。 | ■審議会 会議を3回開催 議題 第1回 ・平成23年版環境基本計画年次報告以降の取り組みと方向性について、(震災後の下水道復旧、緑の防滞壁やふるさと復興会議・復興計画(にかる環境の方向性) 第2回 ・浦安市の環境について ・浦安市第2次環境基本計画の策定について 第3回 ・平成24年版環境基本計画年次報告書に基づく環境基本計画の進捗状況について ■部会 浦安市第2次環境基本計画の策定に当たり、必要な事項について検討をするため、会議を3回開催 議題 ・意識調査結果について ・計画の主要事項について ・中間報告書(骨子)について | ○ | | 平成19年度 6回開催 平成20年度 7回開催 平成21年度 3回開催 平成22年度 2回開催 平成23年度 3回開催 | □ | ○ |
| 廃棄物減量等推進審議会 | 323 | ごみゼロ課 | 廃棄物減量等推進審議会 | 一般廃棄物の減量等に関する事項について、市長の諮問に応じ、調査および審議を行う。 | 会議5回開催 議題 第1回：一般廃棄物処理基本計画について 第2回：一般廃棄物処理基本計画の改定について 第3回：一般廃棄物処理基本計画の改定について、使用済小型電子機器回収の制度の概要 第4回：一般廃棄物処理基本計画最終案の確認について、パブリックコメントの実施について 第5回：パブリックコメントの実施結果について、答申書について、粗大ごみ処理手数料(品目別収集運搬手数料)の改定について | ○ | | 平成19年度 3回開催 平成20年度 4回開催 平成21年度 3回開催 平成22年度 2回開催 平成23年度 4回開催 | □ | ○ |
| 環境基本計画推進会議 | 324 | 環境保全課 | 環境基本計画推進会議 | 環境基本計画に掲げた環境政策・環境保全行動の効果的な推進および総合的・横断的な調整を図るため、庁内関係部署で組織する「環境基本計画推進会議」により、環境政策推進のための合意形成を図る。 | 環境基本計画に基づき推進した総合体育館ES00事業などの各種事業は、関係課との個別調整や協働体制により円滑に進めることができたため、総合的・横断的な調整を目的とする本会議については開催していない。 | × | | 平成19年度 調整を必要とする会議は開催していない 平成20年度 調整を必要とする会議は開催していない 平成21年度 調整を必要とする会議は開催していない 平成22年度 調整を必要とする会議は開催していない 平成23年度 調整を必要とする会議は開催していない | ▽ | ○ |

(2)推進の進行管理

| 施策 | 整理番号 | 担当課名 | 事業・取組名 | 事業・取り組みの概要 | 平成24年度実施状況 | 平成25年度実施状況 | 廃止理由(廃止年度) | 経年経過(平成19年度～23年度) | 傾向 | 今後の予定 |
|----------------------|------|-------|--------------------|--|---|------------|------------|---|----|-------|
| 市・市民・事業者等の連携による計画の推進 | 325 | 環境保全課 | 環境基本計画推進に係るサポーター会議 | 環境基本計画に示した施策を、市・市民・事業者・滞在者等の協働で推進するため設置するもので、市民と事業者により構成し、計画の進捗状況について意見を述べるとともに、協働で進める上で特に重要となる施策、取組み等について意見を述べ、提案を行う。 | 未開催 | 完了 | | 平成19年度 2回開催 平成20年度 2回開催 平成21年度 3回開催 平成22年度 1回開催 平成23年度 未開催 | ▽ | × |
| 報告書の作成・公表 | 326 | 環境保全課 | 環境基本計画年次報告書の作成・公表 | 環境基本計画の進行管理を行うために各主体が共有できる環境に関する情報集として平成18年度から環境基本計画年次報告書を作成・公表している。 | 年次報告書に基づき、環境審議会、広報やホームページ等とおして、市民、事業者との協働により環境基本計画の点検・評価などを行った。 | ○ | | 平成19年度 年次報告書の作成・公表、環境基本計画の点検・評価 平成20年度 年次報告書の作成・公表、環境基本計画の点検・評価 平成21年度 年次報告書の作成・公表、環境基本計画の点検・評価 平成22年度 年次報告書の作成・公表、環境基本計画の点検・評価 平成23年度 年次報告書の作成・公表、環境基本計画の点検・評価 | □ | ○ |

保育園、幼稚園、小・中学校における環境学習・環境活動

■ 保育園における環境学習・環境活動の取り組み

平成 24 年度実績

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|--|--|
| 当代島保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・園児と共に草花を育てる。 ・ごみの分別 ・緑のカーテンづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・花の栽培・水やり (アサガオ・ヒマワリ・フウセンカズラ・ほうせんか・おしろいばな・コスモス・ミニひょうたん・ダリヤ・じゃがいも) ・食育 (給食の食材の皮むき) ・小動物の飼育 (カブトムシ・カタツムリ・アゲハチョウ) ・園児とごみの分別を行い、5歳児が毎日各クラスのごみを収集する |
| 猫実保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・紙ごみの分別 (全職員、2・3・4・5歳児クラス) ・花、野菜を育てる。(2歳児～5歳児) ・部屋の日差しの強さや暑さの緩和を図る。 ・プールで使用した水をペットボトルにつめ、園庭に打ち水をした(5歳児) | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみと紙ごみ入れるごみ箱の説明を各クラスで園児に伝える。 (2歳児クラス以上には分別ゴミ箱を配付) (0・1歳児クラスは職員が分別) ・花や野菜を植え、育つ過程や育てる楽しみを知る。 (ヒマワリ・アサガオ・オクラ・ゴーヤ・ピーマン・きゅうり・フウセンカズラ・ひょうたん・ミント) ・事務所の窓にゴーヤのつるや葉をはわせることで、温度変化があったので、クラスにも普及させていく。 ・小動物の飼育 (アゲハチョウ・カブトムシ・めだか) |
| 入船保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収 (紙資源の分別) ・園児によるごみ収集 (毎日) ・野菜や草花の栽培水やり。 ・身近な生き物を飼育する ・緑のカーテン栽培。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園児の当番活動による、ごみの分別収集 ・栽培活動 約 50 種類の植物を栽培・収穫し、食物ができる過程を知る。その収穫した食材を使用しての活動を行う。 (園庭やプランターに、園児とともに、野菜や草花を植え、園児による水やり、収穫をする。収穫野菜は、スタンプ遊びや、造形活動の材料として使用) ・小動物の飼育活動 命の大切さや、成長する時の体の変化を学ぶ。 (アゲハチョウ・オタマジャクシ・とんぼ・カブトムシ・クワガタムシ・ザリガニ) |
| 富岡保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス (3・4・5歳児) でごみの分別をする。(職員・5歳児) ・野菜や草花を栽培する。 ・身近な生き物を飼育する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを分けて捨てることにより、また使えることを知る。 ・水やりをして、生長を観察し、収穫野菜は、スタンプ遊びや、造形活動の材料として使用。 (ミニキャロット・トウモロコシ・ゴーヤ・オクラ・ピーマン) ・水やりをして花を育て、色水遊びや種取りをし、次年度の種まきにつなげる。 (アサガオ・ヒマワリ・チューリップ・フウセンカズラ・おしろいばな) ・毎日、えさを与え、飼育箱を清掃して、生き物に対して愛情を持って育てることを知る。生き物の成長の変化を知る。 (アオムシ・ザリガニ・かぶとむし・クワガタ・かたつむり・めだか) |

資料編（Web版）

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|--|
| 東野保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜、草花を育てる ・緑のカーテンづくり ・ごみの分別（職員） ・紙ごみの分別回収（3・4・5歳児） ・エコキャップ回収 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培、収穫 水やりをして、植物の育ちを知り、遊びにつなげ楽しむ。 （おしろいばな・アサガオ） ・緑のカーテン （ゴーヤ・アサガオ・フウセンカズラ） ・小動物の飼育活動 小動物に関わり、成長や変化を知る。 （ザリガニ・キンギョ・メダカ・カブトムシ・アゲハチョウ） ・3クラスで同じ分別ボックスを利用し、園児にわかりやすくし、分別の必要性を知らせる。 ・家庭にも知らせることで、家族ぐるみの回収につながり、回収したものがどのように利用されているか知らせていく。 |
| 日の出保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進 ・ごみの分別 ・リサイクル | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培 （かぼちゃ）（遊具に活用） ・草花の栽培 （アサガオ・ヒマワリ・ひょうたん・カラスウリ・フウセンカズラ・ヘチマ・カナリアナス・クリボウ・ほおずき） ・小動物の飼育 （アゲハチョウ・めだか・ドジョウ・ザリガニ） ・園児とごみの分別をする |
| 高洲保育園 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進 ・園内、園外の草取りと整備（職員） ・ごみの分別（職員、園児） ・リサイクル ・食育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・草花（ヒマワリ・アサガオ・フウセンカズラ等）の栽培・水やりなどの世話をしながら生長を楽しむ。 ・小動物の飼育（カブトムシ・アオムシ・バッタ・カタツムリ・ザリガニなど） ・年長児が当番活動で各クラスの分別されたごみを回収し、事務所まで運んでくる。 ・食育（食材の皮むき・クッキング） |

資料編 (Web 版)

■ 幼稚園における環境学習・環境活動の取り組み

平成 24 年度実績

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|--|
| 若草幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 (P T A) ・園庭の芝生 ・ごみの分別 (職員・園児) ・親子で毎日リサイクル (資源回収) (P T A) ・野菜や草花を栽培する。(食育) ・ゴーヤのカーテン作り (職員) | <ul style="list-style-type: none"> ・草取り・園庭整備・ペンキ塗り・清掃 ・芝生を育てる ・野菜の栽培、苗植え、収穫、料理教室 (ジャガイモ・ナス・スイカ・きゅうり・ピーマン・ミニトマト・ポップコーン・小松菜・イチゴ・ダイコン) ・草花の栽培 (綿花・アサガオ・コスモス) ・一人一鉢栽培 (マリーゴールド・チューリップ・ムスカリ・オクラ・クロッカス) ・昆虫、小動物の飼育活動 (チョウ・カブトムシの幼虫・ウサギ・ザリガニ・キンギョ・ウーパールーパー・オタマジャクシ) ・境川にリサイクルこいのぼりを上げる。 ・郷土博物館見学・境川船下り ・運動会、生活発表会で浦安の歴史を題材にオリジナルの浦安物語の劇を演じた。 ・クルンちゃん、グルンさまによる環境学習 |
| 青葉幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の花壇作り活動 (年長親子) 親子でプランター制作 地域への設置 ・ヒマワリを育てる (年中一人一鉢) 年間を通して水やり、雑草抜き、肥料やり、花の植え替え ・資源回収 (P T A) | <ul style="list-style-type: none"> ・小動物 (全学年) (ウサギ・ザリガニ・めだか・ウーパールーパー・キンギョ等の飼育) ・チョウ、かぶとむしの成長過程の観察 ・野菜の種や苗植え、収穫 (全学年) (サツマイモ・ミニトマト・小松菜・ナス・ピーマン・えだまめ他) ・草花の栽培 (全学年) |
| みなみ幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園周辺に花壇作り ・資源回収 (P T A) ・ゴーヤ、フウセンカズラのカーテン作り ・園庭の芝生 ・季節の花栽培 (朝顔・ヒマワリなど) ・ゴミの分別 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培、収穫体験 (イチゴ・ジャガイモ・ダイコン・コマツナ・ミニトマト・ナス・サツマイモ・ポップコーン・オクラ) ・小動物の飼育活動 (キンギョ・アゲハチョウ・ザリガニ・カブトムシ・テントウムシ・カメ) |

資料編 (Web 版)

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|--|
| 神明幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収 (PTA) ・ごみゼロ運動 (PTA) ・園内の花壇整備活動 (PTAボランティア) ・稲の栽培 (一人一バケツ) ・園庭の芝生 ・ゴーヤのカーテンづくり ・ゴミ分別 | <ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動 ・野菜作り (ミニトマト・ナス・ピーマン・ツルナシインゲン・オクラ・コマツナ・イチゴ・ホウレンソウ・イネ・ポップコーン・ソラマメ・エダマメ・ジャガイモ・キヌサヤなど) ・草花の栽培 (チューリップ・アサガオ・ヒマワリ・ヒヤシンス・ムスカリなど) ・小動物の飼育活動 (ウサギ・メダカ・ザリガニ・カブトムシ・カタツムリなど) ・田植え・稲刈り・おにぎり会・しめ縄づくり ・芝生栽培 ・ゴーヤ栽培 ・地球温暖化防止教育 ・ゴミの分別指導 |
| 北部幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収 (PTA) ・園庭の芝生 ・ゴーヤ、ヘチマのグリーンカーテン ・ひょうたん、るこう草、フウセンカズラ、アサガオのグリーンカーテン ・ゴミの分別 | <ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動 (全学年) (チューリップ・マリーゴールド・大豆・アサガオ) ・野菜作り (ジャガイモ・ポップコーン・トマト・ナス・ピーマン・だいこん等) ・飼育活動 (ウサギ・カブトムシ・キンギョ・ザリガニ・メダカ・ドジョウ・おたまじゃくし等) ・アゲハチョウの飼育 ・ごみの分別 ・ゴーヤ、ヘチマの栽培 ・木の実の収穫 (サクランボ・ウメ・かき・みかん) ・田植え、稲刈り ・芝生栽培 |
| 見明川幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収 (PTA) ・ゴミの分別 ・園庭の芝生 ・園服、カラー帽子、通園カバン等のリサイクル (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープ・観察 (オタマジャクシ・メダカ・タニシ・ドジョウ等) ・田植え、稲刈り、脱穀 ・野菜づくり (年長) (ジャガイモ・ピーマン・ナス・トマト・イチゴ・カブ・ダイコン・トウガラシ・トウモロコシ等) ・栽培 (年中) (ひょうたん・綿・フウセンカズラ・ほおずき・ゴーヤ・ルコウソウ) ・一人一鉢栽培 (全学年) (ヒマワリ・千日紅・チューリップ・クロッカス・ムスカリ等) ・小動物の飼育栽培 (ウサギ・ザリガニ・ウーパールーパー等) ・ごみの分別 |

資料編 (Web 版)

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|--|---|
| 堀江幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収 毎週水曜日 (PTA) ・ごみゼロ運動 6月4日 (PTA) ・園芸サークル (PTA) ・園芸サークル(花壇整備活動) (PTA) ・園服、カラー帽子等のリサイクル (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの観察、清掃 ・小動物の飼育活動 (ウサギ・インコ・メダカ・金魚・ザリガニ等) ・野菜の栽培収穫活動 (ジャガイモ・サツマイモ・稲・トマト・イチゴ・キヌサヤ・ブロッコリー・ポップコーン等) ・草花の栽培 (アサガオ・ヒマワリ・マリーゴールド・チューリップ等) |
| 富岡幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域「境川クリーン作戦」参加 花植え、草刈り 年2回(5月・10月) 春 ポーチュラカ 秋 パンジー、チューリップ ・ごみゼロ運動 (PTA) ・「出前ビナス」クルングルン小劇場 (PTA) ・園服、カラー帽子等のリサイクル (PTA) ・リサイクル活動 (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜、米の栽培収穫活動 田植え、稲刈り体験、野菜の種・苗植え 種(スナックエンドウ・ダイコン、コマツナ・ポップコーン・オクラ等) 苗(サツマイモ・ミニトマト・ピーマン・ナス・ジャガイモ・イチゴ) ・草花の栽培 (アサガオ・チューリップ・パンジー・ヒヤシンス・ヒマワリ等) ・小動物の飼育活動 (ウサギ・カメ・インコ・金魚・メダカ・ザリガニ等) |
| 美浜南幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・園内の花壇整備活動 ・ごみゼロ運動 (PTA) ・なかよしガーデン (PTA) ・リサイクル活動 (PTA) ・エコキャップ活動 (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜等の栽培収穫活動 (ゴーヤ・オクラ・なす・ピーマン・ひょうたん・ポップコーン・稲・さつまいも・イチゴ・キャベツ) ・小動物の飼育活動 (ウサギ・ザリガニ・カメ・カブトムシ・キングヨ) ・草花の栽培 (チューリップ・アサガオ・ヒマワリ・マリーゴールド・パンジー・ヒヤシンス・クロッカス等) |
| 入船南幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・沿道花壇の園児親子栽培活動 (チューリップ、ヒマワリ、菜の花) ・資源回収 (PTA) ・栽培活動 (園児) ・リサイクル活動 (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培活動 (ゴーヤ・人参・ピーマン・ナス・ミニトマト・ジャガイモ・サツマイモ・ラッカセイ・オクラ・大根・カブ) ・地球温暖化教育(緑のカーテン) (ゴーヤ・千成ヒヨウタン・アサガオ・フウセンカズラ) ・草花の栽培 (ヒマワリ・マリーゴールド・サルビア・アサガオ・チューリップ・ヒヤシンス・コスモス) ・小動物の飼育活動 (メダカ・ウサギ・ザリガニ・カブトムシの幼虫・アゲハチョウ・カメ・鈴虫) ・地域の方による環境学習(命のバトンの紙芝居) ・一人一鉢栽培(ヒマワリ・アサガオ・マリーゴールド・千日紅・日日草・チューリップ・クロッカス・ヒヤシンス) |

資料編 (Web 版)

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|---|
| 舞浜幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別 (園児とPTA) ・資源回収 (PTA) ・ゴミゼロ運動 (PTA) ・衣料品のリサイクル (PTA) ・PTA花壇の種、花植え、草取り、水やり | <ul style="list-style-type: none"> ・弁天公園で田植え、収穫 (公園の方と協同) ・舞浜公園でケナフ、綿・サツマイモ苗植え、水やり (地域との交流) ・登園時、親子でのゴミ拾い (全学年) ・サツマイモのつるでクリスマスリース作り ・野菜の栽培活動 (オクラ・ピーマン・ナス・ミニトマト・サツマイモ・トウモロコシ・インゲン) ・小動物の飼育活動 (ウサギ・かめ・ザリガニ・カブトムシの幼虫・アゲハチョウ・金魚) ・一人一鉢栽培 (年長) (チューリップ) ・ゴーヤ栽培・地球温暖化防止教育 ・アサガオの栽培 (色水あそび) |
| 美浜北幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ回収 (PTA) ・草刈 (PTA) ・園服・カバンのリサイクル (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一鉢栽培 (クロッカス・チューリップ) (年中) (クロッカス・ヒヤシンス) (年長) ・温暖化防止教育 (アサガオ・ゴーヤ・ヘチマ・ヒョウタン・フウセンカズラ) ・染色経験 藍の栽培 ・野菜の栽培 (全学年) (ジャガイモ・オクラ・ミニトマト・ラッカセイ・ダイコン・コマツナ) ・イネの栽培 ・飼育活動 (ウサギ・金魚・カエル・オタマジャクシ・トカゲ・チョウの幼虫・カブトムシ・ザリガニ) |
| 日の出幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・日の出中学校での栽培活動 (年長) ・園内栽培活動 (年中・年長) ・ごみの分別活動 (職員・園児) ・資源回収 (PTA) ・畑の水やり、草取り等の整備・維持 (PTA) ・幼稚園用品のリサイクル (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培収穫活動 (ジャガイモ・サツマイモ・ピーマン・イチゴ・トマト・オクラ・インゲン・ゴーヤ・ダイコン・ハツカダイコン) ・畑の水やり、草取り等の整備・維持 ・草花の栽培 (チューリップ・ヒヤシンス・アサガオ) ・小動物の世話 (ウサギ・ザリガニ・アゲハチョウ・カブトムシ) |

資料編 (Web 版)

| 園名 | 環境活動 | 環境学習 |
|-------|---|--|
| 明海幼稚園 | <ul style="list-style-type: none"> ・明海の丘公園での栽培活動 (明海小学校5年生と年長・年3回) (パンジー・デイジー・ペチュニア他) ・園内花壇整備 (PTA有志) ・幼稚園小学校共通の正門前花壇整備 (幼・小ガーデニング有志) ・ゴミの分別活動 (職員・園児) ・幼稚園用品リサイクル (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培収穫活動 (エダマメ・ツルナシインゲン・ミニトマト・ナス・オクラ・ イチゴ・サヤエンドウ・ソラマメ・ピーマン・パプリカ・シ シトウ) ・一人一鉢栽培 (ミニトマト) (年長) (ベコニア) (年長) (ビオラ) (年中) ・草花の栽培 種まき (アサガオ・ヒマワリ・コスモス・オシロイバナ) 球根植え (チューリップ・ヒヤシンス・クロッカス) ・小動物の飼育活動 (ウサギ・ザリガニ・メダカ・カブトムシ・ウーパールーパー・ ランチュウ・アゲハチョウ) |

資料編（Web版）

■小学校における環境学習・環境活動の取り組み

平成24年度実施

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|--|
| 浦安小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル工作（クラブ活動） ・地域清掃活動（PTA） ・エコハガキづくり（PTA） ・親子美化活動（学校行事） ・花壇作り（委員会活動） | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科学習での自然遊び、栽培活動（1・2年・生活） ・農園体験（3年・総合） ・水はどこから（4年・社会） ・ごみの始末と利用（4年・社会） ・バケツ稲を育てよう（5年・総合） ・富士山・富士五湖の自然を学ぶ（5年・総合） ・日光地方の自然を学ぶ（6年・総合） |
| 南小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃活動「クリーングリーン作戦」（PTA） ・学校美化活動（学校行事） ・親子ふれあい清掃（PTA） ・古紙の分別と資源ごみ回収（全校） ・フラワー通り商店街美化活動～ロードアート～（4年・総合） | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の苗植え（2年・生活） ・クリーンセンターの見学（4年・社会） ・三番瀬の自然を学ぼう（5年・総合） ・地域環境を整えよう（4年・総合） ・林間学校「尾瀬・片品の環境を学ぼう」（5年・総合） ・ソーラークッキング（3年・総合） |
| 北部小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー部校庭整備（4～6年） ・地域清掃活動（PTA） ・学校美化活動（全校児童・PTA） ・紙資源のリサイクル活動（全校児童） ・空き缶、ペットボトル再利用のゲーム（4年・児童会活動） ・花壇作り（委員会活動） | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科での自然遊び・栽培活動（1・2年・生活） ・野菜の栽培、昆虫の飼育（3年・総合） ・クリーンセンターの見学（4年・社会） ・廃油を利用した石鹸作り（4年・総合） ・生き物のひみつをさぐるう（4年・総合） ・グリーンカーテン（ツルレイシ栽培）（4年・理科・総合） |
| 見明川小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇作り（委員会活動・PTA） ・クリーン活動（草むしり） ・紙資源のリサイクル（全校児童） | <ul style="list-style-type: none"> ・秋となかよし、自然と遊ぼう（1・2年・生活） ・野菜の栽培（2年・生活、3年・総合） ・クリーンセンター見学、エコ石けん作り（4年・社会） ・校内ミニ水田、バケツ田の田植え、稲刈り体験（5年・総合等） ・日光地方の自然を学ぶ（6年・総合） |
| 富岡小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の校地内の除草、石拾い、清掃作業（全校児童、PTA） ・古紙の分別と資源ごみ（再生紙）回収（全校） ・境川沿いの除草、ごみ拾いと球根と草花の苗の植え付け作業、水やり作業（富岡中学校区青少年健全育成連絡協議会） | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科学習の自然遊び、栽培活動（1・2年・生活） ・クリーンセンター見学（4年・社会） ・ペットボトルキャップ回収（委員会） ・理科学習における栽培活動、昆虫・魚類の飼育（3～6年・理科） ・バケツ稲の栽培（5年・総合） ・森林体験（倉淵）（5年・総合） ・きれいにしようクリーン大作戦（6年・家庭） ・考えようこれからの生活（6年・家庭） ・環境を考えた「エコライフ」を工夫しよう（5年・家庭） ・日光の自然について調べよう（6年・総合） |

資料編 (Web 版)

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|--|---|
| 美浜南小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇作り、美化活動 (委員会) ・花を育てよう (3・4年中心) ・年1回の校庭除草作業 (全校児童、PTA) ・年1回の校舎美化活動 (PTA、教職員) ・資源ごみ(再生紙)回収 (全学年) | <ul style="list-style-type: none"> ・虫をみつけたよ、あきを見つけて遊ぼう、水となかよし (1年・生活) ・野菜を育てよう、町探検、春を探そう (2年・生活) ・市内探検 (3年・社会) ・牛乳パックではがき (4年・総合) ・環境を考えよう(クリーンセンター見学)、リサイクル工作、買い物ゲーム (4年・社会・総合) ・森林体験(倉淵)パケツ稲を育てよう (5年・総合) ・よりよい生活をめざして (6年・家庭) ・被爆体験講話 (6年・社会) ・理科学習での栽培活動や昆虫や魚類の飼育 (3～6年) |
| 入船北小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛校作業 5月・9月(全校児童:校内美化、PTA:校内美化及び草むしり) ・紙資源のリサイクル活動 ・自然愛護委員会の生き物の飼育(カメ・熱帯魚)(委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科で生き物調べ (1年) ・花壇で野菜を育てよう (2年) ・サケの飼育(卵～稚魚) (2年) ・実のできる植物を種から育てよう (3年) ・クリーンセンター見学 (4年) ・リサイクル体験 (4年) ・長野県茅野市の自然を調べよう (5年) ・稲を育てよう (5年) ・日光の自然について調べよう (6年) ・学校園に花の苗を植えよう (6年) |
| 東小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛校作業 5月・9月(草むしり) ・クリーン活動 年14回朝の登校時、通学路に落ちているごみを拾ってくる。(清掃活動) ・資源回収 アルミ缶、牛乳パックの回収 (リサイクル委員会) ・芝生の維持・管理、遊具の管理 (芝生委員会) ・掃除ごみの分別回収 (美化委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター見学 (4年) ・環境学習「リサイクル工作」 (4年) ・境川についてもっと知ろう 「水、昔の生活の発展から」 (4年) ・芝生校庭を大切に育てよう(種まき、芝刈り、移植) ・境川環境調査、水質・生き物調査、美化活動 (境川環境クラブ) |
| 入船南小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動 教室で出たごみのうち再生できるごみを分別し、教室から出るごみを減らす活動を実施 ・委員会活動 花壇の整備、水やり (飼育・栽培委員会) ・愛校作業 9月(草むしり) (全校児童) ・地域の活動 ほたるの里の維持・管理 (ほたるの会) | <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター見学 (4年・総合) ・「環境について考えよう」(ソーラークッカー・廃油石鹸作り・紙すき体験・エコショッピング) (4年・総合) ・「稲を育てよう」 (5年・総合) ・「境川を調べよう」 (5年・総合) ・蛍の幼虫を放流 (5・6年・総合) |
| 舞浜小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア委員会によるアルミ缶・牛乳パックの回収 ・地域清掃活動 「クレンジンググリーン作戦」 (PTA) ・美化委員会による清掃活動・環境整備 ・花壇作り (各学年) ・愛校作業除草作業 年3回 (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・秋の実・落ち葉拾い (1年・生活) ・春と仲よし (2年・生活) ・生き物を育てよう (2年・生活) ・クリーンセンター見学 (4年) ・総合的な学習「環境について調べよう」 (4年) ・田植え、稲刈り体験 (5年・総合) ・風力発電所見学 (5年・総合) ・自然体験学習(宿泊) (5年・総合) ・戦場ヶ原ハイキング(インタープリター) (6年・総合) |

資料編 (Web 版)

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|--|
| 美浜北小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会による紙資源回収 ・園芸ボランティア (PTA) ・花壇作り (各学級) ・落ち葉拾い (各学級) ・エコクッキング (4年・PTA学級活動) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然と遊ぼう (1年・生活) ・夏と楽しもう (1年・生活) ・秋の実・落ち葉拾い (1年・生活) ・冬と仲良し (1年・生活) ・野菜を育てよう (ミニトマト・サツマイモ) (2年・生活) ・春と仲良し (2年・生活) ・虫のすみか (2年・生活) ・大豆栽培 (3年・総合) ・クリーンセンター見学 (4年・社会) ・ツルレイシ栽培 (4年・理科) ・稲作体験 (5年・社会) ・ジャガイモ栽培 (6年・理科) |
| 日の出小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内美化清掃 (全校児童・PTA・お父さんの会) ・リサイクル活動 (全校児童・PTA) ・花いっぱい運動 (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・虫と仲良く、秋と仲良し (1年・生活) ・大きなあれ (サツマイモ・キャベツ) (2年・生活) ・モンシロチョウを育てよう (3年・総合) ・オクラ、ホウセンカを育てよう (3年・総合) ・草木染め (4年・総合) ・クリーンセンター見学 (4年・社会) ・自然体験学習 (宿泊) (5年・総合) ・戦場ヶ原ハイキング (インタープリター) (6年・総合) |
| 明海小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・明海の丘公園花壇整備活動 (苗の植え替え) (1年) ・校内美化活動 (全校児童・PTA) ・親子清掃 (全校児童・保護者) ・清掃活動 (委員会活動) ・除草作業 (全校児童・PTA) ・ペットボトルキャップ回収 (委員会活動) ・花壇づくり (委員会活動) | <ul style="list-style-type: none"> ・明海の丘公園を利用した虫となかよし、秋の木の葉ひろい (1・2年・生活) ・野菜を育てよう (2年・生活) ・オクラ・ホウセンカの栽培 (3年・理科) ・リサイクル工作 (4年・総合) ・クリーンセンター見学、ごみと水の学習 (4年・社会) ・ツルレイシ栽培 (4年・理科) ・生き物飼育 (メダカ、ドジョウ、ザリガニ) (5年・理科) ・明海の丘公園を利用した米作り (田植え・稲刈り・もみすり) (5年・総合) ・林間学校での自然探索活動 (5年・総合) ・これからの自動車づくり (5年・社会) ・ジャガイモ栽培 (6年・理科) ・戦場ヶ原散策 (インタープリター) (6年・理科) |

資料編 (Web 版)

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|---------|--|---|
| 高洲小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇作り活動、除草活動 (委員会) ・親子クリーン活動 (年1回) ・校内除草作業 (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・はなややさいの種をしらべよう (1年・生活) ・自然と遊ぼう (1・2年・生活) ・ケナフの栽培としょうかい (2年・生活) ・紙すき体験 (2年・生活) ・茨城県立自然博物館見学 (3年・総合) ・季節の草花に親しもう (3年・理科) ・身近な生き物を観察しよう (3年・理科) ・ごみ収集やクリーンセンターの見学とごみ減量作戦、水はどこから (4年・社会・総合) ・森林の役割と保護、群馬県の自然調べ (5年・国語・社会・総合) ・栃木県の自然を調べる (6年・総合) ・大切な自然界のサイクル (6年・理科) ・よりよい生活をめざして (6年・家庭科) ・エスレ高洲に花のプレゼント (特別支援学級・生活単元学習) |
| 日の出南小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内清掃ボランティア (PTA) ・花壇作り活動、美化活動 (委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然と遊ぼう (むしとなかよし、あきとなかよし) (1年・生活) ・秋のおみせやさん (1年) ・さけの飼育 (2年) ・教科での栽培活動 (全学年・生活、理科) ・教科での飼育活動 (1・2・3・5年・生活・理科) ・生き物と四季 (5年・理科) ・クリーンセンター見学、資源について考えよう (4年・社会) ・森林の役割を知ろう (5年・社会) ・自然体験学習 (5年・総合) ・修学旅行 (日光の自然) (6年・総合) ・世界の平和と日本の役割 (6年・社会) ・生き物のくらしと自然環境 (6年・理科) ・よりよい生活をめざして (6年・家庭科) |
| 明海南小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛校作業 (除草作業) (全校、PTA) ・清掃作業 (校内清掃) (全校、PTA) ・親子大掃除 (全校、PTA) ・まち探索とごみ拾い (PTA) ・植物を育てよう (委員会活動) ・ペットボトルキャップ集め (委員会活動) ・掃除ごみの分別回収 (美化委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科学習での自然遊び、栽培活動、リサイクル工作 (牛乳パック・ペットボトル)、どんぐり・まつぼっくりで工作 (1・2年) ・生活科、理科学習での栽培活動、飼育活動 (2～6年) ・社会科学習 クリーンセンター見学、ごみの始末と利用、水はどこから (4年) ・社会科学習 私たちの生活と環境 (5年) ・総合的な学習の時間 稲作体験・しめ縄作り (5年) ・林間学校での林業・水資源の学習 (5年) |

資料編 (Web 版)

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|--|---|
| 高洲北小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・除草作業 (全校児童・PTA) ・学校周辺のごみ拾い、雑草取り (有志児童・地域住民) ・草むしりボランティア (飼育栽培委員会・有志児童) ・花壇づくり・野菜づくり (飼育栽培委員会) ・大掃除 (全校児童・PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜を育てよう (ミニトマト・ピーマン・おくら・パジル・なす) (2年・生活) ・地域の公園に行つて、昆虫を探す。植物の観察をする。 (1・2年・生活) ・ごみを少なくするためにできることを調べ、実行してみる (4年・社会) ・水のゆくえを調べ、排水についての関心をもつ (4年・社会) ・水の科学館見学 (4年・社会) ・クリーンセンター見学 (4年・社会) ・浦安と倉淵の環境 (5年・総合) ・廃油を使ったエコキャンドル作り (5年・総合) ・森林の役割を調べる。(富士山の麓でネイチャリング) (5年・国語・社会等) |
| 東野小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・校地内の除草、石拾い、清掃作業 (PTA) ・古紙の分別と資源ごみ(再生紙)回収 (全校) ・境川沿いの除草、ごみ拾い、球根と草花の苗の植え付け作業、水やり作業 ・緑のカーテン作り(あさがお) (PTA) | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科学習の自然遊び、栽培活動 (1・2年) ・クリーンセンター見学 (4年) ・理科学習における栽培活動、昆虫・魚類の飼育 (3～6年) ・バケツ稲の栽培 (5年) ・緑のカーテン作り(ツルレイシ) (4年) ・富士山・河口湖周辺の自然を調べる (5年) ・日光の自然を調べる (6年) |

■ 中学校における環境学習・環境活動の取り組み

平成 24 年度実施

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|--|--|
| 浦安中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・学区美化活動 (全学年) ・学校・地域連携事業 (生徒会、自治会、保護者、環境レンジャー課、浦安警察署、浦安中学校支援協議会) ・資源ごみ回収活動 (美化委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・理科 環境問題 (3年) ・学校行事 農家体験 植物定植作業 (2年) ・特別支援学級 農作業、野菜作り (10組) ・部活動 境川、東京湾の水質調査 (自然科学部) |
| 堀江中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃活動 「クリーングリーン作戦」 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会科 <ul style="list-style-type: none"> 地理 ドイツの酸性雨 (2年) 公民 ごみ問題、大気汚染など (3年) ・理科 環境問題 (3年) ・総合的な学習 林間学校、農業体験 (2年) ・学校農園 (科学部) |
| 見明川中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との清掃活動 (通年全学年) ・ガーディナーズ部とPTA園芸部及び健全育成部との連携。(通年) ・地域清掃活動(部活動、おやじの会、その他地域の方) | <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習 林間学校、農業体験、木工製品製作、自然散策 (2年) ・美術 環境問題ポスター (全学年) ・理科 環境問題 (3年) ・社会(公民) 地球社会と私たち(環境問題) (3年) ・ガーディナーズ部による活動 (通年) |

資料編 (Web 版)

| 校名 | 環境活動 | 環境学習 |
|--------|---|---|
| 入船中学校 | <ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動 (全学年、部活動) | <ul style="list-style-type: none"> 農業体験、田植え、稲刈り体験 理科 <ul style="list-style-type: none"> 植物の生活と種類、動物の生活と種類、天気とその変化、自然と人間、物質のすがた、電流とその利用、運動とエネルギー、物質と化学変化の利用、科学技術と人間の生活 (全学年) 国語 <ul style="list-style-type: none"> 悠久の自然、ガイヤの知性、人に優しい町づくり (2年) 社会 公民 地球生活とわたしたち 地理 国際化時代の産業と環境 (全学年) 環境学習啓発ポスターの作成 (全学年) 特別支援学級 農作業 |
| 富岡中学校 | <ul style="list-style-type: none"> 境川沿い花植え、花壇作り、クリーン活動 (6月・10月の2回、幼・小・中・PTA・健全育成連絡協議会主催) 境川沿い清掃活動 (随時部活動で実施) 学校周辺の美化活動 (3学年) | <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習 樹木伐採体験 (2年：林間学校) 理科 植物観察 (1年) 理科 環境問題 (3年) 保健体育 環境問題 (3年) 美術 環境問題ポスター (全学年) |
| 美浜中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ボランティアによる朝の学校周辺清掃活動 (毎日) 生徒とPTAによる除草作業 (9月) PTA園芸部の活動 (通年) PTAファーマーミングクラブの活動 (通年) 生徒による地域の清掃活動 (秋) グリーンカーテンの設置 (夏) | <ul style="list-style-type: none"> 理科 自然と人間 (3年) <ol style="list-style-type: none"> 身近な自然環境の調査 生物の生活とつながり かけがえのない自然環境 林間学校 (自然体験) (2年) |
| 日の出中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ふれあい農園で、植物の栽培等を行う サポーターズクラブによる除草作業 (9月) | <ul style="list-style-type: none"> 林間学校 長野県菅平方面で、自然の大切さ、農業体験、環境問題等を学習 (2年) 理科第2分野で、学校周辺の環境調べ学習 (1年) 野菜作り (特別支援学級) |
| 明海中学校 | <ul style="list-style-type: none"> 部による学校内と周辺地域清掃活動 (月1回) ガーデニング部による花壇作りと栽培活動 除草作業 (通年) | <ul style="list-style-type: none"> 理科 環境問題 (3年) 家庭科 環境に配慮した生活 (全学年) 美術 環境問題ポスター (全学年) 林間学校で田植え体験 (2年) 無農薬野菜作り (特別支援学級) |